

平成 27 年度自主研究事業報告書

要介護透析患者に対するケアマネジメントの 実際と効果

平成 28 年 3 月

一般財団法人 統計研究会
透析医療研究会

発刊に際して

人口高齢化に伴い、要介護状態にある高齢者数が増加しております。そして、今後その数が増加すると予想されております。透析患者においても高齢化の進展が著しく、それに伴って要介護状態の透析患者も増加しつつあります。

日本では、要介護高齢者に対する介護はこれまで主に家族によって担われてきました。しかし、家族の介護負担が深刻化し、社会問題化する中で、家族介護に依拠した介護を介護サービスで代替することで家族による介護負担の軽減を図ろうと、介護保険制度が2000年に導入されました。この制度の下、介護保険サービスを有効に、かつ無駄なく活用するために、利用者の発見、事前評価、ケアプランの作成、モニタリング、事後評価という一連のプロセスを行うケアマネジメントが導入され、それを担当する専門職種としてケアマネジャーが位置づけられました。

要介護高齢者を介護する家族の介護負担については、かなりの研究蓄積があります。要介護状態の透析患者の場合、透析のための通院、疾病管理など医療依存度が高く、要介護状態にある人を介護する家族の中でも介護の負担も大きいと思われます。しかし、その実態を明らかにした研究は多くありません。さらに、要介護高齢者に対するケアマネジメントの質やその効果に関する研究蓄積がありますが、要介護状態の透析患者に対するケアマネジメントに伴う課題や問題点についての研究はほとんど行われておりません。

本報告書は、一般財団法人・統計研究会の自主研究助成を受け、要介護状態にある透析患者に対する家族の介護状況と負担の実態、要介護状態にある透析患者に対するケアマネジメントの実際およびその効果を明らかにするための調査結果を取りまとめたものです。調査にご協力いただいた日本透析医会の会員の先生、ケアマネジャーの皆様、要介護透析患者のご家族の皆様に、心から感謝申し上げます。加えて、一般財団法人・統計研究会の自主研究助成を受けることができなければ、この研究を行うことができませんでした。一般財団法人・統計研究会に対しても、心から感謝申し上げます。

透析医療研究会

委員長 杉澤 秀博

委員会の構成メンバー

委員長	杉澤 秀博	桜美林大学大学院老年学研究科
委員	清水 由美子	東京慈恵会医科大学医学部看護学科
	熊谷 たまき	大阪市立大学大学院看護学研究科
	大平 整爾	公益社団法人 日本透析医会
		医療法人社団恵水会 札幌北クリニック
	杉崎 弘章	公益社団法人 日本透析医会
		医療法人社団心施会 八王子東町クリニック
篠田 俊雄	公益社団法人 日本透析医会	
浅野 兵庫	一般社団法人 全国腎臓病協議会	
事務局	荒金 由布子	一般財団法人統計研究会

目次

1章	はじめに	1
1.1	目的	2
1.2	方法	3
2章	調査結果の要約と提言	5
2.1	家族介護者の調査から	6
2.2	ケアマネジャーの調査から	8
3章	家族介護者に対する調査の結果	11
3.1	家族介護者の属性	12
3.2	家族介護者が介護している透析患者の属性	14
3.3	家族介護者からみた透析患者の疾病管理状況	17
3.4	透析患者の介護態勢	18
3.5	家族介護者の健康・介護負担感	20
3.6	社会的支援と将来への不安	22
3.7	介護サービスに対する評価と利用希望	23
4章	ケアマネジャーに対する調査の結果	25
4.1	ケアマネジャーが担当した透析患者の属性	26
4.2	ケアマネジャーが担当した透析患者の介護態勢	29
4.3	ケアマネジャーのケアマネジメントの達成度と困難度	31
4.4	在宅サービスの過少利用とその関連要因	35
4.5	患者に対する周囲からの支援の充足度とその関連要因	37
4.6	家族介護者の介護負担・介護継続意思のケアマネジャーによる評価	39
4.7	在宅生活維持のために必要なこと、在宅生活が困難になった際の対応	41

5章 家族介護者とケアマネジャー調査の自由回答の分析	43
1. 家族介護者	44
2. ケアマネジャー	53
6章 単純集計・クロス表	67
7章 調査票	121

1章 はじめに

1. 目的

透析患者の高齢化が著しい。それに伴って要介護状態の透析患者の割合も増加しつつある。透析を受けている患者の多くは、透析を受けるために週に3回定期的に透析施設に通院する必要がある。加えて、食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理などのセルフケアを実施することが健康維持のために必要となる。そのため、透析患者が要介護状態になった場合、通院への介助、セルフケアへの介助が必要となることから、それを介助する家族の介護負担は大きいと予想される。しかし、要介護状態の透析患者の療養生活の実態とそれを介護する家族の負担については、十分解明されていない。

他方、家族による介護負担の深刻さが社会問題化する中で、2000年に、家族による介護を介護サービスで代替し、家族の介護負担を減らしていこうと、介護保険制度が導入された。この制度では、利用者の発見、事前評価、ケアプランの作成、モニタリング、事後評価という一連のプロセスを行うケアマネジメントが導入され、それを担うケアマネジャーが位置づけられた。そのため、要介護状態にある透析患者に対する介護保険サービスの調整も、ケアマネジャーによって実施されている。上記のように、透析患者の場合、透析のために週に3回透析施設に通院する必要があり、さらにセルフケアへの介助も求められることから、ケアマネジャーがケアマネジメントを実施する場合、他の要介護状態にある人たちよりも困難を伴う可能性がある。しかし、要介護透析患者に対するケアマネジメントの実際とその効果についての研究はほとんど行われていない。

本研究の目的は、第1に、要介護状態にある透析患者の療養生活の実態と家族介護者の介護負担を明らかにするとともに、第2に、要介護状態にある透析患者に対するケアマネジメントの実際とその影響について評価することにある。

2. 方法

1) 量的調査

(1) 要介護透析患者の担当ケアマネジャーと家族介護者の把握

日本透析医会の協力により、日本透析医会の会員が所属する透析医療機関全数（約 1,000 施設）に対して、要介護認定（要支援認定を含む）されている透析患者が通院して透析を受けている場合には、その担当のケアマネジャーと家族介護者の紹介を依頼した。対象となったケアマネジャーと家族介護者に対しては、医療機関を通じて調査に対する事前同意を得た。紹介の依頼状は 2015 年 3 月中旬に発送し、113 の医療機関から紹介の協力が得られた。紹介された数は、ケアマネジャーが 397 人、家族介護者が 382 人であった。

(2) 調査方法

(1) の手続きによって紹介されたケアマネジャーと家族介護者に対して、透析医療機関を介して自記式の調査票を配布し、郵送によって回収した。回収数は、ケアマネジャーについては 391、家族介護者については 350 であった。送付した調査票を分母とした場合の回収率は、ケアマネジャーでは 98.5%、家族介護者では 91.6% であった。このうち、同一患者のケアマネジャーと家族介護者の両方から回答が得られたのは 311 組であった。

(3) 調査項目

ケアマネジャーに対しては、①介護ニーズ、②疾患管理の困難度、③通院の困難度、④介護者の状況、⑤介護サービスの利用希望、⑥ケアマネジメントの達成度、⑦ケアマネジメントの困難度、を調べた。

家族介護者に対しては、①介護ニーズ、②疾患管理の負担感、③通院の負担感、④介護保険サービスに対する満足度、⑤介護保険サービスの利用希望、⑥介護負担感、⑦健康状態、⑧支援態勢、を調べた。

2) 質的調査

(1) ケアマネジメントの達成度が高いケアマネジャーに対する質的調査

量的調査に回答したケアマネジャーのうち、ケアマネジメントの達成度が良好であった者のうち、地理的にアクセスが容易な関東、中部、関西地域のケアマネジャーを対象とした。

ケアマネジメントの達成度が良好であると判断した基準は次の通りである（詳細は、ケアマネジメントの達成度の項目を参考のこと）。達成度を評価する 17 項目から 2 項目（「利用者や家族に対する説明・合意・契約」と「利用者・家族との信頼関係」）を除いた 15 項目のうち半分（8 項目）以上で「よくできている」と回答している者と、アセスメントに関する 6 項目のうち半分以上で「よくできている」と回答した者を「良好」と判断した。この判断基準により評価した結果、家族介護者からも回答のあった患者の 311 人のうち 53 人が「良好」に該当した。さらに地理的なアクセスから 26 人を対象候補者として選定した。

調査は半構造化面接法で行い、質問の柱は「透析患者に対するアセスメントや援助目標の設定において、特に困難なことは何か」および「アセスメントや援助目標の設定過程の困難を克服するためにどのようなことを行ってきたか」であった。調査時期は平成 27 年 12 月から平成 28 年 1 月にかけてであり、調査への協力が得られたのは 5 人であった。

3) 量的調査の自由回答欄の分析

量的調査の自由回答欄には多くの記載がみられた。この記載をもとに、要介護の透析患者の家族とケアマネジャーが抱える課題を、質的記述的分析方法も用いて整理した。

2章 調査結果の要約と提言

1. 家族介護者の調査から

1) 結果の要約

(1) 量的調査

- ・医師の指示通りに食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理などの疾病管理ができているか否かについては、「あまりできていない」「まったくできていない」という回答が15%程度であった。
- ・「通院介助」「通院以外の日常生活の介助」「食事管理、水分管理などの疾病管理」の手助けについては、いずれの場合もその多くが家族によって担われていた。これらの手助けを負担に感じる家族介護者が約半数いた。
- ・在宅介護サービスに対する利用希望については、希望する回数よりも実際の利用が少ない人の割合が、ホームヘルプ、訪問看護、通所サービス、ショートステイのいずれも30%程度いた。施設サービスの利用希望は40%弱であった。
- ・透析患者の介護によって半数以上の家族介護者が影響を受けているとする生活は、「昼間趣味や学習活動などをする自由時間が思うようにとれない」と「患者のことが気になって昼間思うように外出できない」であった。
- ・透析患者の世話について相談できる人が医療・福祉の専門家の中に「いる」と回答した人は65%であり、「いない／相談しない」という人が25%であった。
- ・将来への不安として特に多かったものは、「自分が介護できなくなった場合に入所できる施設があるか」と「自分が介護できなくなった場合、代わりに介護できる人がいるか」「認知症になった場合でも透析ができるか」の3項目であった。

(2) 自由回答

- ・家族介護者の要望として多かったのは交通費の負担の軽減であった。介護保険サービスやタクシー代金の割引制度を使ったとしても1週間に3回という通院回数の多さから、施設の送迎サービスを受けられない場合には経済的な負担が大きい。このような負担の増大への懸念が将来への不安を増す要因の一つとなっていることが示唆された。
- ・家族介護者は介護保険制度が導入されていても、要介護状態の透析患者を抱えることに伴う大きなストレスにさらされている事例が少なくないことが示唆された。
- ・ケアマネジャーは、要介護（要支援）透析患者の通院と福祉施設利用に対するケアマネジメントにおいて多くの課題を抱え、苦勞していることが示唆された。

2) 提言

- ・家族介護による医療的な健康管理を、施設サービスや在宅介護サービスによってどのように代替していくか、その方法を検討する必要がある。「通院」「通院以外の日常生活」「疾病管理（食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理など）」は、家族による支援に支えられている。しかし、それによって家族は大きな介護負担を感じている。その背景には、家族介護に代わる施設や介護サービスがないことが影響している。
- ・交通費の負担の軽減が緊急に必要である。介護保険サービスやタクシー代金の割引制度を使ったとしても1週間に3回という通院回数が多さから、施設の送迎サービスを受けられない場合には経済的な負担が大きい。このような負担の増大への懸念が将来への不安を増す要因の一つとなっていることが示唆されている。
- ・施設利用に関しては、長期の入所だけでなくショートステイなど短期の利用も容易ではないことから、早急な対策が必要である。自立度の低い患者では透析施設の送迎サービスを受けられない場合や、自宅から透析施設までの送迎支援は調整できたとしても、自宅の居室から玄関まであるいは病院の玄関から透析室で透析を受けるまでの介助調整に苦勞している。
- ・透析患者の家族介護者の孤立防止と、精神的な支え、さらに様々な相談の相手となれるように、医療・福祉の専門家の方から積極的に働きかけを行う必要がある。

2. ケアマネジャーの調査から

1) 結果の要約

- ・ケアマネジメントの達成度は、「調整」に関する領域が最も低く、次いで「アセスメント・課題分析」の領域が低かった。ケアマネジメントの困難度は、「透析に関する知識・情報不足」の領域が最も高く、次いで「資源不足」の領域が高かった。
- ・「アセスメント・課題分析」の達成度については、「透析に関する知識・情報不足」と「劣悪な労働環境」の面で困難度が高い場合に低かった。
- ・在宅介護サービスが過少利用であると評価したケアマネジャーの割合は、ショートステイ、ホームヘルプで40%以上であった。「利用者の問題」や「透析に関する知識・情報の不足」の面でケアマネジメントに困難をかかえているケアマネジャーの間で、在宅介護サービスの過少利用と評価した人の割合が高かった。
- ・「通院」「通院以外の生活」「疾患管理」それぞれについて、周囲からの支援が充分であるかを評価してもらった結果、いずれの項目とも「かなり不足」「少し不足」が20%を超えていた。「通院」と「通院以外の生活」については、「資源不足」の面でケアマネジメントの困難を訴えるケアマネジャーあるいは「アセスメント・課題分析」の面でケアマネジメントの達成度が低いケアマネジャーで、支援の充足度が低かった。「疾患管理」については、「透析に関する知識・情報不足」の面でケアマネジメントの困難を訴えるケアマネジャーで、支援の充足度が低かった。
- ・家族介護者の介護負担に対するケアマネジャーの評価については、「非常に負担」「かなり負担」と評価するケアマネジャーが60%以上であった。「透析に関する知識・情報不足」や「資源不足」の面でケアマネジメントに困難を抱えているケアマネジャーの間で、家族介護者の介護負担を重く評価する傾向にあった。
- ・在宅維持のために必要なこととしては、「家族・親族の手助け」が約半数を占めていた。在宅での生活が困難になった場合の対応策としては、「透析が可能な病院に入院させる」が約60%と最も多かった。

2) 提言

- ・「アセスメント・課題分析」が十分できないとするケアマネジャーが多く、その背景には、「透析に関する知識・情報の不足」があると考えられる。さらに、「透析に関する知識・情報の不足」は、家族介護者の介護負担感が重いとの評価に関連していた。したがって、ケアマネジャーに対して透析に関する医学的な知識の習得の機会を拡充する必要がある。
- ・在宅介護サービスの過少利用が40%程度存在しており、その背景には「透析に関する知識や情報の不足」だけでなく、患者やその家族が利用に消極的などの「利用者の問題」も関係している。患者やその家族が利用に消極的であっても、そこに積極的に介入し、利用を促進させる必要がある。

- ・「資源の不足」によって、「通院」や「通院以外の生活」に対する家族介護者の介護負担の軽減を果たすことができないとするケアマネジャーも少なくなかった。資源の一層の拡充が望まれる。

3章 家族介護者に対する調査の結果

1. 家族介護者の属性

1) 透析患者からみた続柄 (表 3-1-1)

透析患者からみた主介護者の続柄は、「配偶者」が 54.9%、「娘」が 20.9%、「息子」が 10.3%、「嫁」が 7.1%であった。

表 3-1-1 患者から見た続柄別分布

続柄	%
配偶者	54.9
息子	10.3
娘	20.9
嫁	7.1
その他	5.4
無回答	1.4
計	100.0

注)n=350

2) 年齢階級・性 (表 3-1-2)

家族介護者の年齢階級別分布は、「70～79 歳」が 29.2%と最も多く、「60～69 歳」「50～59 歳」がそれぞれ 26.6%と 22.9%と続いていた。性別では「女性」が 72.3%を占めていた。

表 3-1-2 家族介護者の年齢階級・性別分布

属性		%
年齢階級	40 歳未満	3.5
	40～49 歳	8.6
	50～59 歳	22.9
	60～69 歳	26.6
	70～79 歳	29.2
	80 歳以上	9.1
	無回答	0.3
性	男性	27.4
	女性	72.3
	無回答	0.3
	計	100.0

注)n=350

3) 透析患者との同別居 (表 3-1-3)

透析患者との同別居については、「同居」が 85.4%、「別居」が 13.1%であった。

表 3-1-3 患者との同居の有無

同別居	%
同居	85.4
別居	13.1
無回答	1.4
計	100.0

注) n=350

4) 暮らし向き (表 3-1-4)

「あなたのお宅の暮らし向きは、全般的にどれにあたりますか」との質問に対し、「かなり苦しい」との回答が 7.7%、「やや苦しい」との回答が 23.7%であった。

表 3-1-4 暮らし向き

暮らし向き	%
かなり苦しい	7.7
やや苦しい	23.7
ふつう	57.1
やや余裕がある	6.0
余裕がある	2.9
わからない/無回答	2.5
計	100.0

注) n=350

5) 世話の程度 (表 3-1-5)

世話の程度は、「毎日かかりっきりで世話」が 18.6%、「かかりっきりではないが、毎日世話」が 64.9%であった。

表 3-1-5 家族介護者の世話の程度

世話の程度	%
毎日かかりっきりで世話	18.6
かかりっきりではないが、毎日世話	64.9
週に 2～5 日くらい	4.9
週に 1 日かそれよりも少ない	3.4
世話はしていない	6.3
無回答	2.0
計	100.0

注) n=350

2. 家族介護者が介護している透析患者の属性

1) 透析患者の年齢階級・性別分布 (表 3-2-1)

では、家族介護者が介護している透析患者はどのような人なのだろうか。年齢階級別分布をみると、「80歳以上」が40.8%と最も多く、「70～79歳」が38.3%、「60～69歳」が16.6%と続いていた。性別は「男性」が53.7%であった。

表 3-2-1 透析患者の年齢階級・性別分布

属性		%
年齢階級	50～59歳	4.3
	60～69歳	16.6
	70～79歳	38.3
	80歳以上	40.8
性	男性	53.7
	女性	46.3
計		100.0

注) n=350

2) 腎臓病の原因疾患 (表 3-2-2)

透析患者の腎臓病の原因疾患は、「糖尿病性腎症」が43.4%、「慢性糸球体腎炎」が18.0%、「わからない」が25.4%であった。

表 3-2-2 の腎臓病の原因疾患

原因疾患	%
慢性糸球体腎炎	18.0
糖尿病性腎症	43.4
その他	12.0
わからない	25.4
無回答	1.1
計	100.0

注) n=350

3) 透析年数 (表 3-2-3)

透析患者の透析年数は、「5年未満」「5～10年未満」がそれぞれ28.9%と22.9%であった。「20年以上」の人は18.0%であった。

表 3-2-3 透析患者の透析年数

透析年数	%
5年未満	28.9
5～10年未満	22.9
10～15年未満	16.9
15～20年未満	8.0
20年以上	18.0
無回答	5.4
計	100.0

注)n=350

4) 透析患者の要介護度、自立度

透析患者の要介護度は、「要介護2」が32.6%と最も多く、「要介護3」と「要介護4」がそれぞれ18.3%、15.4%と続いていた(表 3-2-4)。

日常生活の自立度は、「介助なしには家の外には出ないが、身の回りのことは何とかできる」という状態が28.3%、「身の回りのことは何とかできるが、日中でも寝たり起きたりの生活である」が23.7%、「日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない」が16.0%であった(表 3-2-5)。

表 3-2-4 透析患者の要介護度

属性	%
要介護度 要支援	10.3
要介護1	10.9
要介護2	32.6
要介護3	18.3
要介護4	15.4
要介護5	10.6
無回答	2.0
計	100.0

注)n=350

表 3-2-5 透析患者の日常生活の自立度

	%
家庭内で自分のことはできるが、外出は隣近所まで	13.7
介助なしには家の外には出ないが、身の回りのことは何とかできる	28.3
身の回りのことは何とかできるが、日中でも寝たり起きたりの生活である	23.7
日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない	16.0
ほとんど寝たきり	7.7
まったくの寝たきり	8.3
無回答	2.2
計	100.0

注) n=350

5) 透析患者の認知機能障害 (表 3-2-6)

「自分の年齢がわからないことが多い」「慣れている場所でも、ときに道を間違えることがある」など 16 項目についてそれぞれ、このような徴候が過去 1 か月間に見られたか否かについて質問した。16 項目中、該当項目なしの場合を「認知機能障害なし」、1～2 項目に該当する場合を「軽度認知障害」、3～7 項目に該当する場合を「中等度認知障害」、8 項目以上に該当する場合を「重度認知障害」とした。「認知機能障害なし」に該当する人は 63.1%、「軽度認知障害」が 16.3%、「中等度認知障害」が 13.7%、「重度認知障害」が 4.3%であった。

表 3-2-6 利用者の認知機能障害

認知機能障害の程度	%
認知機能障害なし	63.1
軽度認知障害	16.3
中等度認知障害	13.7
重度認知障害	4.3
不明	2.6
計	100.0

注) n=350

3. 家族介護者からみた透析患者の疾病管理状況

1) 透析施設への通院回数 (表 3-3-1)

医師の指示通りにきちんと通院している患者の割合は 99.7%であった。

表 3-3-1 要介護透析患者の透析施設への通院回数

通院頻度	%
きちんと通院している	99.7
1ヶ月に1回くらい通院しないことがある	0.0
1週間に1回くらい通院しないことがある	0.0
それ以上の回数、通院しないことがある	0.3
計	100.0

注)n=350

2) 食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理 (表 3-3-2)

医師の指示通りに食事管理、水分管理、服薬管理としてシャント管理ができているか否かについては、「十分できている」が 27.1%、「まあできている」が 57.1%、「あまりできていない」が 13.1%、「まったくできていない」が 2.6%であった。

表 3-3-2 要介護透析患者の食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理

医師の指示への遵守	%
十分できている	27.1
まあできている	57.1
あまりできていない	13.1
まったくできていない	2.6
計	100.0

注)n=350

4. 透析患者の介護態勢

1) 透析患者の日常生活の手助け（表 3-4-1）

日常生活の自立度に関する質問において、「身の回りのことは何とかできるが、日中でも寝たり起きたりの生活である」「日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない」「ほとんど寝たきり」「まったくの寝たきり」という選択肢に回答した人に対して、日常生活の手助けをしてくれる人が誰であるかを質問した。「回答者（家族介護者）」という人は 73.9%、「回答者以外の家族」が 43.7%、「介護保険のヘルパー」が 35.7%であった。

表 3-4-1 透析患者の日常生活（通院は除く）を手助けする人（複数回答）

手助けする人の種類	%
回答者（家族介護者）	73.9
回答者以外の家族	43.7
介護保険のヘルパー	35.7
ヘルパー以外の介護保険サービス	16.1
全額自費の介護サービス	3.0
近所の人、友人	0.5
その他	0.5
手助けする人はいない	1.0
無回答	1.5

注) n=350

2) 透析患者の通院手段（表 3-4-2）

「家族送迎、家族の付き添いで通院」（32.0%）、「介護保険サービスを利用し、通院」（30.3%）、「透析施設の送迎サービスを利用し、通院」（28.0%）との回答がそれぞれ 30% ずつを占めていた。

表 3-4-2 透析患者の通院手段

通院手段の種類	%
徒歩でひとりで通院	0.6
自家用車・公共交通機関、タクシーを利用し、ひとりで通院	6.3
家族送迎、家族の付き添いで通院	32.0
透析施設の送迎サービスを利用し、通院	28.0
介護保険サービスを利用し、通院	30.3
NPO、ボランティアグループを利用し通院	0.6
介護タクシー	1.1
その他	0.9
無回答	0.3
計	100.0

注) n=350

3) 透析患者の食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理の手助け (表 3-4-3)

「回答者 (家族介護者)」が手助けしているとの回答が 68.0%と最も多く、「回答者以外の家族」
との回答 (36.9%) が次いで多かった。「介護保険のヘルパー」「介護保険の訪問看護師」の割合は
それぞれ 11.4%と 4.6%であった。

表 3-4-3 食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理を手助けする人 (複数回答)

手助けする人の種類	%
回答者 (家族介護者)	68.0
回答者以外の家族	36.9
介護保険の訪問看護師	4.6
介護保険のヘルパー	11.4
全額自費の介護サービス	1.4
近所の人、友人	0.0
その他	1.2
必要だが手助けする人はいない	0.9
手助けは必要ない	5.7
無回答	0.5

注) n=350

5. 家族介護者の健康・介護負担感

1) 家族介護者の健康 (表 3-5-1)

家族介護者の主観的健康感については、「よい」「まあよい」がそれぞれ 12.3%、15.7%であった。

表 3-5-1 家族介護者の主観的健康

主観的健康	%
よい	12.3
まあよい	15.7
ふつう	48.0
あまりよくない	19.1
よくない	4.3
無回答	0.6
計	100.0

注)n=350

2) 通院、通院以外の生活、疾病管理の手助けの負担感 (表 3-5-2)

「通院」「通院以外の生活」「食事管理、水分管理など」という支援の項目ごとに、その支援を家族介護者がどの程度負担に感じているかについて質問した。「とても負担」と「まあ負担」を合わせた回答の割合は、「通院」では 49.5%、「通院以外の生活」では 61.5%、「食事管理・水分管理など」では 50.9%であり、いずれの支援の項目についても約半数の人が負担に感じていた。

表 3-5-2 透析患者の介助に伴う負担感

単位：%

負担感	通院	通院以外の生活	食事管理・水分管理など
とても負担	14.9	18.9	18.3
まあ負担	34.6	42.6	32.6
あまり負担ではない	22.6	23.7	28.3
負担ではない	15.7	7.1	9.4
本人がしている／手助けは必要ない	7.4	2.6	6.6
無回答	4.9	5.1	4.9
計	100.0	100.0	100.0

注)n=350

3) 介護による生活への影響 (表 3-5-3)

「非常にあてはまる」「少しあてはまる」を合計した割合が 50%を超えた回答は、「お世話のために、昼間趣味や学習活動などをする自由時間が思うようにとれない」(53.7%)、「患者のことが気になって、昼間思うように外出できない」(50.3%)であった。

表 3-5-3 透析患者の介助に伴う負担感

単位：%

負担感	お世話のために(あなた自身が)出来ない	お世話のために(あなたが)出来ない	まわらない	○さんのお世話が気になって、	お世話のために、昼間、趣味や	学習活動などをする自由時間が思うようにとれない	お世話のことで、家族・親戚と	お世話のために経済的負担
非常にあてはまる	14.3	5.7	12.6	19.4	4.3	12.9		
少しあてはまる	31.7	23.7	37.7	34.3	11.7	31.7		
あまりあてはまらない	24.0	28.9	25.4	24.9	35.4	32.6		
まったくあてはまらない	24.3	35.7	21.1	17.1	44.3	19.1		
無回答	5.7	6.0	3.1	4.3	4.3	3.7		
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

注) n=350

6. 社会的支援と将来への不安

1) 社会的支援 (表 3-6-1)

透析患者の世話のことで相談にのってもらえる人がいるか否かについて、「同居家族」「別居親族」「知人・友人・近隣」「医療・福祉の専門家」それぞれについて質問した。医療・福祉の専門家の中に「いる」人が 65.1%と最も多く、同居家族の中に「いる」という人が 52.9%と続いていた。

表 3-6-1 社会的支援

単位：%

	同居家族の中に	別居の親族の中に	知人・友人・近隣の中に	医療・福祉の専門家の中に
いる	52.9	45.4	29.7	65.1
いない／相談しない	19.4	44.6	55.7	23.7
同居家族なし	21.1	—	—	—
無回答	6.6	10.0	14.6	11.1
計	100.0	100.0	100.0	100.0

注) n=350

2) 将来への不安 (表 3-6-2)

要介護度が悪化した場合や自分が介護できなくなった場合、何か不安であるかを 7 項目にわたり質問した。不安が「ある」との回答の割合が最も多かった項目は、「自分が介護できなくなった場合に入所できる施設があるか」と「自分が介護できなくなった場合、代わりに介護できる人がいるか」であり、いずれも 82.0%を占めていた。次いで多かった項目は、「認知症になった場合でも透析ができるか」であり、その割合は 81.1%であった。

表 3-6-2 将来への不安

単位：%

	要介護度が悪化した場合の 通院手段の確保できるか不安	要介護度が悪化した場合の 通院費用の捻出できるか不安	自分が介護できなくなった場合、 入所できる施設があるか不安	自分が介護できなくなった場合、 代わりに介護できる人がいるか不安	介護サービス利用による経済的 負担の増加が不安	自立度が低下した場合に、自分が 食事管理、水分管理などができる か不安	認知症になった場合でも透析が できるか不安
ある	66.9	59.4	82.0	82.0	69.7	76.3	81.1
ない	30.0	36.9	14.0	14.0	26.0	19.7	14.3
無回答	3.1	3.7	4.0	4.0	4.3	4.0	4.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注) n=350

7. 介護サービスに対する評価と利用希望

1) ケアマネジャーの対応に対する満足度 (表 3-7-1)

ケアマネジャーの対応に対する満足度については、「非常に満足」との回答が 40.0%、「わりと満足」が 52.9%、「あまり満足していない」と「全然満足していない」との回答の合計が 6.0%であった。

表 3-7-1 ケアマネジャーの対応に対する満足度

満足度	%
非常に満足	40.0
わりと満足	52.9
あまり満足していない	5.1
全然満足していない	0.9
無回答	1.1
計	100.0

注)n=350

2) ケアプランに対する満足度 (表 3-7-2)

ケアプランに対する満足度については、「非常に満足」との回答が 29.4%、「わりと満足」が 62.3%、「あまり満足してない」と「全然満足していない」が合計で 6.5%であった。

表 3-7-2 ケアプランに対する満足度

満足度	%
非常に満足	29.4
わりと満足	62.3
あまり満足していない	5.1
全然満足していない	1.4
無回答	1.7
計	100.0

注)n=350

3) 在宅サービスに対する利用希望 (表 3-7-3)

在宅サービスに対する利用希望について、「ホームヘルプ」「訪問看護」「通所サービス」「ショートステイ」という4種類のサービスごとに質問した。選択肢は、「利用していないし、利用する必要がない」「今は利用していないが、利用したい」「現在利用しており、現在の回数で十分」「現在利用しているが、もっと回数を増やしたい」であった。「今は利用していないが、利用したい」と「現在利用しているが、もっと回数を増やしたい」については、現在の利用状況よりも利用希望が多い人と考えることができる。この2つの選択肢への回答の合計は、「ショートステイ」が36.6% (各32.3%と8.9%)と最も多く、「通所サービス」が24.6% (19.7%と4.9%)、「訪問看護」が23.7% (各22.0%と1.7%)と続いていた。

表 3-7-3 在宅サービスに対する利用希望

単位：%

利用希望	ホームヘルプ	訪問看護	通所サービス	ショートステイ
利用していないし、利用する必要なし	38.0	42.6	23.7	34.9
今は利用していないが、利用したい	21.1	22.0	19.7	32.3
現在利用しており、現在の回数で十分	22.0	16.0	39.4	8.9
現在利用しているが、もっと回数を増やしたい	4.9	1.7	4.9	4.3
無回答	14.0	17.7	12.3	19.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0

注)n=350

4) 施設サービスに対する利用希望 (表 3-7-4)

特別養護老人ホームでも通院などで透析が受けられる場合、特別養護老人ホームへの入所を家族介護者が希望するか否かを質問した結果、「なるべくなら入所させたくない」「絶対に入所はさせたくない」が合計で59.4% (各51.4%と8.0%)、「すぐにでも入所を希望する」「入所を検討したいと思う」が合計で38.0% (各7.1%と30.9%)であった。

表 3-7-4 施設サービスに対する利用希望

満足度	%
すぐにでも入所を希望する	7.1
入所を検討したいと思う	30.9
なるべくなら入所させたくない	51.4
絶対に入所はさせたくない	8.0
無回答	2.6
計	100.0

注)n=350

4章 ケアマネジャーに対する調査の結果

1. ケアマネジャーが担当した透析患者の属性

1) 透析患者の基本属性 (表 4-1-1)

年齢階級別分布は、「65歳未満」が8.7%、「65～74歳」という前期高齢者が27.8%、「75歳以上」の後期高齢者が63.4%であり、後期高齢者が半数以上を占めていた。性別分布は、男性が53.7%、女性が46.3%であった。

表 4-1-1 透析患者の年齢階級・性別分布

特性		%
年齢	65歳未満	8.7
	65-69歳	12.5
	70-74歳	15.3
	75-79歳	23.3
	80-84歳	19.9
	85歳以上	20.2
性	男性	53.7
	女性	46.3
計		100.0

注 1) n=391

2) 腎不全の原因 (表 4-1-2)

腎不全の原因については、「糖尿病性腎症」が48.8%、「慢性糸球体腎炎」が14.8%であった。「わからない」とする人も27.9%存在していた。

表 4-1-2 透析患者の腎不全の原因疾患の分布

原因疾患	%
糖尿病性腎症	48.8
慢性糸球体腎炎	14.8
その他	7.7
わからない	27.9
無回答	0.8
計	100.0

注 1) n=391

3) 透析患者の要介護度と日常生活動作能力(表 4-1-3)

要介護度は、「要介護3」かそれよりも要介護度が重い人（「要介護3」が23.3%、「要介護4」が19.9%、「要介護5」が20.2%）が全体の60%以上を占めていた。日常生活の自立度は、「室内での生活は自立、介助なしに外出不可」が42.2%、「室内で介助が必要、日中でもベッド上の生活」が30.4%であった。認知症の日常生活の自立度は、「認知症の症状がない」が40.7%、「何らかの症状は有するが、日常生活はほぼ自立」が21.2%、「日常生活に支障をきたす症状などが多少見られるが、誰かが注意すれば自立」が21.0%であった。

表 4-1-3 透析患者の要介護度・日常生活の自立度・認知症の日常生活の自立度の分布

特性		%
要介護度	要支援	8.7
	要介護1	12.5
	要介護2	15.3
	要介護3	23.3
	要介護4	19.9
	要介護5	20.2
	無回答	0.5
日常生活の自立度	何らかの障害あるが、独力で外出	10.2
	室内での生活自立、介助なしに外出不可	42.2
	室内で介助必要、日中でもベッド上の生活	30.4
	一日中ベッド上の生活、排泄などでも介助	11.3
	不明	5.4
認知症の日常生活の自立度	無回答	0.9
	認知症の症状はない	40.7
	何らかの症状は有するが、日常生活はほぼ自立	21.2
	日常生活に支障をきたす症状などが多少見られるが、誰かが注意すれば自立	21.0
	日常生活に支障をきたす症状などが見られるが、介護を必要とする	13.0
	日常生活に支障をきたす症状などが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	3.3
	著しい精神症状や周辺症状などが見られ、専門医療を必要とする	0.5
無回答	0.3	
計		100.0

注 1) n=391

4) 透析患者の家族構成 (表 4-1-4)

「夫婦二世帯」が 33.2%、「二世帯世帯」が 30.2%、「三世帯世帯」が 15.1%であり、「単独世帯」は 12.0%であった。

表 4-1-4 透析患者の家族構成の分布

世帯構成	%
単独	12.0
夫婦二人	33.8
二世帯	31.2
三世帯	15.1
その他	7.7
無回答	0.3
計	100.0

注 1) n=391

2. ケアマネジャーが担当した透析患者の介護態勢

1) 透析患者の主介護者（表 4-2-1）

透析患者を主に介護している人は誰か、その続柄は、「同居家族」が 77.2%と最も多く、「別居家族」と「介護保険サービス」がそれぞれ 8.7%と 7.9%と続いていた。

表 4-2-1 透析患者の主介護者の続き柄別分布（複数回答）

主介護者の種類	%
同居家族	77.2
別居家族	8.7
介護保険サービス	7.9
その他	1.3
介護者はいない	1.0
介護者は必要ない	0.0
無回答	3.8

注 1) n=391

2) 透析患者の日常生活の支援者（表 4-2-2）

透析患者の生活自立度に関して、「屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない」「屋内での生活は何らかの介助を要し、日中でもベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ」あるいは「一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する」という回答を選択した人について、手助けをしている人は誰かを質問した。支援者の中で最も多かったのが「家族・親族」（93.4%）であった。次いで多かったのが「介護保険のヘルパー」（34.4%）であった。

表 4-2-2 透析患者の日常生活の支援者の分布（複数回答）

支援者の種類	%
家族・親族	93.4
介護保険のヘルパー	34.4
ヘルパー以外の介護保険サービス	21.8
全額自費の介護・家事援助サービス	2.6
近所の人・友人	3.7
その他	3.4
手助けする人はいない	0.3

注 1) n=349

3) 疾病管理の支援者 (表 4-2-3)

食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理などの疾病管理を手助けしてくれる人について質問した。支援者として最も多かったのは「家族・親族」で 85.9%であった。「介護保険のヘルパー」「介護保険の訪問看護師」がそれぞれ 15.1%と 8.5%と続いていた。

表 4-2-3 疾病管理の支援者 (複数回答)

支援者の種類	%
家族・親族	85.9
介護保険の訪問看護師	8.5
介護保険のヘルパー	15.1
全額自費の介護・家事援助サービス	1.3
近所の人・友人	0.3
その他	10.3
手助けは必要だが、手助けする人はいない	1.8
手助けは必要ない	5.1
無回答	0.3

注 1) n=391

4) 透析施設への通院介助 (表 4-2-4)

「介護保険サービスを利用」との回答が 35.0%と最も多かった。次いで、「家族送迎や家族の付き添いで通院」「透析施設の送迎サービスを利用」がそれぞれ 29.2%、28.1%と続いていた。

表 4-2-4 利用者の通院介助者の分布 (複数回答)

通院介助	%
徒歩でひとりで通院	0.0
自家用車・公共交通機関・タクシーなどを利用し、ひとりで通院	4.6
家族送迎や家族の付き添いで通院	29.2
透析施設の送迎サービス (介護保険外) を利用	28.1
介護保険サービスを利用	35.0
NPO、ボランティアグループを利用	1.3
介護タクシー	0.5
その他	1.3

注) n=391

3. ケアマネジャーのケアマネジメントの達成度と困難度

1) 達成度と困難度の測定

(1) 達成度

「アセスメント」「ケアプランの作成」「モニタリング」、さらに「利用者との援助関係」「専門家との連携」を加えた5領域で評価した。各領域の項目は、透析患者のケアマネジメントに関わるケアマネジャーからのヒアリングに基づき、達成度を評価するための下位の領域として5領域（計17項目で構成）を設定した。その項目は、「援助関係」（2項目）、「アセスメント・課題分析」（7項目）、「ケアプランの作成」（4項目）、「モニタリング」（2項目）、「専門家との連携」（2項目）で構成した。

各領域の信頼性係数は、「利用者との援助関係」が0.628、「アセスメント・課題分析」が0.832、「ケアプランの作成」が0.667、「専門家との連携」が0.146、「モニタリング」が0.823であった。各領域を構成する項目を用いた主成分分析によっても、第1主成分への主成分負荷量が、いずれも0.5以上であった。すなわち、「専門家との連携」を除き信頼性がある程度確保されていることが示された。「専門家との連携」については、信頼性が低いことから、結果の解釈に際しては注意を要する。

(2) 困難度

困難度を評価するための項目（21項目で構成）を設定した。その項目は、「知識・情報不足」（4項目）、「利用者に問題」（3項目）、「資源不足」（5項目）、「調整困難」（7項目）、「劣悪な労働環境」（2項目）で構成した。

各領域の信頼性係数は、「知識・情報不足」が0.930、「利用者に問題」が0.745、「資源不足」が0.723、「調整困難」が0.933、「劣悪な労働環境」が0.883であった。各領域を構成する項目を用いた主成分分析によっても、第1主成分への主成分負荷量がいずれも0.5以上であった。

(3) 達成度・困難度の数値化

各領域を構成する項目別に回答の分布を求めるとともに、達成度、困難度のいずれも領域別に、各選択肢に配点された点数を単純加算した上で、項目数で割る、すなわち1項目当たりの領域別平均点を求めた。各選択肢への配点は、達成度については「まったくできていない」「あまりできていない」「一応できている」「よくできている」の各選択肢に0～3点を、困難度については「あまり問題でない」「やや問題」「かなり問題」「非常に問題」の各選択肢に0～3点を配点した。

2) ケアマネジメントの達成度

項目別の回答分布は（表 4-3-1）、「地域ケア会議での調整」（専門家との連携の領域）を除くすべての項目で、半数以上のケアマネジャーが「一応できている」あるいは「よくできている」と回答していた。しかし、「よくできている」という回答に限定すると、30%以上という項目は、「利用者と家族に対する説明・合意・契約」（利用者との援助関係の領域）、「作成の際の利用者との調整」（ケアプランの作成の領域）、「サービス担当者会議での調整」（専門家との連携の領域）のみであった。

領域ごとに、項目別の平均点を算出した結果をみると（表 4-3-2）、「専門家との連携」の平均点が 1.55 と最も低く、次いで「アセスメント」が 1.99、「ケアプランの作成」が 2.14 と続いていた。

表 4-3-1 ケアマネジメントの達成度の項目別集計結果 単位：％（N=391）

領域	項目	まったくできていない	あまりできていない	一応できている	よくできている	無回答
利用者との援助関係	利用者と家族に対する説明、合意、契約	0.3	2.0	59.1	38.6	0.0
利用者との援助関係	利用者・家族とあなたとの信頼関係	0.5	2.0	73.9	23.3	0.3
アセスメント・課題分析	利用者の身体的状況	0.0	6.1	80.1	13.6	0.3
アセスメント・課題分析	利用者の精神的状況	0.0	15.1	73.9	11.0	0.0
アセスメント・課題分析	利用者の社会的状況	0.5	22.0	66.5	10.5	0.5
アセスメント・課題分析	利用者の意思や希望	0.3	11.5	70.3	17.9	0.0
アセスメント・課題分析	利用者の家族介護	1.3	10.0	71.9	16.1	0.8
アセスメント・課題分析	利用者の家族関係	1.3	17.4	66.5	14.6	0.3
アセスメント・課題分析	利用者の課題分析	0.0	6.4	83.6	9.7	0.3
ケアプランの作成	利用者の援助目標の設定	0.0	7.9	80.8	11.3	0.0
ケアプランの作成	利用者の自己決定の推進	0.5	17.6	60.6	21.2	0.0
ケアプランの作成	作成の際の家族との調整	1.8	6.6	64.2	26.6	0.8
ケアプランの作成	作成の際の事業者との調整	0.8	0.8	60.6	37.9	0.0
専門家との連携	サービス担当者会議での調整	0.8	1.5	60.4	37.3	0.0
専門家との連携	地域ケア会議での調整	45.8	33.5	15.6	3.3	1.8
モニタリング	利用者のモニタリング	0.0	2.6	71.6	25.8	0.0
モニタリング	ケアプランの見直し	1.0	7.4	71.4	20.2	0.0

表 4-3-2 ケアマネジメントの達成度の領域別平均点

領域	利用者との援助関係	アセスメント・課題分析	ケアプランの作成	専門家との連携	モニタリング
平均点	2.28	1.99	2.14	1.55	2.17
標準偏差	0.44	0.37	0.40	0.52	0.48
N	390	383	388	384	391

注) 各領域別に欠測をもつ人は除いているため、n は 391 にならない。

3) ケアマネジメントの困難度

項目別の回答分布について（表 4-3-3）、「やや問題」「かなり問題」「非常に問題」との回答が合計で 50%を超えた項目は、知識・情報不足の領域に属する項目（「腎不全の原因疾患の知識不足」（63.3%）、「利用者の合併症の知識不足」（65.9%）、「透析管理の知識不足」（60.4%）、「利用者の医学的状況の知識不足」（59.8%））、および「透析患者を受け入れる入所施設が少ない」（76.7%）と「透析施設までの送迎手段が十分でない」（51.2%）であった。

領域ごとに、項目別の平均点を算出した結果については（表 4-3-4）、「知識・情報不足」の平均点が 0.86 と最も高く、次いで「資源の不足」が 0.81、「利用者の問題」が 0.57 と続いていた。

表 4-3-3 ケアマネジメントの困難度の項目別集計結果 単位：％（N=391）

領域	項目	あまり問題ではない	やや問題	かなり問題	非常に問題	無回答
知識・情報不足	透析管理の知識不足	39.4	43.7	11.8	4.9	0.3
知識・情報不足	腎不全の原因疾患の知識不足	36.6	44.8	13.6	4.9	0.3
知識・情報不足	利用者の合併症の知識不足	33.2	45.0	17.1	3.8	0.8
知識・情報不足	利用者の医学的状況の知識不足	39.1	43.7	11.5	4.6	1.0
利用者の問題	利用者の経済的困窮	59.8	22.0	10.7	6.1	1.3
利用者の問題	利用者がサービス利用に消極的	55.2	30.2	11.5	2.3	0.8
利用者の問題	家族がサービス利用に消極的	63.4	24.8	7.4	2.6	1.8
資源不足	訪問系サービスが少ない	69.8	21.0	6.9	1.3	1.0
資源不足	透析患者を受け入れる通所施設が少ない	58.3	16.6	13.8	10.7	0.5
資源不足	透析患者を受け入れる入所施設が少ない	22.3	17.6	29.2	29.9	1.0
資源不足	透析施設までの送迎手段が十分でない	47.8	20.7	16.4	14.1	1.0
資源不足	利用限度額が低い	78.8	15.1	3.6	2.0	0.5
調整	利用者との意思疎通が十分でない	70.3	18.4	7.4	3.6	0.3
調整	家族との意思疎通が十分でない	76.5	11.3	5.9	4.9	1.5
調整	透析施設との意思疎通が十分でない	68.8	18.4	8.4	3.8	0.5
調整	透析以外の医療施設との意思疎通が十分でない	62.9	25.6	7.4	3.6	0.5
調整	訪問系のサービス事業者との意思疎通が十分でない	81.3	6.9	6.4	2.3	3.1
調整	通所施設との意思疎通が十分でない	77.5	8.7	6.6	2.0	5.1
調整	入所施設との意思疎通が十分でない	66.8	11.3	7.2	3.6	11.3
劣悪な労働環境	時間がない	61.1	25.1	8.2	4.1	1.5
劣悪な労働環境	担当ケースが多い	58.8	27.6	8.7	3.6	1.3

表 4-3-4 ケアマネジメントの困難度の領域別平均点

領域	知識・情報不足	利用者の問題	資源の問題	調整の問題	劣悪な労働環境
平均点	0.86	0.57	0.81	0.41	0.55
標準偏差	0.74	0.66	0.65	0.66	0.76
N	385	379	382	338	382

注) 各領域別に欠測をもつ人は除いているため、n は 391 にならない。

4) ケアマネジメントの達成度に関連するケアマネジメントの困難度 (表 4-3-5)

アセスメントの達成度がケアマネジメントの困難度によって影響されているか否かを分析するため、領域別のケアマネジメントを従属変数に、困難度を独立変数として重回帰分析を行った。

「アセスメント・課題分析」の達成度については、「知識・情報不足」「劣悪な労働環境」の面で困難度が高い場合に低かった。「ケアプランの作成」の達成度については、同じく「知識・情報不足」「劣悪な労働環境」の面で困難度が高い場合に低かった。「利用者との援助関係」「専門家との連携」「モニタリング」の各達成度については、有意な効果をもつ困難度はなかった。

表 4-3-5 ケアマネジメントの達成度に対するケアマネジメントの困難度：
重回帰分析の結果 (標準偏回帰係数)

項目	利用者との 援助関係	アセスメント・ 課題分析	ケアプラン の作成	専門家との 連携	モニタリング
知識・情報不足	-.086	-.204**	-.144*	-.109	-.122 †
利用者の問題	-.126 †	-.110 †	-.076	-.093	-.105
資源不足	.008	.058	-.013	.058	-.055
調整の問題	.002	.026	.060	.039	.157 †
劣悪な労働環境	-.110	-.193**	-.149*	-.068	-.097
重決定係数	.043**	.104***	.049**	.009	.023*
N	320	318	321	320	321

注) ***; P <.001, **; P <.01, *; P <.05, †; P <.10

4. 在宅サービスの過少利用とその関連要因

1) 在宅サービスの過少利用の測定方法

「ホームヘルプ」「訪問看護」「通所サービス」「ショートステイ」の各サービスの利用について、利用が十分か否かを次のような4つの選択肢を用いて評価してもらった。「利用していないし、利用する必要がない」「今は利用していないが、利用した方がよい」「現在、利用しており、現在の回数で十分」「現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい」。選択肢のうち、「現在、利用しており、現在の回数で十分」に回答した場合には適正利用群、「今は利用していないが、利用した方がよい」と「現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい」を選択した場合は、必要にもかかわらず利用していない群、すなわち過少利用群とした。「利用していないし、利用する必要がない」と無回答については、サービスの利用ニーズがない、あるいはその判断ができないため、分析から除外した。

2) 過少利用の割合

「①今は利用していないが、利用した方がよい」と「②現在、利用しているが、回数を増やした方がよい」という過少利用の可能性のある回答の割合は、分析対象者全体の中での割合でみると、ショートステイが46.0%（①が42.2%、②が3.8%）と最も多く、ホームヘルプが40.0%（①が18.7%、②が12.3%）、通所サービスが36.6%（①が27.6%、②が9.0%）、訪問看護が33.0%（①が32.7%、②が0.3%）、と続いていた（表4-4-1）。

各サービスについて利用ニーズがある人に限定（「利用していないし、利用する必要がない」と回答した人と無回答を除く）し、過少利用の割合をみると、その割合は、ショーステイが86.1%と最も高く、次いで訪問看護が66.2%、ホームヘルプが48.2%と続いていた（表4-4-2）。

表 4-4-1 在宅サービスの種類別過少利用に関する質問の回答分布 単位：% (N=391)

種類	利用していないし、 利用する必要がない	今は利用していないが 利用した方がよい	現在、利用しており、 現在の回数で十分	現在、利用しているが、 回数を増やした方がよい	無回答
ホームヘルプ	33.5	18.7	33.2	12.3	2.3
訪問看護	46.0	32.7	16.4	0.3	4.6
通所サービス	19.2	27.6	41.9	9.0	2.3
ショートステイ	42.7	42.2	7.4	3.8	3.8

表 4-4-2 サービスの利用ニーズのある人に限定した過少利用の割合 単位：%

種類	過少利用群		n
	適正利用群 （「現在、利用しており、 現在の回数で十分」と回答）	（「今は利用していないが 利用した方がよい」あるいは 「現在、利用しているが、回数を 増やした方がよい」と回答）	
ホームヘルプ	51.8	48.2	251
訪問看護	33.2	66.8	193
通所サービス	53.4	46.6	307
ショートステイ	13.9	86.1	209

2) サービスの過少利用に対するケアマネジメントの達成度と困難度の影響

サービスの過少利用に対して、ケアマネジメントの達成度と困難度が影響しているか否かを評価するため、過少利用群と適正利用群の2値を従属変数に、各困難度と達成度を独立変数としたロジスティック回帰分析を行った。

表4-4-3に示したように、「利用者の問題」でケアマネジメントを困難に感じているケアマネジャーの場合、いずれのサービスとも過少利用の割合が高いという結果であった。加えて、ホームヘルプについては、「透析に関する知識や情報に乏しい」というケアマネジャーの場合、通所サービスについては、「資源不足」を感じているケアマネジャーの場合に、過少利用が多いという結果であった。

表4-4-3 過少利用に関連するケアマネジメントの達成度・困難度：ロジスティック回帰分析の結果

項目	オッズ比			
	ホームヘルプ	訪問看護	通所サービス	ショートステイ
利用者との援助関係	0.857	2.259	0.746	0.459
アセスメント・課題分析	0.506	0.652	0.502	0.696
ケアプランの作成	2.271	0.445	1.409	4.794
専門家との連携	0.736	0.953	0.647	0.495
モニタリング	0.827	1.172	1.132	0.583
知識・情報不足	1.489 †	1.016	0.634 †	0.911
利用者の問題	1.674 †	1.969*	2.074**	3.603*
資源不足	1.417	1.738	1.810*	0.805
調整の問題	0.569	0.920	0.881	1.117
劣悪な労働環境	0.978	0.770	0.841	0.959
モデル χ^2/df (p)	18.049/10 (.054)	13.853/10 (.180)	27.773/10 (.002)	16.001/10 (.100)
N	204	157	248	166

注1) 表中の数値は、適正利用のオッズに対する過少利用のオッズ、すなわちオッズ比であり、各要因の点数が1点増加した場合、オッズ比がどの程度変化するかを意味している。オッズ比1よりも大きい場合には、過少利用の出現割合が増加する。

注2) ***; P < .001, **; P < .01, *; P < .05, †; P < .10

5. 患者に対する周囲からの支援の充足度とその関連要因

1) 周囲からの支援の充足度の測定

「通院」「通院以外の生活」「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」について、周囲からの援助（家族や介護サービスなど）が十分か否かを質問した。選択肢は、「かなり不足している」「少し不足している」「まあまあ十分である」「十分である」「援助は必要ない」であった。

2) 周囲からの支援の充足度の分布（表 4-5-1）

「通院」「通院以外の生活」「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」それぞれについて、「かなり不足している」「少し不足している」「まあまあ十分である」「十分である」「援助は必要ない」の回答分布を観察した。

「通院以外の生活」については、「かなり不足」（4,3%）、「少し不足」（26.9%）の回答の合計が 31.2%であった。「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」については、「かなり不足」（5,6%）、「少し不足」（19.7%）の回答の合計が 25.3%であった。「通院」については、「かなり不足」（4,9%）、「少し不足」（16.4%）の回答の合計が 21.3%であった。

表 4-5-1 周囲からの支援の充足度の回答分布 単位：%（N=391）

種類	かなり不足	少し不足	まあまあ十分	十分	援助の必要ない
通院	4.9	16.4	30.2	45.0	3.6
通院以外の生活	4.3	26.9	43.0	25.1	0.8
食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理	5.6	19.7	43.7	28.4	2.6

3) 支援の充足度に対するケアマネジメントの困難度と達成度の影響

「通院」「通院以外の生活」「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」に関する支援の充足度に対して、ケアマネジメントの困難度と達成度が影響しているか否かを分析するため、支援の充足度の「かなり不足している」「少し不足している」「まあまあ十分である」「十分である」の項目にそれぞれ 0～3 点までを配点し従属変数とし、ケアマネジメントの達成度と困難度を独立変数とする重回帰分析を行った。分析に際しては、「援助は必要ない」との回答者は分析から除外した。

結果は、表 4-5-2 に示されている。「通院」と「通院以外の生活」に関する周囲からの支援については、ほぼ共通の困難度あるいは達成度が強い影響をもっていた。すなわち、ケアマネジメントの際の困難として「資源不足」を訴える人、あるいはケアマネジメントの達成度の中でも「アセスメント・課題分析」の達成度が低い人では、「通院」と「通院以外の生活」に関する周囲からの支援の充足度が低かった。加えて、「通院以外の生活」に関しては、ケアマネジメントの際の困難として「利用者の問題」を挙げる人で、その患者の支援の充足度が低かった。「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」に関しては、ケアマネジメントの際の困難として「知識・情報の不足」を訴える人で、その患者の支援の充足度が低かった。

興味深いのは、「通院」「通院以外の生活」「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」のいずれに関しても、ケアマネジメントの際の困難として「調整の問題」を訴える人で、患者の支援の充足度が高かった点である。この結果については、原因と結果が逆転している可能性がある。すなわち、「通院」「通院以外の生活」「食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理」に対する周

困の支援を得ようとするれば、周囲からいかに支援を引き出すかを考え、働きかけることが必要となる。そのための働きかけを周囲にした結果として、たとえ支援を得ることができたとしても、その過程において支援を得ることの困難をも実感したのではないかと思われる。

表 4-5-2 支援の充足度に関連するケアマネジメントの達成度・困難度：重回帰分析の結果

項目	標準偏回帰係数		
	通院	通院以外の生活	食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理
利用者との援助関係	-.107	.083	.027
アセスメント・課題分析	.127 †	.162*	.026
ケアプランの作成	.049	-.019	.136
専門家との連携	-.070	.030	.039
モニタリング	.044	-.035	-.008
知識・情報不足	-.116 †	-.095	-.250***
利用者の問題	-.008	-.225**	-.058
資源不足	-.393***	-.244**	-.089
調整の問題	.272**	.226**	.224**
劣悪な労働環境	-.027	-.045	-.118 †
調整済重決定係数	.124***	.172***	.109***
N	305	313	308

注) ***; P < .001, **; P < .01, *; P < .05, †; P < .10

6. 家族介護者の介護負担・介護継続意思のケアマネジャーによる評価

1) 家族介護者の負担感と介護継続意思に関するケアマネジャーの評価

家族介護者の負担感の評価については、透析患者の介護者が「同居家族」「別居の家族」とする人の、介護による身体的・精神的負担はどの程度かについてケアマネジャーに評価してもらった。選択肢は、「非常に負担である」「かなり負担である」「あまり負担でない」「まったく負担でない」であった。

家族介護者の介護継続意思の評価については、透析患者の介護者が「同居家族」「別居の家族」とする人の介護継続意思についてケアマネジャーに評価してもらった。選択肢は「ある」「あまりない」「まったくない」であった。

2) ケアマネジャーから見た家族の介護負担感・介護継続意思の状況

ケアマネジャーから見た利用者家族の介護負担感については、「非常に負担」「かなり負担」「あまり負担でない」の回答は、それぞれ 12.5%、49.1%、37.5%であった。介護継続意思については、「ある」が 84.8%、「あまりない」が 4.8%であった。

表 4-6-1 ケアマネジャーから見た利用者家族の介護負担感・介護継続意思

項目		(%)
介護負担感	非常に負担	12.5
	かなり負担	49.1
	あまり負担でない	37.5
	無回答	0.9
介護継続意思	ある	84.8
	あまりない	4.8
	まったくない	0.6
	無回答	9.8
計		100.0

注) 回答の対象は、家族介護者が「同居家族」「別居の家族」とする 336 人であった。

3) 介護負担感・介護継続意思に対するケアマネジメントの困難度・達成度の影響

ケアマネジャーのケアマネジメントの達成度と困難度によって、介護負担感および介護継続意思が影響を受けているか否かについて分析するために、負担感については、「非常に負担であるから」「まったく負担でない」に 3~0 点を配点した上で、その変数を従属変数に、ケアマネジメントの達成度と困難度を独立変数として重回帰分析を実施した。介護継続意思については、次のように分析した。まず、「あまりない」「まったくない」の回答割合が少なかったことから、それを一括して「ない」というカテゴリを作成し、「ある」を加えた 2 値変数を作成した。次いで、これを従属変数に、ケアマネジメントの達成度と困難度を独立変数としてロジスティック回帰分析を実施した。

表 4-6-2 には、介護負担感に対するケアマネジメントの困難度・達成度の影響を分析した結果を示した。達成度については「ケアプランの作成」についての達成度が低い場合、困難度については、「知識・情報が不足」「資源が不足」している場合に、家族介護者の負担感が高いという評価をするケアマネジャーが多かった。達成度については「利用者との信頼関係」の達成度が低い、困難度については「調整の問題」が多い場合に、家族介護者の負担感が低い評価をするケアマネジャーが

多く、仮説と逆の結果が得られている。この解釈としては、「利用者との信頼関係」については、それが深いほど家族介護者の状況に対して感情移入することで負担感を過大に評価するといったこともあるのではないか。「調整の問題」については、周囲の支援の充足度と共通して、負担感を軽減させるための働きかけを周囲にした結果として、周囲から支援を得ることの困難をも実感したのではないかと思われる。

介護継続意思については、ケアマネジメントの達成度・困難度によって説明される割合が低く、個別にみても有意な影響をもつ項目がほとんどなかった（結果を省略）。

表 4-6-2 介護負担感とケアマネジメントの到達度と困難度との関連：
重回帰分析の結果

	標準偏回帰係数
達成度	
利用者との信頼関係	.120 †
アセスメント	.100
ケアプランの作成	-.169 †
専門家との調整	-.081
モニタリング	-.006
困難度	
知識・情報不足	.123 †
利用者の問題	.027
資源不足	.355***
調整の問題	-.151 †
劣悪な労働環境	-.033
重決定係数	.112***
N	282

注) ***; P < .001, **; P < .01, *; P < .05, †; P < .10

7. 在宅生活維持のために必要なこと、在宅生活が困難になった際の対応

1) 在宅維持のために必要なこと（表 4-7-1）

透析患者が在宅生活を維持するために必要な手段と思われるのは何かについては、「家族・親族の手助け」「透析施設の職員による手助け」「ボランティア等の団体・組織による手助け」「介護保険のヘルパーによる手助け」「短期入所等を利用した家族の介護負担の軽減」の中から最も有効な手段を選択してもらった。

必要な手段としては、「家族・親族の手助け」との回答が最も多く、46.3%を占めていた。次いで、「介護保険のヘルパーによる手助け」「短期入所等を利用した家族の介護負担の軽減」がそれぞれ20.2%、19.7%と続いていた。

表 4-7-1 在宅維持のために必要なことの分布（複数回答）

必要なこと	%
家族・親族の手助け	46.3
透析施設の職員による手助け	6.4
ボランティア等の団体・組織による手助け	2.0
介護保険のヘルパーによる手助け	20.2
短期入所等を利用した家族の介護負担の軽減	19.7
その他	5.1
無回答	0.3

注)n=391

2) 透析患者が在宅での生活が困難になった場合に現実にできること（表 4-7-2）

透析患者が在宅での生活が困難になった場合に、現実にできることとして、どのような対応が可能と考えているのかについては、「福祉施設に入居させ、そこから透析施設に通院させる」「透析が可能な病院に入院させる」「対応策はない」の中から、最も現実的なものを選択してもらった。

対応策としては、「透析が可能な病院に入院させる」が58.1%と最も多かった。「福祉施設に入居させ、そこから透析施設に通院させる」が37.1%と続いていた。「対応策はない」との回答は0.5%であった。

表 4-7-2 要介護透析患者が在宅での生活が困難になった場合に現実にできる

現実にできること	%
福祉施設に入居させ、そこから透析施設に通院させる	37.1
透析が可能な病院に入院させる	58.1
その他	2.8
対応策はない	0.5
無回答	1.5
計	100.0

注)n=391

第5章 家族介護者とケアマネジャー調査 の自由回答の分析

1. 家族介護者

1) 分析手続き

家族介護者調査票の最後に自由記載欄を設け、「あなたが要介護状態の透析患者を介護する中で、問題と感じていること、悩んでいること、対応してほしいことがありましたら、ご自由にお書きください」と尋ねた。自由記載欄に何らかの記載があったのは、回収された350票中171票（回収数の48.9%）だった。

分析にあたっては、記載された文章をそれぞれ意味のわかる単位で区切りコード化した後、コードの類似性と相違性により抽象度を上げてサブカテゴリとカテゴリを作成した。なお、「特に問題なし」等の記述や意味が捉えにくかった記述は分析から除外した。

2) 自由記載欄に記載のあった家族介護者の特性（表5-1-1）

自由記載欄への回答の有無について、家族介護者の特性の違いをみると、自由記載欄に記載ありの人では女性の割合が80.1%と有意に高かった（記載なしの人では65.0%）。介護している要介護（支援）者の特性の違いをみると、記載ありの人では、要介護者の性別では男性の割合が有意に高かった（59.1%、記載なしの人では47.8%）。有意な差がなかったが、要介護度を比較すると比較的重度の人（要介護3～5）の割合が高く（49.4%、記載なしの人では41.0%）、原因疾患では糖尿病性腎症の人の割合が高く（46.8%、記載なしの人では41.1%）、日常生活の自立度では自立度が低い人の割合が高い（37.3%、記載なしの人では28.3%）という傾向がみられた。

表5-1-1 家族介護者の特性（自由記載の有無による）

		記載あり (N=171)	記載なし (N=177)	
		%	%	
【家族介護者】				
性別	女性	80.1	65.0	**
年齢	20～64歳	46.8	47.2	n. s.
	65～74歳	28.7	29.2	
	75歳以上	24.6	23.6	
【要介護（支援）者】				
性別	男性	59.1	47.8	*
年齢	40～64歳	9.9	7.3	n. s.
	65～74歳	28.7	27.4	
	75歳以上	61.4	65.4	
要介護度	要支援・要介護1, 2	50.6	59.0	n. s.
	要介護3～5	49.4	41.0	
透析年数	10年未満	57.6	57.5	n. s.
	10年～20年未満	25.5	24.0	
	20年以上	17.0	18.6	
原因疾患	慢性糸球体腎炎	17.0	19.4	n. s.
	糖尿病性腎症	46.8	41.1	
	その他/わからない	36.3	39.4	
日常生活	身の回りのことは自立	62.7	71.7	n. s.
	寝たり起きたり～全くの寝たきり	37.3	28.3	

注) 量的変数はt検定、質的変数は χ^2 検定による(有意水準5%)。ただし、欠側は除外して分析している。

** ; P<.01, * ; P<.05, n. s. ; 有意差なし

3) 自由記載からとらえた家族介護者の思い

(1) 全体的に

自由記載から作成されたコードは 232 であり、これらのコードからカテゴリが 28 作成された。以下、カテゴリは【 】, サブカテゴリは〈 〉、記載内容(要約)は「 」で記す。生成されたカテゴリとサブカテゴリの一覧は表 5-1-2 に示した。

カテゴリには、肯定的な意味内容のものと否定的な意味内容のものが生成された。肯定的な意味内容のものとしては、【透析ケアへの安心感】【介護保険関係者への感謝】【透析施設への感謝】【患者会への感謝】【国の制度への感謝】【家族への感謝】という 6 つのカテゴリが生成された。【透析ケアへの安心感】の記載例には「1 日おきに通院することにより安心できる」、【介護保険関係者への感謝】の記載例には「ケアマネジャーと話し合い、できない部分を助けてもらうことで重荷にならず介護を続けている」などがあつた。否定的な意味内容のものには、「患者のケアに伴う負担」「患者の健康状態への不安」など現在抱えている問題と関連した 15 のカテゴリと、「今後の認知症患者の透析や生活についての不安」「今後の患者の状態悪化時の療養生活に関する不安」など将来の不安に関連した 7 つのカテゴリが生成された。

以下では、カテゴリの数が多かった否定的な意味内容に限定して、その内容を詳細に示してみよう。

(2) 現在抱えている問題

①【患者のケアに伴う負担】

このカテゴリは、〈患者のケアに伴う負担〉〈自宅でのトイレ介助〉という 2 つのサブカテゴリから生成された。具体的な記載例は次の通りである。

- ・〈患者のケアに伴う負担〉:「寒い季節は患者の痛みに対するマッサージと心のケアに長時間を費やし大変」
- ・〈自宅でのトイレ介助〉:「オムツを着用している車いすの患者の排便処理に対する負担感」

②【患者の健康状態への不安】

このカテゴリは、〈患者の健康問題に対する不安〉〈患者の体調に関する心配〉というサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈患者の健康問題に対する不安〉:「癌の再発が心配」
- ・〈患者の体調に関する心配〉:「透析後の疲労が強い患者の体調が心配」

③【食事管理に伴う負担】

このカテゴリを生成させたのは、〈食事管理が難しい〉〈食事管理の大変さ〉〈食事管理への葛藤〉〈食事管理や透析治療に対する患者の意識の低さに苦労〉〈透析患者向けの食品を身近な場所で購入できない〉〈経管栄養の費用がかかる〉という 6 つのサブカテゴリであつた。サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈食事管理が難しい〉:「食事と水分管理が難しい」「本人の食欲低下への対応と食事管理の兼ね合いに悩む」
- ・〈食事管理の大変さ〉:「慣れない制限食を作るのは負担」
- ・〈食事管理への葛藤〉:「できれば食事水分の制限なく好きな物をたべさせてあげたい」
- ・〈食事管理や透析治療に対する患者の意識の低さに苦労〉:「薄味の食事を食べず水分も控えず、食べてはいけない食品を隠れて食べるので対応に苦労」

④【通院に伴う負担】

このカテゴリは、〈通院費用の経済的負担〉〈透析の通院に伴う介護者の負担〉〈透析以外のための通院介助の負担〉という3つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈通院費用の経済的負担〉：「介護タクシーの費用負担が重い」
- ・〈透析の通院に伴う介護者の負担〉：「自家用車で車の送迎が大変」
- ・〈透析以外のための通院介助の負担〉：「要介護の患者を透析以外の病気の診察で他の病院に通院させるのが大変」

⑤【経済的理由による介護保険サービスの利用抑制】

〈経済的理由による介護サービスの利用抑制〉と〈経済的理由による入院・入所のあきらめ〉という2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈経済的理由による介護サービスの利用抑制〉：「デイサービスを増やしたいが金銭的余裕がない」
- ・〈経済的理由による入院・入所のあきらめ〉：「施設入所は経済的に無理」

⑥【健康課題を抱えながらの介護】

このカテゴリのサブカテゴリはない。これは次のような記載例から生成された。「介護者も障害者となり思うように介護できない」「介護者にも持病があり全介助での入浴に苦労」。

⑦【仕事と介護の両立の困難】

このカテゴリは、〈介護のために仕事ができないことによる経済的問題〉と〈仕事と介護の両立の負担感〉という2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護のために仕事ができないことによる経済的問題〉：「年金が少ないが介護のために仕事ができず経済的に厳しい」
- ・〈仕事と介護の両立の負担感〉：「家計が苦しいため、2人の要介護者を抱えながらパートで働いており身体的にきつい」「仕事をしながらの介護をいつまで続けられるかと思う」

⑧【介護ストレス】

このカテゴリは、〈介護者が休養できない〉〈介護による精神的ストレス〉〈患者の自己中心的な態度に困惑〉〈透析患者をおいて外出や旅行をすることに後ろめたさを感じる〉〈介護者の外出が制限される〉〈介護代替者がいないことによる負担〉という6つのサブカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護者が休養できない〉：「本人がデイサービスやショートステイを嫌うため、介護者が休養できない」
- ・〈介護による精神的ストレス〉：「本人からは感謝の言葉もない中で死にたいという思いが常にある」
- ・〈患者の自己中心的な態度に困惑〉：「自分が寝てしまうと、その後家族がテレビを見ているとおこる」
- ・〈外出や旅行をすることに後ろめたさを感じる〉：「透析患者をおいて外出や旅行をすることに後ろめたさを感じる」
- ・〈介護者の外出が制限される〉：「1日以上家を空けられないため自分の休日を楽しめない」
- ・〈介護代替者がいないことによる負担〉：「介護保険サービスを利用しながら介護者の自分ががんばるしかない」

⑨【医療施設への不満】

〈医療施設のケアに対する不満〉〈医療施設の送迎に対する不満〉〈診療への不満〉〈病院から家族に求められる役割に対する負担感〉という4つのサブカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈医療施設のケアに対する不満〉：「透析前後に患者自身が行わなければならない作業があるが、本人ができない場合にも病院は入院患者にしか対応しないため介護タクシーに実費で依頼しなければならず費用負担が大きい」
- ・〈医療施設の送迎に対する不満〉：「病院によって送迎費用が異なる」
- ・〈診療への不満〉：「他の病気もあるのであまり主治医が交代しないでほしい」
- ・〈病院から家族に求められる役割に対する負担感〉：「病院からの頻繁な連絡にストレスがたまる」

⑩【介護保険サービスへの不満】

このカテゴリは、〈介護者の体調不良時に介護保険サービスに頼れない〉〈短期／長期の施設入所を利用できない〉〈施設と病院間の移動における制約〉〈介護保険のリハビリへの不満〉〈デイサービスが使いづらい〉〈ケアマネジャーへの不満〉〈訪問介護への不満〉〈訪問看護への不満〉〈施設入所が身体状況を悪化させるのではないかと懸念〉〈自治体による介護保険サービスの差への不満〉という10のサブカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護者の体調不良時に介護保険サービスに頼れない〉：「介護者の体調不良時に介護保険サービスに頼れず困った」
- ・〈短期／長期の施設入所を利用できない〉：「透析のためにショートステイの長期利用ができない」
- ・〈施設と病院間の移動における制約〉：「介護タクシーを病院や施設間の移動に使えないという制約に困っている」
- ・〈介護保険のリハビリへの不満〉：「介護事業所の経営理念等によるリハビリの制約がある」
- ・〈デイサービスが使いづらい〉：「デイサービスの利用時間を延長できないため外出に支障」
- ・〈ケアマネジャーへの不満〉：「ケアマネジャーが頻繁に代わるので機能しているか疑問」
- ・〈訪問介護、訪問看護への不満〉：「土日の訪問看護がないので外出できない」
- ・〈施設入所が身体状況を悪化させるのではないかと懸念〉：「特養に入所させると車いすばかりで歩けなくなり認知症も進んで行くと思い、自宅介護をしている」
- ・〈自治体による介護保険サービスの差への不満〉：「他県から転居してきたが、介護保険サービスに差がある」という記載から

⑪【介護保険制度への不満】

このカテゴリは、〈介護費用の負担が重い〉〈介護保険行政への不満〉〈要介護認定への不満〉という3つのサブカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護費用の負担が重い〉：「介護費用を無料にしてほしい」
- ・〈介護保険行政への不満〉：「長期にわたる全介助の介護に疲れ役所に相談しても苦しみをわかってもらえないつらさ」
- ・〈要介護認定への不満〉：「家族の介護負担に配慮をしない要介護認定に対して不満がある」

⑫【周囲の無理解に対する不満】

このカテゴリのサブカテゴリはなかった。その記載例には「透析の発症にもいろいろな病気があることを世間は分かっておらず、対応の仕方に腹が立った」があった。

⑬【医療や福祉の支援を受けることへの抵抗】

これは〈医療の力と多額の補助金による長寿を喜んで良いものか〉と〈多くの支援を受けることへの後ろめたさ〉という2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈医療の力と多額の補助金による長寿を喜んで良いものか〉：「90歳を過ぎて医療の力で生かされている事の是非や国の多額の補助金が使われている事を思うと単純に長寿を喜んで良いのかと思う」
- ・〈多くの支援を受けることへの後ろめたさ〉：「介護者が仕事復帰するにあたり、多くの支援を受けざるを得ないことに対する憂鬱感」

⑭【透析治療に関する懸念】

このカテゴリは、〈本人が検査等を受けたがらない〉〈透析中に周囲に迷惑をかけていないか心配〉〈認知症患者への透析中のケアを希望〉という3つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈本人が検査等を受けたがらない〉：「本人が検査等を受けたがらない」
- ・〈透析中に周囲に迷惑をかけていないか心配〉：「透析中に周囲に迷惑をかけていないか心配」
- ・〈認知症患者への透析中のケアを希望〉：「認知症患者の透析中の便失禁に対応してもらいたい」
- ・〈透析とリハビリをどのように行うか悩む〉：「脳梗塞で右半身麻痺になり透析とリハビリをどのように行うか悩む」

⑮【認知症による介護負担】

このカテゴリは、〈認知症に伴う介護負担〉と〈認知症への対応に苦労〉という2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈認知症に伴う介護負担〉：「認知症患者の透析に介護者が付き添っているため、認知症の透析患者の入院施設がほしい」
- ・〈認知症への対応に苦労〉「脳梗塞と認知症で服薬管理が大変」

(3) 将来への不安

①【今後の認知症患者の透析や生活についての不安】

このカテゴリは、〈今後、認知症になった時の心配〉〈将来、認知症になった時に入院・入所できるか不安〉〈認知症の進行への不安〉という3つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈今後、認知症になった時の心配〉：「将来認知症を発症したらいつまで透析を継続したらよいか迷う」
- ・〈将来、認知症になった時に入院・入所できるか不安〉：「今後、認知症の透析患者が施設に入所できるか不安」
- ・〈認知症の進行への不安〉：「認知症が進行した場合に透析治療を受けられるか心配」

②【今後の患者の状態悪化時の療養生活に関する不安】

これは、〈患者の状態悪化に対する不安〉〈患者の状態が悪化した時に入院／入所できるか不安〉〈今後患者の状態が悪化した時の通院や透析継続への不安〉〈最期の迎え方がわからない〉〈歩行困難になることへの不安〉〈要介護度が悪化した場合に透析患者が入院／入所できる施設がない〉という6つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈患者の状態悪化に対する不安〉：「加齢に伴い状態が悪化することへの不安」

- ・〈患者の状態が悪化した時に入院／入所できるか不安〉：「今後患者の状態が悪化した時に透析設備のある施設に入所できるか心配」
- ・〈今後患者の状態が悪化した時の通院や透析継続への不安〉：「今後、認知症や要介護度の悪化時に透析継続できるか心配」
- ・〈最期の迎え方がわからない〉：「全介助のため介護サービスを受けながらがんばっているが、最期をどの場所で迎えたらいいかわからない」
- ・〈歩行困難になることへの不安〉：「歩行困難が進行し、将来玄関（3階）までの階段昇降ができなくなることへの不安」
- ・〈要介護度が悪化した場合に透析患者が入院／入所できる施設がない〉：「寝たきりになった時に透析のできる施設が近くにないのが残念」

③【将来、介護者が介護できなくなることへの不安】

〈介護者亡き後の患者の生活への不安〉〈自宅介護できなくなった時に入院・入所できるか不安〉〈将来の介護者の健康悪化への不安〉〈介護者が高齢になり介護できなくなることへの懸念〉〈介護者が高齢になり介護できなくなることへの不安〉〈将来、介護者が送迎できなくなることへの心配〉〈今後の生活への心配〉という7つのカテゴリから、このカテゴリが生成された。各サブカテゴリの記載例には次のようなものがある。

- ・〈介護者亡き後の患者の生活への不安〉：「持病のある介護者が先に他界した場合の患者の介護が心配」
- ・〈自宅介護できなくなった時に入院・入所できるか不安〉：「自宅での生活ができなくなった時に施設入所できるか不安」
- ・〈将来の介護者の健康悪化への不安〉：「介護者の持病が悪化することへの不安」
- ・〈介護者が高齢になり介護できなくなることへの懸念〉：「介護者も高齢なので介護できなくなるのが心配」
- ・〈将来、介護者が送迎できなくなることへの心配〉：「介護者の高齢または患者の要介護度の悪化により自家用車での送迎ができなくなる時が心配」
- ・〈今後の生活への心配〉：「今後のことを思うと心配」

④【介護者への支援の不足】

このカテゴリは、〈介護者が一時的に介護できない時の対応を望む〉〈介護者の孤立防止と経済的支援を望む〉〈患者や家族、関係者の交流の場がほしい〉〈急な対応を要する時に受け入れてもらえる施設がない〉〈若年介護者への支援を望む〉という5つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例として次のようなものがあった。

- ・〈介護者が一時的に介護できない時の対応を望む〉：「介護者が一時的に介護できなくなった時に透析を受けられるショートステイを望む」
- ・〈介護者の孤立防止と経済的支援を望む〉：「自宅介護者の孤立防止や経済的支援の対策を充実させてほしい」
- ・〈患者や家族、関係者の交流の場がほしい〉：「家族とケアマネジャーの負担軽減のために、同じような状況にある患者や家族、介護関係者が集うコミュニティがほしい」
- ・〈急な対応を要する時に受け入れてもらえる施設がない〉：「急な介護者不在時に透析や介護を受け入れてくれる施設がない」
- ・〈若年介護者への支援を望む〉：「若年介護者もケアの対象にしてほしい」

⑤【送迎支援の要望】

このカテゴリは、〈施設送迎に対する希望〉と〈低料金の送迎の要望〉という2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈施設送迎に対する希望〉：「自力通院できない患者の施設送迎を望む」
- ・〈低料金の送迎の要望〉：「家族送迎ができなくなった場合に低料金の送迎支援を望む」

⑥【透析患者が入院・入所できる施設の整備を要望】

このカテゴリは〈透析可能な低料金の入所施設が少ない〉と〈透析患者が入院・入所できる施設がない〉という2つのカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈透析可能な低料金の入所施設が少ない〉：「透析可能な低料金の老人ホームの増加を願う」
- ・〈透析患者が入院・入所できる施設がない〉「寝たきりの透析患者が入院/入所できる施設がほしい」

⑦【将来の経済的不安】

これは、〈家族送迎ができなくなった時のサービス利用や経済的負担が心配〉〈将来施設入所が必要な場合の経済的負担の心配〉〈将来の経済的不安〉〈要介護度悪化に伴う経済的負担の増加が心配〉という4つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は以下の通りである。

- ・〈家族送迎ができなくなった時のサービス利用や経済的負担が心配〉：「歩行困難なため家族が送迎できなくなった時の介護サービスや経済的負担が心配」
- ・〈将来施設入所が必要な場合の経済的負担の心配〉：「今後、自宅で介護できなくなった時の施設入所に伴う経済的な負担が不安」
- ・〈将来の経済的不安〉：「将来の経済的負担の増加に対する不安」
- ・〈要介護度悪化に伴う経済的負担の増加が心配〉：「他にも要介護者や病人を抱えているため、本人の要介護度が悪化した場合のサービス利用に伴う経済的負担増が心配」

4) まとめ

自由記載から、家族介護者は多くの悩みを抱えており、中でも将来に対する不安が多くを占めていることが明らかとなった。患者だけでなく介護者も高齢になる中で、より深刻な健康問題が発生した際の通院や生活、介護の維持に大きな懸念と不安を抱えていることが示唆された。

特に要望として多かったのは交通費の負担の軽減であった。介護保険サービスやタクシー代金の割引制度を使ったとしても1週間に3回という通院回数の多さから、施設の送迎サービスを受けられない場合には経済的な負担が大きい。このような負担の増大への懸念が将来への不安を増す要因の一つとなっていることが示唆された。

将来への不安だけでなく、介護保険制度が導入されていても、要介護状態の透析患者を抱えることに伴う大きなストレスにさらされている事例が少なくないことが示唆された。病院のスタッフやケアマネジャーなど医療・福祉の専門家は、介護に伴う負担の軽減を図ることができる対応策を具体的に提示するとともに、家族介護者との良好な関係性の構築や、苦労を理解・承認することで家族介護者の精神的な支えとなる必要があることが示唆された。

表5-1-2 家族介護者の自由記載

No.	カテゴリ	サブカテゴリ
1	医療ケアによる安心感	定期的に通院していることによる安心感
2	介護保険関係者への感謝	ケアマネジャーへの感謝 ケアマネジャーやヘルパーへの感謝 ケアマネジャーやリハビリの専門家に感謝
3	透析施設への感謝	安心できる透析施設 医師やスタッフへの感謝 医療関係者に感謝 透析施設の看護に感謝 透析施設のスタッフや医師に感謝 透析施設への感謝 透析施設のデイサービススタッフへの感謝
4	患者会への感謝	腎友会への感謝
5	国の制度への感謝	医療費の公費負担に感謝 介護保険制度への感謝
6	家族への感謝	家族の協力を感謝 家族への感謝
7	患者のケアに伴う負担	患者のケアに伴う負担 自宅でのトイレの介助
8	患者の健康状態への不安	患者の健康問題に対する不安 患者の体調に関する心配
9	食事管理に伴う負担	食事管理が難しい 食事管理の大変さ 食事管理への葛藤 食事管理や透析治療に対する患者の意識の低さに苦勞 透析患者向けの食品を身近な場所で購入できない 経管栄養の費用がかかる
10	通院に伴う負担	通院費用の経済的負担 透析以外のための通院介助の負担 透析の通院に伴う介護者の負担
11	経済的理由による介護保険サービスの利用抑制	経済的理由による介護サービスの利用抑制 経済的理由による入院・入所のあきらめ
12	健康問題を抱えながらの介護	現在の介護者の健康問題
13	仕事と介護の両立の困難	介護のために仕事ができないことによる経済的問題 仕事と介護の両立の負担感
14	介護ストレス	介護者が休養できない 介護による精神的ストレス 患者の自己中心的な態度に困惑 外出や旅行をすることに後ろめたさを感じる 介護者の外出が制限される 介護代替者がいないことによる負担
15	医療施設への不満	医療施設のケアに対する不満 医療施設の送迎に対する不満 診療への不満 病院から家族に求められる役割に対する負担感
16	介護保険サービスへの不満	介護者の体調不良時に介護保険サービスに頼れない 短期／長期の施設入所を利用できない 施設と病院間の移動における制約 介護保険のリハビリへの不満 デイサービスが使いづらい ケアマネジャーへの不満 訪問介護への不満 訪問看護への不満 施設入所が身体状況を悪化させるのではないかと懸念 自治体による介護保険サービスの差への不満

表5-1-2 家族介護者の自由記載（つづき）

No.	カテゴリ	サブカテゴリ
17	介護保険制度への不満	介護費用の負担が重い 介護保険行政への不満 要介護認定への不満
18	周囲の無理解に対する不満	世間は透析の原因が様々であることを分かっていない
19	医療や福祉の支援を受けることへの抵抗感	医療の力と多額の補助金による長寿を喜んで良いものか 多くの支援を受けることへの後ろめたさ
20	透析治療に関する懸念	本人が検査等を受けたがらない 透析中に周囲に迷惑をかけていないか心配 認知症患者への透析中のケアを希望 透析とリハビリをどのように行うか悩む
21	認知症による介護負担	認知症に伴う介護負担 認知症への対応に苦勞
22	今後の認知症患者の透析や生活についての不安	今後、認知症になった時の心配 将来、認知症になった時に、入院・入所できるか不安 認知症の進行への不安
23	今後の患者の状態悪化時の療養生活に関する不安	患者の状態悪化に対する不安 患者の状態が悪化した時に入院／入所できるか不安 今後患者の状態が悪化した時の通院や透析継続への不安 最期の迎え方がわからない 歩行困難になることへの不安 要介護度が悪化した場合に透析患者が入院／入所できる施設がない
24	将来、介護者が介護できなくなることへの不安	介護者亡き後の患者の生活への不安 自宅介護できなくなった時に入院・入所できるか不安 将来の介護者の健康悪化への不安 介護者が高齢になり介護できなくなることへの懸念 将来、介護者が送迎できなくなることへの心配 今後の生活への心配
25	介護者への支援の不足	介護者が一時的に介護できない時の対応を望む 介護者の孤立防止と経済的支援を望む 患者や家族、関係者の交流の場がほしい 急な対応を要する時に受け入れてもらえる施設がない 若年介護者への支援を望む
26	送迎支援の要望	施設送迎に対する希望 低料金の送迎の要望
27	透析患者が入院・入所できる施設の整備を要望	透析可能な低料金の入所施設が少ない 透析患者が入院・入所できる施設がない
28	将来の経済的不安	家族送迎ができなくなった時のサービス利用や経済的負担が心配 将来施設入所が必要な場合の経済的負担の心配 将来の経済的不安 要介護度悪化に伴う経済的負担の増加が心配

2. ケアマネジャー

1) 分析手続き

ケアマネジャーに関する調査票の最後に自由記載欄を設け、「透析患者のケアマネジメントを実施するにあたって、問題と感じていること、悩んでいること、対応してほしいことがありましたら、ご自由にお書きください」と尋ねた。自由記載欄に何らかの記載があったのは、回収された391票中251票（回収数の64.2%）だった。

分析にあたっては、家族介護者調査と同様、記載された文章をそれぞれ意味のわかる単位で区切りコード化した後、コードの類似性と相違性により抽象度を上げてサブカテゴリとカテゴリを生成させた。なお、「特に問題なし」等の記述や意味を捉えにくい記述は分析から除外した。

2) 自由記載欄に記載したケアマネジャーの特性（表5-2-1）

自由記載欄への記載の有無によるケアマネジャーの特性の違いをみると、自由記載欄に記載した人ではケアマネジメントを担当する利用者の要介護度が高い人の割合（要介護3～5の割合が50.2%、記載なしでは35.7%）が有意に高かった。有意ではないものの、記載ありのケアマネジャーの場合、利用者の年齢に関しては年齢が高い人が多く（75歳以上の割合が、記載ありでは65.3%、記載なしでは60.0%）、原因疾患では糖尿病性腎症の人が多く（記載ありでは51.8%、記載なしでは44.3%）、認知症状の有無では、症状を有する人が少なかった（記載ありでは39.0%、記載なしでは43.6%）。

表5-2-1 ケアマネジャーの特性（自由記載の有無による）

		記載あり (N=251)	記載なし (N=140)	
		%	%	
利用者性別	男性	55.8	50.0	n. s.
利用者年齢	40～64歳	6.4	12.9	n. s.
	65～74歳	28.3	27.1	
	75歳以上	65.3	60.0	
要介護度	要支援・要介護1, 2	49.8	64.3	**
	要介護3～5	50.2	35.7	
原因疾患	慢性糸球体腎炎	12.4	17.9	n. s.
	糖尿病性腎症	51.8	44.3	
	その他/わからない	35.3	36.4	
認知症状	あり	39.0	43.6	n. s.
	なし	60.6	56.4	

注) 量的変数はt検定、質的変数は χ^2 検定による(有意水準5%)。ただし、欠側は除外して分析している。

** ; P<.01, * ; P<.05, n. s. ; 有意差なし

3) 自由記載からとらえたケアマネジャーの思い

(1) 全体

自由記載から生成されたコードは355であり、これらのコードから28のカテゴリが作成された。以下、カテゴリを【 】, サブカテゴリを〈 〉、記載内容を「 」で示す。ただし、記載内容については一部要約している。生成されたカテゴリとサブカテゴリの一覧は表5-2-2に示した。

生成されたカテゴリをみると、透析患者に特有の問題や悩みの他、透析患者を含め高齢者や要介護者全般に関する問題も含まれていた。記述に際しては、いずれの場合もケアマネジャーが抱える課題であることから区別していない。

加えて、生成されたカテゴリには、【透析施設の患者支援体制が整っている】【介護者への支援がある】【訪問看護による安心感】など5つの肯定的な意味内容を含むカテゴリと、【透析患者を受け入れる病院や施設の不足】【通院に伴う家族の身体的・経済的負担】【通院のための経済的負担が大きい】など23の否定的な意味内容を含むカテゴリが含まれていた。

以下では、肯定的、否定的な意味内容のカテゴリそれぞれについて詳細を説明してみよう。

(2) 肯定的な意味内容のカテゴリ

① 【透析施設の患者支援体制が整っている】

このカテゴリのサブカテゴリはない。このカテゴリは「透析施設に送迎サービスや家族関係への理解、急な発病に対する病院間の連携体制がある」という記載例から生成された。

② 【介護者への支援がある】

このカテゴリもサブカテゴリがない。このカテゴリの記載例には「透析病院がレスパイト入院に対応しているので安心」があった。

③ 【透析施設や関係者との連携がとれている】

このカテゴリは〈本人や家族、関係者との連携がとれている〉〈透析施設との連携がとれている〉〈必要な患者情報が得られる〉〈透析施設で学習する機会がある〉という4つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りであった。

- ・〈本人や家族、関係者との連携がとれている〉:「ケアマネジメントにあたり、本人、ケアマネ、各事業所との連携が図れている」
- ・〈透析施設との連携がとれている〉:「透析病院が利用者の状況をよく把握しているため連携をとりやすい」
- ・〈必要な患者情報が得られる〉:「必要な患者情報を透析施設のケースワーカーから得られ助かる」
- ・〈透析施設で学習する機会がある〉:「透析患者の通院施設で開催された栄養指導が勉強になった」

④ 【訪問看護による安心感】

〈訪問看護師の助言により家族が安心できる〉〈訪問看護師の適切な食事指導により安心〉〈訪問看護による医療面のフォローがある〉という3つのサブカテゴリから、このカテゴリが生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈訪問看護師の助言により家族が安心できる〉:「訪問看護師の専門的助言により家族は安心して介護が出来ている」
- ・〈訪問看護師の適切な食事指導により安心〉:「長期透析患者では食事管理が緩くなるが、訪問看護師が入ると適切な指導がなされ本人、家族の受け止めもよい」
- ・〈訪問看護による医療面のフォローがある〉:「ケアマネが介護専門職のため医療知識不足を感じることから、訪問看護の利用により医療面のフォローをしている」

⑤【医療管理への安心感】

このカテゴリは、〈透析への定期通院による医療管理への安心〉という肯定的な面と、〈透析病院任せになり状況把握がおろそかになる〉という否定的な面の2つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈透析への定期通院による医療管理への安心〉：「透析患者は定期的な通院により医療管理がしっかりなされているので助かる」
- ・〈透析病院任せになり状況把握がおろそかになる〉：「週3回透析に通っているためほとんど病院まかせになり、自宅での状況等を見逃してしまうことがある」

(3) 否定的な意味内容のカテゴリ

①【透析患者を受け入れる病院や施設の不足】

このカテゴリに関しては最も多くの記載があった。このカテゴリを生成させたサブカテゴリは次の10であった。〈在宅介護破綻時に透析患者を受け入れる施設が少ない〉〈在宅生活困難時に透析患者が入院／入所可能な施設の不足〉〈視覚障害のある透析患者がADL低下時に入所可能な施設がない〉〈通院困難となった場合に入院可能な施設が少ない〉〈透析患者が短期入所できる施設の不足〉〈透析患者が利用可能な施設が少ない〉〈透析患者の短期／長期入所施設の不足〉〈透析患者の入院／入所施設が少ない〉〈透析施設への送迎を行っている入所施設が少ない〉〈有料老人ホームは受け入れ可能だが経済的に厳しい〉。

以下は各サブカテゴリの記載例である。

- ・〈在宅介護破綻時に透析患者を受け入れる施設が少ない〉：「介護者が在宅介護できなくなった際の受け入れ施設の目途が立たない」
- ・〈在宅生活困難時に透析患者が入院／入所可能な施設の不足〉：「将来、在宅生活が困難になったら入居施設を検討したいが施設が少ない」
- ・〈視覚障害のある透析患者がADL低下時に入所可能な施設がない〉：「視覚障害のある透析患者がADLが低下時に入所できる施設がない」
- ・〈通院困難となった場合に入院可能な施設が少ない〉：「通院透析が困難になった時に入院できる医療機関が少ない」
- ・〈透析患者が短期入所できる施設の不足〉：「透析患者の短期入所の受け入れに難色を示す施設が多い」
- ・〈透析患者が利用可能な施設が少ない〉：「透析治療を続けながら生活できる施設が少ない」
- ・〈透析患者の短期／長期入所施設の不足〉：「透析患者に対応する短期/長期入所施設がないため安心してケアマネジメントできない」
- ・〈透析患者の入院／入所施設が少ない〉：「透析患者を受け入れる入所施設や長期入院可能な病院も少ないため将来が不安」
- ・〈透析施設への送迎を行っている入所施設が少ない〉：「透析の送迎が問題となり入所施設を探すのが難しい」
- ・〈有料老人ホームは受け入れ可能だが経済的に厳しい〉：「有料老人ホームには透析患者も入居できるが経費がかかりすぎる」

②【通院に伴う家族の身体的・経済的負担】

〈家族による通院介助の負担〉〈通院介助に伴う経済的負担〉〈通院介助を介護保険でカバーできないことによる家族の負担〉〈通院支援の不足による介護負担〉の4つのサブカテゴリから生成さ

れた。各サブカテゴリの記載例は以下の通りである。

- ・〈家族による通院介助の負担〉：「透析後の体調が不安定なため毎回家族が迎えに行かねばならず負担が大きい」
- ・〈通院介助に伴う経済的負担〉：「透析通院のための交通費の負担が大きい」
- ・〈通院介助を介護保険でカバーできないことによる家族の負担〉：「通院介助に介護保険のプランを組まずタクシー利用が必要なため、経済的理由から家族が仕事を辞めて送迎している」
- ・〈通院支援の不足による介護負担〉：は「透析施設の送迎サービスがないため、家族の負担が大きい」

③【通院のための経済的負担が大きい】

このカテゴリは以下の3つのサブカテゴリから生成された。〈通院支援の不足による経済的負担〉〈低所得者の通院にタクシー利用は困難〉〈透析通院に伴う経済的負担〉。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈通院支援の不足による経済的負担〉：「透析施設が遠方のため交通費がかさむ」
- ・〈低所得者の通院にタクシー利用は困難〉：「タクシー代が高いため、低所得者には透析通院時に利用できない」
- ・〈透析通院に伴う経済的負担〉：「介護保険による乗降介助と自費によるタクシーを利用して透析施設に通院しており、費用負担が大きい」

④【通院手段の確保】

このカテゴリは、〈移動困難となった場合の通院手段の確保〉〈住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい〉〈透析終了時間の変動により通院支援サービスが受けられない〉〈ADLが低下すると通院乗降介助を断られる〉〈移動が自立していないと施設送迎を利用できない〉〈車いす利用者は透析施設の送迎を利用できない〉〈送迎を行っている透析施設が少ない〉〈通院介助を担う事業所の不足〉〈通院送迎サービスが使いづらい〉という9つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈移動困難となった場合の通院手段の確保〉：「座位が保てなくなった場合、ストレッチャーでの通院は事業所も少なく費用もかなりかかる」
- ・〈住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい〉：「自宅玄関から道路まで狭い階段の為、歩行できなくなると通院困難になる」
- ・〈透析終了時間の変動により通院支援サービスが受けられない〉：「透析中の血圧低下等により時々予定帰宅時間が遅くなるため、通院乗降介助を断られる」
- ・〈ADLが低下すると通院乗降介助を断られる〉：「通院乗降介助は、ADLが低下し介助量が増大すると、対応してもらえない可能性がある」
- ・〈移動が自立していないと施設送迎を利用できない〉：「透析施設の送迎バスは重度の人では利用できず、家族の負担が大きい」
- ・〈車いす利用者は透析施設の送迎を利用できない〉：「透析施設の送迎は車いすには対応しないため介護サービスを導入する際、利用料金を納得してもらおうのが大変」
- ・〈送迎を行っている透析施設が少ない〉：「山間地のため透析施設への送迎サービスがない」
- ・〈通院介助を担う事業所の不足〉：「通院乗降介助を引き受ける介護タクシー会社が少ない」
- ・〈通院送迎サービスが使いづらい〉：「通院送迎サービスの使い勝手が悪く、料金が高い」

⑤【短期入所利用時の透析通院支援がない】

〈短期入所中の透析通院支援がないことによる経済的負担〉〈短期入所中の通院費用負担が大きいため入院を選択せざるをえない〉〈短期入所中の透析通院支援がないことによるサービスの利用抑制〉という3つのサブカテゴリから、このカテゴリが生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈短期入所中の透析通院支援がないことによる経済的負担〉：「入所施設から透析通院する際にタクシー以外の手段がないため交通費がかかりすぎる」
- ・〈短期入所中の通院費用負担が大きいため入院を選択せざるをえない〉：「施設の短期入所では透析通院のための経済的負担が大きいため、病院で受け入れてもらっている」
- ・〈短期入所中の透析通院支援がないことによるサービスの利用抑制〉：「短期入所の利用意向があるが、透析施設への送迎がなく介護タクシー代の負担が増すことから、利用できない」

⑥【透析施設内で支援の不足】

このカテゴリは〈車いす患者を透析室へ移動するための支援がない〉〈玄関－居室間の移動介助が病院の送迎サービスに含まれない〉〈透析施設内での介助を介護保険のヘルパーが担えない〉〈要介護者に対する透析室での準備に病院が応じていない〉という4つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈車いす患者を透析室へ移動するための支援がない〉：「ADLが低下し車いすになると透析室まで通院介助で対応するのは難しい」
- ・〈玄関－居室間の移動介助が病院の送迎サービスに含まれない〉：「透析前後の玄関－居室間のヘルパーによる移動介助は送迎時間が一定でないと難しいため、病院で対応してほしい」
- ・〈透析施設内での介助を介護保険のヘルパーが担えない〉：「ヘルパーによる院内介助が介護保険適用外のため経済的に負担となる」
- ・〈要介護者に対する透析室での準備に病院が応じていない〉：「透析室のベッド準備に実費ヘルパーを利用せざるを得ないため、透析室内は病院で対応してほしい」

⑦【介護保険サービス利用の制約】

これは、〈家族構成による介護保険サービスの利用制限〉〈透析通院時のヘルパー同乗による身体介護が介護保険の適用とならない〉〈透析通院に伴う介護保険サービス利用の制約〉〈透析通院を理由とした短期入所の利用抑制〉〈透析を理由とした介護保険サービス提供の制限〉〈ヘルパーによる院内介助が介護保険適用外〉という6つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈家族構成による介護保険サービスの利用制限〉：「介護者は高齢で持病があるが、同敷地内に家族がいるため生活援助サービスを利用できない」
- ・〈透析通院時のヘルパー同乗による身体介護が介護保険の適用とならない〉：「通院透析時のヘルパー同乗による支援を身体介護で算定できるようにしてほしい」
- ・〈透析通院に伴う介護保険サービス利用の制約〉：「週3回の透析日を避けると介護保険サービス導入の調整が難しい」
- ・〈透析通院を理由とした短期入所の利用抑制〉：「透析がネックになり2泊以上の短期入所利用ができないため家族の負担を減らせない」
- ・〈透析を理由とした介護保険サービス提供の制限〉：「透析患者ということで施設入所や通所サービスの利用ができないことが多い」

- ・〈ヘルパーによる院内介助が介護保険適用外〉：は「病院内での介助に介護保険を利用できないため、有償ボランティアを利用しなければならない」

⑧ 【介護保険サービスの不足】

〈介護タクシーが少ない〉〈在宅生活困難者の受け入れ施設の不足〉〈体調不良時の一時的な介護保険サービス利用ができない〉〈要支援者に対する通院支援の不足〉〈利用者の希望にあった介護サービスがない〉という5つのサブカテゴリから、このカテゴリが生成された。以下は、各サブカテゴリの記載例である。

- ・〈介護タクシーが少ない〉：「介護タクシーが少なく、透析の時間と合わないため利用できない」
- ・〈在宅生活困難者の受け入れ施設の不足〉：「在宅生活維持困難な方の受け入れ施設が無いため、ケアプラン作成に限界がある」
- ・〈体調不良時の一時的な介護保険サービス利用ができない〉：「体調不良で一時的に介護が必要となった時に介護保険サービスが利用できない」
- ・〈要支援者に対する通院支援の不足〉：「要支援者は透析通院に介護タクシーを利用できない」
- ・〈利用者の希望にあった介護サービスがない〉：「透析食を提供できる通所施設が少ない」

⑨ 【介護保険サービスの未利用】

これは、〈介護保険サービス利用への抵抗や拒否〉〈経済的理由による介護保険サービスの未利用〉〈体調不良や意欲低下による介護保険サービス導入困難〉という3つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護保険サービス利用への抵抗や拒否〉：「本人が通所介護を望まないため家族の介護負担を軽減できない」
- ・〈経済的理由による介護保険サービスの未利用〉：「送迎時のタクシー利用による経済的負担が大きいため、必要な介護サービスを利用できない」
- ・〈体調不良や意欲低下による介護保険サービス導入困難〉：「透析による心身の負担が大きいため、通所サービスを活用できない」

⑩ 【介護者への支援の不足】

このカテゴリにはサブカテゴリがなかった。記載例には、「レスパイト機能を果たす病床をもう少し確保してほしい」がある。

⑪ 【介護サービスの調整】

〈現行の介護保険サービスによる支援の限界〉〈病院の駐車場が遠いため通院乗降介助の提供を断られる〉〈透析に合わせた送迎時間の調整〉〈透析の時間的拘束によるケアマネジメントへの制約〉〈入院による身体機能の低下により退院後の生活調整が大変〉〈本人・家族の意向をふまえたサービス調整〉〈要介護度が下がると必要な介護保険サービスが受けられない〉という7つのサブカテゴリによって、このカテゴリが生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈現行の介護保険サービスによる支援の限界〉：「ヘルパー介助による離れた送迎場所への移動が心配」
- ・〈病院の駐車場が遠いため通院乗降介助の提供を断られる〉：「病院の駐車場が遠いため、通院等乗降介助を嫌がる事業所が多くとても困る」
- ・〈透析に合わせた送迎時間の調整〉：「透析に合わせなければならないため、送迎時間の変更が多い」
- ・〈透析の時間的拘束によるケアマネジメントへの制約〉：「週3回の透析で拘束される時間がある」

ためケアマネジメントが自由にできない」

- ・〈入院による身体機能の低下により退院後の生活調整が大変〉：「入院中の歩行機能低下によりケアプランの変更が多くケアマネの負担が大きい」
- ・〈本人・家族の意向をふまえたサービス調整〉：「本人と介護者の意向を汲んでのサービス調整に悩む」
- ・〈要介護度が下がると必要な介護保険サービスが受けられない〉：「介護保険サービスを限度額まで利用しているため要介護度が下がると大変」

⑫【家族の介護負担】

〈介護代替者がいないことによる介護負担の増加〉〈介護負担による家族の健康問題〉〈認知症患者の送迎や透析に付き添う家族の負担〉という3サブカテゴリによって、このカテゴリが生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護代替者がいないことによる介護負担の増加〉：「介護者一人で介護を担っているため負担が大きく体調を崩すことが増えてきた」
- ・〈介護負担による家族の健康問題〉：「家族への負担が大きく、家族が体調を崩している」
- ・〈認知症患者の送迎や透析に付き添う家族の負担〉：「認知症のため透析時に介護者が付き添っていなければならない、家族の負担が大きい」

⑬【在宅介護困難時の対応】

このカテゴリは〈経済的理由により施設入所の選択肢がない〉〈介護者の健康問題による介護継続困難時の対応が心配〉〈介護者の緊急事態に透析患者を受け入れる施設が少ない〉という3つのカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈経済的理由により施設入所の選択肢がない〉：「透析患者が入所可能な施設があっても経済的余裕がないと入所できない」
- ・〈介護者の健康問題による介護継続困難時の対応が心配〉：「介護代替者がいないため介護者が病気になる時の対応に悩む」
- ・〈介護者の緊急事態に透析患者を受け入れる施設が少ない〉：「透析患者の受け入れ先が限られており、介護者の急な病気時の受け入れが困難」

⑭【主介護者の健康問題】

このカテゴリは〈介護者が認知症〉〈本人とともに介護者も高齢化することへの懸念〉〈主介護者の健康問題〉という3つのサブカテゴリによって生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護者が認知症〉：「キーパーソンが認知症のため今後の対応に悩む」
- ・〈本人とともに介護者も高齢化することへの懸念〉：「本人と共に介護者も高齢になっていくため、5年後には超老老介護となる」
- ・〈主介護者の健康問題〉：「主介護者の体調不良」

⑮【今後の患者の健康悪化時の対応】

このカテゴリは〈医療的処置が必要となった場合の入所継続困難〉〈急変時に迅速に対応できるか不安〉〈経済的に入所困難なため将来は入院せざるを得ない〉〈住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい〉〈終末ケアの体制が整えられるか不安〉〈将来の介護破綻に備えて施設の検討を勧めるべきか悩む〉〈認知症の進行や判断能力低下時の対応〉〈認知症が進行した場合の病状管理〉という8つのサブカテゴリによって生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈医療的処置が必要となった場合の入所継続困難〉：「胃瘻等の医療的なケアが必要になると入所している施設を退去しなければならない」
- ・〈急変時に迅速に対応できるか不安〉：「急変時に迅速に対応できるか不安」
- ・〈経済的に入所困難なため将来は入院せざるを得ない〉：「できれば入院生活は避けたいが、経済面では入所施設よりも病院が現実的である」
- ・〈住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい〉：「自宅がアパート2階のため、ヘルパーによる透析通院介助の際に外階段の昇降が支障となる」
- ・〈終末ケアの体制が整えられるか不安〉：「透析患者の終末ケアを経験した事がないので今後心配」
- ・〈将来の介護破綻に備えて施設の検討を勧めるべきか悩む〉：「介護者が急に介護できなくなった時のために今から施設の案内をした方がよいか悩む」
- ・〈認知症の進行や判断能力低下時の対応〉：「利用者は独居で周りの意見を聞かないため今後判断能力が低下した際にどうするか不安」
- ・〈認知症が進行した場合の病状管理〉：「認知症状が進行した時の病状管理が難しい」

⑩【患者の健康管理】

このカテゴリは〈病気により自分の症状や疾患管理を認識できない〉〈患者の健康問題出現の兆し〉〈患者の病識が薄い〉〈透析後の体調変動がある〉〈排便コントロールに悩む〉という5つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈病気により自分の症状や疾患管理を認識できない〉：「脳梗塞後遺症のため、医療者の指示を正しく認識できていないことがある」
- ・〈患者の健康問題出現の兆し〉：「心身機能が低下し、最近認知症状が出てきた」
- ・〈患者の病識が薄い〉：「糖尿病の合併症による神経障害を本人が認めたがらない」
- ・〈透析後の体調変動がある〉：「透析後のだるさなどによりADLの変動が大きい」
- ・〈排便コントロールに悩む〉：「排便コントロールに悩む」

⑪【食事管理への支援の難しさ】

このカテゴリは、〈介護者の高齢のため食事管理が不十分〉〈食事管理に伴う家族の精神的負担〉〈水分・食事管理に対する家族の認識不足〉〈水分・食事管理に対する患者の認識不足〉〈水分・食事管理への介入が難しい〉〈独居による水分・食事管理の難しさ〉〈認知症による水分・食事管理の難しさ〉〈服薬・食事管理に対する患者の認識不足〉という8つのサブカテゴリから生成された。各カテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈介護者の高齢のため食事管理が不十分〉：「主介護者が高齢のため、食事の管理ができていない」
- ・〈食事管理に伴う家族の精神的負担〉：「理解力の低い患者と病院の指導との間で家族が板挟みになる」
- ・〈水分・食事管理に対する家族の認識不足〉：「家族の食事管理意識が薄く、塩分の過剰摂取がある」
- ・〈水分・食事管理に対する患者の認識不足〉：「患者が水分・食事管理について理解できず、周囲の者が大変な苦勞をしている」
- ・〈水分・食事管理への介入が難しい〉：「水分管理が不十分だが、高齢なので厳しくしたくない家族の気持ちもわかるので悩む」
- ・〈独居による水分・食事管理の難しさ〉：「独居高齢者のため食事の管理が介護保険だけでは難しい」

- ・〈認知症による水分・食事管理の難しさ〉：「認知症で状況理解ができないため、水分・食事管理の徹底ができず体調コントロールが難しい」
- ・〈服薬・食事管理に対する患者の認識不足〉：「内服と食事管理が不十分で血圧も高いが、本人の自覚がなく改善が見られない」

⑱【患者や家族との関わり】

このカテゴリは〈怒り易い患者に対し発言できない〉〈家族との連絡調整困難〉〈家族への協力要請の困難〉〈患者との意思疎通の困難〉〈患者の病気に対する家族の認識不足〉〈患者や家族との意見調整〉という6つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈怒り易い患者に対し発言できない〉：「患者の気にいらぬことを言うと怒られるのである程度以上のことは言えない」
- ・〈家族との連絡調整困難〉：「老老介護で他県在住の子どもがキーパーソンのため、各種手続きに時間がかかる」
- ・〈家族への協力要請の困難〉：「家族の協力を得られない方の生活をどのようにフォローしていくかが課題」
- ・〈患者との意思疎通の困難〉：「認知症で意思疎通困難なため本人の意向に沿えない」
- ・〈患者の状態に対する本人や家族の認識不足〉：「患者の病状の深刻さを家族が認識できていない」
- ・〈患者や家族との意見調整〉：「ケアマネが必要と認識することに本人・家族が納得しない」

⑲【患者・家族の精神的ケア】

このカテゴリは〈家族の精神的ケア〉〈患者の精神的ケア〉〈患者の透析拒否への対応〉〈患者や家族の心理的負担に寄り添えるか不安〉という4つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈家族の精神的ケア〉：「透析中止の判断基準がないため、本人の意思表示がない場合に家族が悩む」
- ・〈患者の精神的ケア〉：「死に関する発言があり、生活意欲の向上の仕方に悩む」
- ・〈患者の透析拒否への対応〉：「利用者が透析に行きたくないとした場合の対応方法がわからない」
- ・〈患者や家族の心理的負担に寄り添えるか不安〉：「透析患者本人や通院に同行し介助している家族の心理的負担に対応できるか不安」

⑳【社会復帰への支援】

このカテゴリにはサブカテゴリはなく、記載例には「患者の社会復帰をどのように支援したらよいか迷う」があった。

㉑【知識不足】

このカテゴリは〈ケアマネが透析の知識を得る機会が無い〉〈ケアマネの医療／透析知識不足〉〈ケアマネの食事管理知識の不足〉〈ケアマネや関係者の透析知識不足〉〈サービス提供者や施設職員の透析知識不足〉〈患者や家族の透析への不安に対し助言できない〉という6つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈ケアマネが透析の知識を得る機会が無い〉：「透析に関する知識を得る機会が無い為、定期的な研修等の必要性を感じる」
- ・〈ケアマネの医療／透析知識不足〉：「医療面での知識が不足しているため見通しが立てにくい」
- ・〈ケアマネの食事管理知識の不足〉：「透析患者の食事について相談や学習する場がない」

- ・〈ケアマネや関係者の透析知識不足〉：「自分も含め、関係者がもっと透析の知識を深める必要がある」
- ・〈サービス提供者や施設職員の透析知識不足〉：「通所介護、短期入所において透析患者の知識が少ない介護職が多い」
- ・〈患者や家族の透析への不安に対し助言できない〉：「利用者や家族の透析に関連する不安に対しアドバイスができない」

② 【透析施設や関係者との連携が不十分】

〈ADL 低下時の透析病院との連携が課題〉〈透析施設との連携・情報共有ができていない〉〈患者に対する関係者の理解不足〉〈患者や家族からの話では不十分なため病院との情報共有が必要〉〈チームケアが必要〉〈透析病院や入院病院、施設など複数に関わる場合の連携が難しい〉〈治療方針やサービス利用の注意点等、病院から情報がほしい〉という7つのサブカテゴリから形成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈ADL 低下時の透析病院との連携が課題〉：「ADL がさらに低下した時の透析病院との連携が課題」
- ・〈透析施設との連携・情報共有ができていない〉：「利用者の現状を知り必要な配慮をしたいが、透析施設との意思疎通の図り方がわからない」
- ・〈患者に対する関係者の理解不足〉：「透析施設のスタッフが患者の認知症の進行状況をわかっていない」
- ・〈患者や家族からの話では不十分なため病院との情報共有が必要〉：「本人の身体状況の変化や対応等の情報を得る事が難しい時があるため、通院先の医師、看護師と情報を共有したい」
- ・〈チームケアが必要〉：「検査データから生活習慣の修正をするには、ケアマネ一人では難しくチームケアが必要」
- ・〈透析病院や入院病院、施設など複数に関わる場合の連携が難しい〉：「病状悪化により入院した病院と通院透析施設が異なると連携が取りづらい」
- ・〈治療方針やサービス利用の注意点等、病院から情報がほしい〉：「透析や治療の変更、生活上の注意点などについて病院、家族、介護サービス事業者間でもっと連携がとれるとよい」

③ 【制度、政策への要望】

このカテゴリは〈透析施設への通院補助制度が不十分〉〈入所施設に透析患者を受け入れる体制がない〉〈医療と介護の複合施設の設立を望む〉〈短期入所施設やサービス付き高齢者住宅等を介護負担軽減のためにも使いたい〉という4つのサブカテゴリから生成された。各サブカテゴリの記載例は次の通りである。

- ・〈透析施設への通院補助制度が不十分〉：「透析施設への通院補助のための制度が少ない」
- ・〈入所施設に透析患者を受け入れる体制がない〉：「入所施設に透析通院の送迎加算をつけるなど、透析患者を受け入れる体制を整えてほしい」
- ・〈医療と介護の複合施設の設立を望む〉：「医療と介護の複合的な施設を設立してほしい」
- ・〈短期入所施設やサービス付き高齢者住宅等を介護負担軽減のためにも使いたい〉：「短期入所施設やサービス付き高齢者住宅等が介護負担軽減のためにも使えるといい」

3) まとめ

ケアマネジャーの自由記載から、要介護（要支援）透析患者と家族介護者に対するケアマネジメ

ントにおいては、ケアマネジャーが多くの課題を抱え、苦勞していることが示唆された。その中でも特に透析施設への通院については、次のような問題を感じていることが示唆された。自立度の低い患者では透析施設の送迎サービスを受けられない場合や、自宅から透析施設までの送迎支援は調整できたとしても、自宅の居室から玄関まであるいは病院の玄関から透析室で透析を受けるまでの介助調整に苦勞している。さらに、施設利用に関しては、長期の入所だけでなくショートステイなど短期の利用も容易ではないことから、早急な対策が必要であることが示唆された。

表5-2-2 ケアマネジャーの自由記載

No.	カテゴリ	サブカテゴリ
1	透析施設の患者支援体制が整っている	透析施設の患者支援体制が整っている
2	介護者への支援がある	レスパイト入院を利用できる
3	透析施設や関係者との連携がとれている	本人や家族、関係者との連携がとれている 透析施設との連携がとれている 必要な患者情報が得られる 透析施設で学習する機会がある
4	訪問看護による安心感	訪問看護師の助言により家族が安心できる 訪問看護師の適切な食事指導により安心 訪問看護による医療面のフォローがある
5	医療管理への安心感	透析病院任せになり状況把握がおろそかになる 透析への定期通院による医療管理への安心
6	透析患者を受け入れる病院や施設の不足	在宅介護破綻時に透析患者を受け入れる施設が少ない 在宅生活困難時に透析患者が入院／入所可能な施設の不足 視覚障害のある透析患者がADL低下時に入所可能な施設がない 通院困難となった場合に入院可能な施設が少ない 透析患者が短期入所できる施設の不足 透析患者が利用可能な施設が少ない 透析患者の短期／長期入所施設の不足 透析患者の入院／入所施設が少ない 透析施設への送迎を行っている入所施設が少ない 有料老人ホームは受け入れ可能だが経済的に厳しい
7	通院に伴う家族の身体的・経済的負担	家族による通院介助の負担 通院介助に伴う経済的負担 通院介助を介護保険でカバーできないことによる家族の負担 通院支援の不足による介護負担
8	通院のための経済的負担が大きい	通院支援の不足による経済的負担 低所得者の通院にタクシー利用は困難 透析通院に伴う経済的負担
9	通院手段の確保	移動困難となった場合の通院手段の確保 住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい 透析終了時間の変動により通院支援サービスが受けられない ADLが低下すると通院乗降介助を断られる 移動が自立していないと施設送迎を利用できない 車いす利用者は透析施設の送迎を利用できない 送迎を行っている透析施設が少ない 他科受診も可能な病院には透析患者の送迎サービスがない 通院介助を担う事業所の不足 通院送迎サービスが使いつらい
10	短期入所利用時の透析通院支援がない	短期入所中の透析通院支援がないことによる経済的負担 短期入所中の通院費用負担が大きいため入院を選択せざるをえない 短期入所中の透析通院支援がないことによるサービスの利用抑制
11	透析施設内での支援の不足	車いす患者を透析室へ移動するための支援がない 玄関-居室間の移動介助が病院の送迎サービスに含まれない 透析施設内での介助を介護保険のヘルパーが担えない 要介護者に対する透析室での準備に病院が応じていない
12	介護保険サービス利用の制約	家族構成による介護保険サービスの利用制限 透析通院時のヘルパー同乗による身体介護が介護保険の適用とならない 透析通院に伴う介護保険サービス利用の制約 透析通院を理由とした短期入所の利用抑制 透析を理由とした介護保険サービス提供の制限 ヘルパーによる院内介助が介護保険適用外
13	介護保険サービスの不足	介護タクシーが少ない 在宅生活困難者の受け入れ施設の不足 体調不良時の一時的な介護保険サービス利用ができない 要支援者に対する通院支援の不足 利用者の希望にあった介護サービスがない
14	介護保険サービスの未利用	介護保険サービス利用への抵抗や拒否 経済的理由による介護保険サービスの未利用 体調不良や意欲低下による介護保険サービス導入困難
15	介護者への支援の不足	介護者のレスパイトのための支援が少ない

表5-2-2 ケアマネジャーの自由記載（つづき）

No. カテゴリ	サブカテゴリ
16 介護サービスの調整	<p>現行の介護保険サービスによる支援の限界</p> <p>病院の駐車場が遠いため通院乗降助の提供を断られる</p> <p>透析に合わせた送迎時間の調整</p> <p>透析の時間的拘束によるケアマネジメントへの制約</p> <p>入院による身体機能の低下により退院後の生活調整が大変</p> <p>本人・家族の意向をふまえたサービス調整</p> <p>要介護度が下がると必要な介護保険サービスが受けられない</p>
17 家族の介護負担	<p>介護代替者がいないことによる介護負担の増加</p> <p>介護負担による家族の健康問題</p> <p>認知症患者の送迎や透析に付き添う家族の負担</p>
18 在宅介護困難時の対応	<p>経済的理由により施設入所の選択肢がない</p> <p>介護者の健康問題による介護継続困難時の対応が心配</p> <p>介護者の緊急事態に透析患者を受け入れる施設が少ない</p>
19 主介護者の健康問題	<p>介護者が認知症</p> <p>本人とともに介護者も高齢化することへの懸念</p> <p>主介護者の健康問題</p>
20 今後の患者の健康悪化時の対応	<p>医療的処置が必要となった場合の入所継続困難</p> <p>急変時に迅速に対応できるか不安</p> <p>経済的に入所困難なため将来は入院せざるを得ない</p> <p>住宅構造により移動困難となると通院透析の継続が難しい</p> <p>終末ケアの体制が整えられるか不安</p> <p>将来の介護破綻に備えて施設の検討を勧めるべきか悩む</p> <p>認知症の進行や判断能力低下時の対応</p> <p>認知症が進行した場合の病状管理</p>
21 患者の健康管理	<p>病気により自分の症状や疾患管理を認識できない</p> <p>患者の健康問題出現の兆し</p> <p>患者の病識が薄い</p> <p>透析後の体調変動がある</p> <p>排便コントロールに悩む</p>
22 食事管理への支援の難しさ	<p>介護者の高齢のため食事管理が不十分</p> <p>食事管理に伴う家族の精神的負担</p> <p>水分・食事管理に対する家族の認識不足</p> <p>水分・食事管理に対する患者の認識不足</p> <p>水分・食事管理への介入が難しい</p> <p>独居による水分・食事管理の難しさ</p> <p>認知症による水分・食事管理の難しさ</p>
23 患者や家族との関わり	<p>服薬・食事管理に対する患者の認識不足</p> <p>怒り易い患者に対し発言できない</p> <p>家族との連絡調整困難</p> <p>家族への協力要請の困難</p> <p>患者との意思疎通の困難</p> <p>患者の状態に対する本人や家族の認識不足</p> <p>患者や家族との意見調整</p>
24 患者・家族の精神的ケア	<p>家族の精神的ケア</p> <p>患者の精神的ケア</p> <p>患者の透析拒否への対応</p> <p>患者や家族の心理的負担に対応できるか不安</p>
25 社会復帰への支援	<p>患者の社会復帰支援に悩む</p>
26 知識不足	<p>ケアマネが透析の知識を得る機会が無い</p> <p>ケアマネの医療／透析知識不足</p> <p>ケアマネの食事管理知識の不足</p> <p>ケアマネや関係者の透析知識不足</p> <p>サービス提供者や施設職員の透析知識不足</p> <p>患者や家族の透析への不安に対し助言できない</p>
27 透析施設や関係者との連携が不十分	<p>ADL低下時の透析病院との連携が課題</p> <p>透析施設との連携・情報共有ができていない</p> <p>患者に対する関係者の理解不足</p> <p>患者や家族からの話では不十分なため病院との情報共有が必要</p> <p>チームケアが必要</p> <p>透析病院や入院病院、施設など複数が関わる場合の連携が難しい</p> <p>治療方針やサービス利用の注意点等、病院から情報がほしい</p>
28 制度、政策への要望	<p>透析施設への通院補助制度が不十分</p> <p>入所施設に透析患者を受け入れる体制がない</p> <p>医療と介護の複合施設の設定を望む</p> <p>短期入所施設やサービス付き高齢者住宅等を介護負担軽減のためにも使いたい</p>

6章 単純集計・クロス表

集計表リスト

【要介護（要支援）認定の透析患者を介護する家族の生活と健康】

- 表 1 回答者（家族介護者）の続柄（透析を受けている方からみて）
- 表 2 回答者の年齢階級別分布－性別（家族介護者）
- 表 3 透析患者の年齢階級別分布－性別（患者）
- 表 4 透析患者の要介護度－性別（患者）・年齢階級別（患者）
- 表 5 介護サービス自己負担金の負担感－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）
- 表 6 透析年数－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別
- 表 7 原因疾患－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別
- 表 8 日常生活の自立度－性別（患者）・年齢階級別（患者）
- 表 9 日常生活（通院除く）を手助け（複数回答）
- 表 10 医師の指示通りに通院しているか－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別
- 表 11 通院手段－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別
- 表 12 透析を受けている人は食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理について医師の指示通りにできているか－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別
- 表 13 食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理を手助け（複数回答）
- 表 14 手助けの負担の程度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別
- 表 15 担当のケアマネジャー対応の満足度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）
- 表 16 介護保険サービスの利用計画の満足度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）
- 表 17 特別養護老人ホームで通院等による透析を受けられる場合の特別養護老人ホームへの入所希望－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度
- 表 18 介護保険サービスの利用－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別
- 表 19 透析を受けている人の認知障がい－性別（患者）
- 表 20 同居の有無－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別
- 表 21 この1ヶ月における世話の実施程度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別
- 表 22 現在の健康状態－年齢階級別（家族介護者）・性別（家族介護者）
- 表 23 暮らし向き－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）
- 表 24 世話をする上での問題－性別（家族介護者）
- 表 25 世話のことを相談できる人の有無－性別（家族介護者）
- 表 26 最近の状態や感じ方－性別（家族介護者）
- 表 27 ここ一週間の心の状態－性別（家族介護者）
- 表 28 将来の不安－性別（家族介護者）

【要介護（要支援）透析患者に対するケアマネジメントに関する調査】

- 表 1 利用者のケアマネジメントの担当期間
- 表 2 利用者の性別と年齢
- 表 3 腎不全の原因疾患－利用者の性別・年齢階級別
- 表 4 利用者の要介護度－利用者の性別・年齢階級別
- 表 5 生活自立度－利用者の性別・年齢階級別
- 表 6 日常生活（通院除く）を手助けしてくれる人はいますか。（複数回答）
- 表 7 認知症の日常生活自立度－利用者の性別・年齢階級別
- 表 8 利用者の食事・水分・服薬・シャント管理は医師の指示通りにできているか。－利用者の性別・年齢階級別
- 表 9 利用者には、食事・水分・服薬・シャント管理を手助けしてくれる人はいるか。（複数回答）
- 表 10 利用者の同居家族（複数回答）
- 表 11 利用者の主介護者－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 12 主介護者の身体的・精神的負担－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 13 主介護者の介護継続意思－利用者の性別・年齢階級別
- 表 14 利用者の透析施設への通院状況－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 15 透析施設への通院手段－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 16 周囲からの援助－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 17 在宅生活維持のために最も有効な手段－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 18 利用者のサービス利用について－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 19 在宅での生活困難時の可能な対応－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
- 表 20 利用者に対するケアマネジメントの達成程度
- 表 21 ケアマネジメント実施時の問題

*本集計表における「家族介護者」は調査『要介護（要支援）認定の透析患者を介護する家族の生活と健康』の回答者であり、「患者」に関する情報は患者本人による回答ではなく回答者によるものです。

表1 回答者（家族介護者）の続柄（透析を受けている方からみて）

配偶者（内縁を含む）	192	54.9%
息子（配偶者あり）	17	4.9%
息子（配偶者なし）	19	5.4%
娘（配偶者あり）	43	12.3%
娘（配偶者なし）	30	8.8%
息子の妻（嫁）	25	7.1%
孫	1	0.3%
孫の配偶者	1	0.3%
兄弟、姉妹	6	1.7%
その他の親族	10	2.9%
ケアマネジャ	1	0.3%
無回答	5	1.4%
合計	350	100.0%

表2 回答者の年齢階級別分布－性別（家族介護者）

性別	年齢階級									無回答	合計
	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上		
男性	0 0.0%	4 4.2%	9 9.4%	16 16.7%	13 13.5%	11 11.5%	14 14.6%	21 21.9%	8 8.3%	0 0.0%	96 100.0%
女性	2 0.8%	6 2.4%	21 8.3%	64 25.3%	29 11.5%	40 15.8%	36 14.2%	31 12.3%	24 9.5%	0 0.0%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	2 0.6%	10 2.9%	30 8.6%	80 22.9%	42 12.0%	51 14.6%	50 14.3%	52 14.9%	32 9.1%	1 0.3%	350 100.0%

表3 透析患者の年齢階級別分布－性別（患者）

性別	年齢階級							合計
	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上	
男性	10 5.3%	10 5.3%	28 14.9%	25 13.3%	49 26.1%	30 16.0%	36 19.1%	188 100.0%
女性	5 3.1%	5 3.1%	15 9.3%	30 18.5%	30 18.5%	38 23.5%	39 24.1%	162 100.0%
合計	15 4.3%	15 4.3%	43 12.3%	55 15.7%	79 22.6%	68 19.4%	75 21.4%	350 100.0%

表4 透析患者の要介護度－性別（患者）・年齢階級別（患者）

性別	要介護度								合計
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	無回答	
男性	6 3.2%	14 7.4%	19 10.1%	51 27.1%	41 21.8%	34 18.1%	19 10.1%	4 2.1%	188 100.0%
女性	3 1.9%	13 8.0%	19 11.7%	63 38.9%	23 14.2%	20 12.3%	18 11.1%	3 1.9%	162 100.0%
年齢階級									
50～59歳	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	7 46.7%	3 20.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%
60～64歳	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	5 33.3%	3 20.0%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	0 0.0%	1 2.3%	5 11.6%	11 25.6%	12 27.9%	5 11.6%	6 14.0%	3 7.0%	43 100.0%
70～74歳	1 1.8%	6 10.9%	8 14.5%	12 21.8%	6 10.9%	16 29.1%	6 10.9%	0 0.0%	55 100.0%
75～79歳	2 2.5%	8 10.1%	9 11.4%	30 38.0%	10 12.7%	12 15.2%	7 8.9%	1 1.3%	79 100.0%
80～84歳	4 5.9%	5 7.4%	6 8.8%	20 29.4%	13 19.1%	8 11.8%	9 13.2%	3 4.4%	68 100.0%
85歳以上	2 2.7%	4 5.3%	7 9.3%	29 38.7%	17 22.7%	9 12.0%	7 9.3%	0 0.0%	75 100.0%
合計	9 2.6%	27 7.7%	38 10.9%	114 32.6%	64 18.3%	54 15.4%	37 10.6%	7 2.0%	350 100.0%

表5 介護サービス自己負担金の負担感－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）

性別	介護サービスの自己負担金						合計
	非常に負担である	多少負担である	あまり負担でない	まったく負担でない	サービス利用料を払っていない	無回答	
男性	8 8.3%	49 51.0%	23 24.0%	8 8.3%	4 4.2%	4 4.2%	96 100.0%
女性	36 14.2%	119 47.0%	69 27.3%	16 6.3%	6 2.4%	7 2.8%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
年齢階級							
20～29歳	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	0 0.0%	7 70.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%
40～49歳	3 10.0%	17 56.7%	5 16.7%	1 3.3%	3 10.0%	1 3.3%	30 100.0%
50～59歳	6 7.5%	32 40.0%	31 38.8%	9 11.3%	2 2.5%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	8 19.0%	20 47.6%	9 21.4%	3 7.1%	0 0.0%	2 4.8%	42 100.0%
65～69歳	8 15.7%	23 45.1%	14 27.5%	3 5.9%	2 3.9%	1 2.0%	51 100.0%
70～74歳	7 14.0%	20 40.0%	15 30.0%	2 4.0%	3 6.0%	3 6.0%	50 100.0%
75～79歳	7 13.5%	31 59.6%	9 17.3%	3 5.8%	0 0.0%	2 3.8%	52 100.0%
80歳以上	4 12.5%	18 56.3%	7 21.9%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
要介護度別							
要支援1	0 0.0%	6 66.7%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	13 48.1%	7 25.9%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%
要介護1	1 2.6%	18 47.4%	14 36.8%	4 10.5%	1 2.6%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	4 3.5%	59 51.8%	38 33.3%	9 7.9%	2 1.8%	2 1.8%	114 100.0%
要介護3	16 25.0%	24 37.5%	12 18.8%	5 7.8%	4 6.3%	3 4.7%	64 100.0%
要介護4	14 25.9%	22 40.7%	12 22.2%	2 3.7%	1 1.9%	3 5.6%	54 100.0%
要介護5	4 10.8%	24 64.9%	5 13.5%	1 2.7%	1 2.7%	2 5.4%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	7 100.0%
合計	44 12.6%	168 48.0%	92 26.3%	24 6.9%	11 3.1%	11 3.1%	350 100.0%

表6 透析年数－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別

性別	透析年数								合計
	5年未満	～10年未満	～15年未満	～20年未満	～25年未満	～30年未満	30年以上	無回答	
男性	71 37.8%	38 20.2%	31 16.5%	17 9.0%	5 2.7%	7 3.7%	9 4.8%	10 5.3%	188 100.0%
女性	43 26.5%	39 24.1%	23 14.2%	11 6.8%	15 9.3%	11 6.8%	12 7.4%	8 4.9%	162 100.0%

年齢階級（患者）

50～59歳	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	2 13.3%	15 100.0%
60～64歳	2 13.3%	4 26.7%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	4 26.7%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	8 18.6%	12 27.9%	6 14.0%	3 7.0%	1 2.3%	3 7.0%	7 16.3%	3 7.0%	43 100.0%
70～74歳	18 32.7%	14 25.5%	7 12.7%	4 7.3%	4 7.3%	4 7.3%	3 5.5%	1 1.8%	55 100.0%
75～79歳	22 27.8%	19 24.1%	11 13.9%	7 8.9%	5 6.3%	7 8.9%	2 2.5%	6 7.6%	79 100.0%
80～84歳	24 35.3%	8 11.8%	18 26.5%	5 7.4%	7 10.3%	2 2.9%	2 2.9%	2 2.9%	68 100.0%
85歳以上	37 49.3%	18 24.0%	9 12.0%	6 8.0%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 5.3%	75 100.0%

要介護度別

要支援1	3 33.3%	4 44.4%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
要支援2	9 33.3%	5 18.5%	6 22.2%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	3 11.1%	27 100.0%
要介護1	12 31.6%	11 28.9%	6 15.8%	1 2.6%	2 5.3%	4 10.5%	2 5.3%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	36 31.6%	27 23.7%	20 17.5%	7 6.1%	7 6.1%	7 6.1%	5 4.4%	5 4.4%	114 100.0%
要介護3	22 34.4%	9 14.1%	14 21.9%	7 10.9%	3 4.7%	1 1.6%	5 7.8%	3 4.7%	64 100.0%
要介護4	23 42.6%	12 22.2%	4 7.4%	3 5.6%	4 7.4%	4 7.4%	2 3.7%	2 3.7%	54 100.0%
要介護5	7 18.9%	9 24.3%	3 8.1%	6 16.2%	3 8.1%	1 2.7%	6 16.2%	2 5.4%	37 100.0%
無回答	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	7 100.0%
合計	114 32.6%	77 22.0%	54 15.4%	28 8.0%	20 5.7%	18 5.1%	21 6.0%	18 5.1%	350 100.0%

表7 原因疾患－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別

性別	原因疾患					合計
	慢性糸球体腎炎	糖尿病性腎症	その他	わからない	無回答	
男性	27 14.4%	96 51.1%	25 13.3%	39 20.7%	1 0.5%	188 100.0%
女性	36 22.2%	56 34.6%	17 10.5%	50 30.9%	3 1.9%	162 100.0%
年齢階級						
50～59歳	0 0.0%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%	15 100.0%
60～64歳	5 33.3%	6 40.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	9 20.9%	25 58.1%	4 9.3%	4 9.3%	1 2.3%	43 100.0%
70～74歳	17 30.9%	26 47.3%	4 7.3%	8 14.5%	0 0.0%	55 100.0%
75～79歳	13 16.5%	35 44.3%	9 11.4%	20 25.3%	2 2.5%	79 100.0%
80～84歳	8 11.8%	26 38.2%	10 14.7%	24 35.3%	0 0.0%	68 100.0%
85歳以上	11 14.7%	26 34.7%	9 12.0%	29 38.7%	0 0.0%	75 100.0%
要介護度別						
要支援1	1 11.1%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	15 55.6%	1 3.7%	7 25.9%	0 0.0%	27 100.0%
要介護1	8 21.1%	11 28.9%	6 15.8%	13 34.2%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	17 14.9%	46 40.4%	14 12.3%	34 29.8%	3 2.6%	114 100.0%
要介護3	11 17.2%	35 54.7%	8 12.5%	10 15.6%	0 0.0%	64 100.0%
要介護4	15 27.8%	23 42.6%	7 13.0%	9 16.7%	0 0.0%	54 100.0%
要介護5	6 16.2%	16 43.2%	4 10.8%	11 29.7%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	7 100.0%
合計	63 18.0%	152 43.4%	42 12.0%	89 25.4%	4 1.1%	350 100.0%

表8 日常生活の自立度－性別（患者）・年齢階級別（患者）

性別	日常生活の自立度								合計
	家庭内で自分のことはできるが、外出は隣近所まで	介助なしには家の外には出ないが、身の回りのことは何とかできる	身の回りのことは何とかできるが、日中でも寝たり起きたりの生活である	日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない	ほとんど寝たきり	まったくの寝たきり	不明	無回答	
男性	29 15.8%	50 27.3%	51 27.9%	23 12.6%	14 7.7%	16 8.7%	3 1.6%	2 1.1%	188 100.0%
女性	19 11.9%	49 30.8%	32 20.1%	33 20.8%	13 8.2%	13 8.2%	1 0.6%	2 1.2%	162 100.0%
年齢階級									
50～59歳	2 13.3%	7 46.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
60～64歳	2 13.3%	7 46.7%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	2 4.7%	19 44.2%	11 25.6%	4 9.3%	2 4.7%	4 9.3%	0 0.0%	1 2.3%	43 100.0%
70～74歳	4 7.3%	19 34.5%	11 20.0%	10 18.2%	7 12.7%	4 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	55 100.0%
75～79歳	16 20.3%	12 15.2%	26 32.9%	11 13.9%	5 6.3%	8 10.1%	0 0.0%	1 1.3%	79 100.0%
80～84歳	12 17.6%	15 22.1%	14 20.6%	13 19.1%	8 11.8%	4 5.9%	2 2.9%	0 0.0%	68 100.0%
85歳以上	10 13.3%	20 26.7%	18 24.0%	14 18.7%	4 5.3%	5 6.7%	2 2.7%	2 2.7%	75 100.0%
合計	48 14.0%	99 28.9%	83 24.3%	56 16.4%	27 7.9%	29 8.5%	4 1.1%	4 1.1%	350 100.0%

表9 日常生活（通院除く）の手助け（複数回答）

※表8「介助なしには家の外には出ないが、身の回りのことは何とかできる」「日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない」「ほとんど寝たきり」「寝たきり」の回答199名を集計した。

	自分（主介護者）	自分以外の家族・親族	介護保険のヘルパー	ヘルパー以外の介護保険サービス
はい	147 73.9%	87 43.7%	71 35.7%	32 16.1%
	全額自費の介護・家事支援サービス	近所の人・友人	その他	手助けする人はいない
はい	6 3.0%	1 0.5%	1 0.5%	2 1.0%

表10 医師の指示通りに通院しているかー性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別

性別（患者）	通院状況		合計
	きちんと通院している	1週間に1回以上、通院しないことがある	
男性	187 99.5%	1 0.5%	188 100.0%
女性	162 100.0%	0 0.0%	162 100.0%

年齢階級

50～59歳	15 100.0%	0 0.0%	15 100.0%
60～64歳	15 100.0%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	43 100.0%	0 0.0%	43 100.0%
70～74歳	55 100.0%	0 0.0%	55 100.0%
75～79歳	78 98.7%	1 1.3%	79 100.0%
80～84歳	68 100.0%	0 0.0%	68 100.0%
85歳以上	75 100.0%	0 0.0%	75 100.0%

要介護度

要支援1	8 88.9%	1 11.1%	9 100.0%
要支援2	27 100.0%	0 0.0%	27 100.0%
要介護1	38 100.0%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	114 100.0%	0 0.0%	114 100.0%
要介護3	64 100.0%	0 0.0%	64 100.0%
要介護4	54 100.0%	0 0.0%	54 100.0%
要介護5	37 100.0%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	7 100.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計	349 99.7%	1 0.3%	350 100.0%

表11 通院手段－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別

性別	通院手段									合計
	徒歩でひとりで通院	自家用車・公共交通機関・タクシー等を利用し、ひとりで通院	家族送迎や家族付き添いで通院	透析施設の送迎サービス（介護保険外）を利用し通院	介護保険サービスを利用し通院	NPO、ボランティアグループを利用し通院	その他	介護タクシー	無回答	
男性	2 1.1%	10 5.3%	51 27.1%	58 30.9%	62 33.0%	0 0.0%	3 1.6%	2 1.1%	0 0.0%	188 100.0%
女性	0 0.0%	12 7.4%	61 37.7%	40 24.7%	44 27.2%	2 1.2%	0 0.0%	2 1.2%	1 0.6%	162 100.0%
年齢階級										
50～59歳	0 0.0%	0 0.0%	6 40.0%	3 20.0%	6 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
60～64歳	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	7 46.7%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	1 2.3%	5 11.6%	17 39.5%	9 20.9%	11 25.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	43 100.0%
70～74歳	0 0.0%	2 3.6%	28 50.9%	11 20.0%	12 21.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	55 100.0%
75～79歳	0 0.0%	7 8.9%	20 25.3%	25 31.6%	24 30.4%	1 1.3%	0 0.0%	2 2.5%	0 0.0%	79 100.0%
80～84歳	1 1.5%	0 0.0%	13 19.1%	25 36.8%	27 39.7%	0 0.0%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%	68 100.0%
85歳以上	0 0.0%	6 8.0%	26 34.7%	18 24.0%	22 29.3%	1 1.3%	2 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	75 100.0%
要介護度別										
要支援1	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	6 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 100.0%
要支援2	0 0.0%	4 14.8%	9 33.3%	7 25.9%	6 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	27 100.0%
要介護1	1 2.6%	3 7.9%	12 31.6%	10 26.3%	12 31.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	1 0.9%	5 4.4%	42 36.8%	39 34.2%	24 21.1%	2 1.8%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	114 100.0%
要介護3	0 0.0%	7 10.9%	18 28.1%	22 34.4%	14 21.9%	0 0.0%	1 1.6%	2 3.1%	0 0.0%	64 100.0%
要介護4	0 0.0%	1 1.9%	16 29.6%	13 24.1%	23 42.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	54 100.0%
要介護5	0 0.0%	1 2.7%	11 29.7%	3 8.1%	20 54.1%	0 0.0%	1 2.7%	1 2.7%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	0 0.0%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計	2 0.6%	22 6.3%	112 32.0%	98 28.0%	106 30.3%	2 0.6%	3 0.9%	4 1.1%	1 0.3%	350 100.0%

表12 透析を受けている人は食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理について医師の指示通りにできているか。－性別（患者）・年齢階級別（患者）・要介護度別

性別	自己管理（食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理）				合計
	十分できている	まあできている	あまりできていない	まったくできていない	
男性	52 27.7%	111 59.0%	20 10.6%	5 2.7%	188 100.0%
女性	43 26.5%	89 54.9%	26 16.0%	4 2.5%	162 100.0%
年齢階級別					
50～59歳	4 26.7%	9 60.0%	1 6.7%	1 6.7%	15 100.0%
60～64歳	7 46.7%	6 40.0%	2 13.3%	0 0.0%	15 100.0%
65～69歳	15 34.9%	25 58.1%	2 4.7%	1 2.3%	43 100.0%
70～74歳	14 25.5%	34 61.8%	6 10.9%	1 1.8%	55 100.0%
75～79歳	21 26.6%	43 54.4%	12 15.2%	3 3.8%	79 100.0%
80～84歳	14 20.6%	41 60.3%	11 16.2%	2 2.9%	68 100.0%
85歳以上	20 26.7%	42 56.0%	12 16.0%	1 1.3%	75 100.0%
要介護度別					
要支援1	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
要支援2	9 33.3%	15 55.6%	3 11.1%	0 0.0%	27 100.0%
要介護1	10 26.3%	20 52.6%	6 15.8%	2 5.3%	38 100.0%
要介護2	30 26.3%	72 63.2%	12 10.5%	0 0.0%	114 100.0%
要介護3	13 20.3%	38 59.4%	9 14.1%	4 6.3%	64 100.0%
要介護4	14 25.9%	29 53.7%	10 18.5%	1 1.9%	54 100.0%
要介護5	16 43.2%	16 43.2%	3 8.1%	2 5.4%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	7 100.0%
合計	95 27.1%	200 57.1%	46 13.1%	9 2.6%	350 100.0%

表13 食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理を手助け（複数回答）

	自分（主介護者）	自分以外の家族・親族	介護保険の訪問看護師	介護保険のヘルパー	全額自費の介護・家事支援サービス
はい	238 68.0%	129 36.9%	16 4.6%	40 11.4%	51.4 3.0%
	近所の人・友人	その他	手助けは必要だが、手助けをする人はいない	手助けは必要ない	
はい	0 0.0%	4 1.1%	3 0.9%	20 5.7%	

表14 手助けの負担の程度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別

【通院】

性別	とても負担	まあ負担	あまり負担でない	負担でない	本人がしている／手助けをしていない	無回答	合計
男性	10 10.4%	35 36.5%	19 19.8%	14 14.6%	11 11.5%	7 7.3%	96 100.0%
女性	42 16.6%	86 34.0%	60 23.7%	41 16.2%	14 5.5%	10 4.0%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

年齢階級別

20～29歳	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	2 6.7%	13 43.3%	6 20.0%	3 10.0%	6 20.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	11 13.8%	22 27.5%	20 25.0%	20 25.0%	6 7.5%	1 1.3%	80 100.0%
60～64歳	6 14.3%	18 42.9%	8 19.0%	5 11.9%	4 9.5%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	8 15.7%	23 45.1%	11 21.6%	6 11.8%	1 2.0%	2 3.9%	51 100.0%
70～74歳	10 20.0%	18 36.0%	11 22.0%	6 12.0%	0 0.0%	5 10.0%	50 100.0%
75～79歳	7 13.5%	18 34.6%	13 25.0%	8 15.4%	2 3.8%	4 7.7%	52 100.0%
80歳以上	4 12.5%	8 25.0%	9 28.1%	4 12.5%	3 9.4%	4 12.5%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%

要介護度別

要支援1	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	3 33.3%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	9 33.3%	5 18.5%	4 14.8%	2 7.4%	3 11.1%	27 100.0%
要介護1	4 10.5%	12 31.6%	6 15.8%	8 21.1%	8 21.1%	0 0.0%	38 100.0%
要介護2	12 10.5%	34 29.8%	36 31.6%	21 18.4%	5 4.4%	6 5.3%	114 100.0%
要介護3	10 15.6%	25 39.1%	12 18.8%	9 14.1%	6 9.4%	2 3.1%	64 100.0%
要介護4	10 18.5%	23 42.6%	11 20.4%	4 7.4%	4 7.4%	2 3.7%	54 100.0%
要介護5	11 29.7%	13 35.1%	7 18.9%	6 16.2%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	52 14.9%	121 34.6%	79 22.6%	55 15.7%	26 7.4%	17 4.9%	350 100.0%

【通院以外の生活】

性別	とても負担	まあ負担	あまり負担でない	負担でない	本人がしている／手助けをしていない	無回答	合計
男性	17 17.7%	37 38.5%	24 25.0%	11 11.5%	2 2.1%	5 5.2%	96 100.0%
女性	49 19.4%	112 44.3%	59 23.3%	14 5.5%	7 2.8%	12 4.7%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

年齢階級別

20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	2 20.0%	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	4 13.3%	12 40.0%	9 30.0%	3 10.0%	2 6.7%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	16 20.0%	34 42.5%	22 27.5%	6 7.5%	2 2.5%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	4 9.5%	28 66.7%	6 14.3%	2 4.8%	1 2.4%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	11 21.6%	19 37.3%	15 29.4%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%
70～74歳	13 26.0%	17 34.0%	13 26.0%	4 8.0%	1 2.0%	2 4.0%	50 100.0%
75～79歳	11 21.2%	20 38.5%	10 19.2%	3 5.8%	1 1.9%	7 13.5%	52 100.0%
80歳以上	5 15.6%	14 43.8%	5 15.6%	2 6.3%	1 3.1%	5 15.6%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

要介護度別

要支援1	1 11.1%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	10 37.0%	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%	27 100.0%
要介護1	5 13.2%	16 42.1%	4 10.5%	6 15.8%	4 10.5%	3 7.9%	38 100.0%
要介護2	15 13.2%	47 41.2%	38 33.3%	8 7.0%	1 0.9%	5 4.4%	114 100.0%
要介護3	10 15.6%	35 54.7%	14 21.9%	3 4.7%	0 0.0%	2 3.1%	64 100.0%
要介護4	13 24.1%	22 40.7%	16 29.6%	0 0.0%	1 1.9%	2 3.7%	54 100.0%
要介護5	17 45.9%	12 32.4%	5 13.5%	3 8.1%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	66 18.9%	149 42.6%	83 23.7%	25 7.1%	9 2.6%	18 5.1%	350 100.0%

【食事・水分・服薬・シャント管理】

性別	とても負担	まあ負担	あまり負担でない	負担でない	本人がしている／手助けをしていない	無回答	合計
男性	18 18.8%	22 22.9%	24 25.0%	13 13.5%	12 12.5%	7 7.3%	96 100.0%
女性	46 18.2%	92 36.4%	75 29.6%	20 7.9%	11 4.3%	9 3.6%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

年齢階級別

20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	3 30.0%	4 40.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	4 13.3%	9 30.0%	11 36.7%	2 6.7%	4 13.3%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	13 16.3%	29 36.3%	26 32.5%	9 11.3%	3 3.8%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	5 11.9%	19 45.2%	11 26.2%	3 7.1%	3 7.1%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	7 13.7%	18 35.3%	14 27.5%	6 11.8%	4 7.8%	2 3.9%	51 100.0%
70～74歳	10 20.0%	11 22.0%	19 38.0%	3 6.0%	2 4.0%	5 10.0%	50 100.0%
75～79歳	13 25.0%	14 26.9%	11 21.2%	3 5.8%	5 9.6%	6 11.5%	52 100.0%
80歳以上	9 28.1%	10 31.3%	5 15.6%	4 12.5%	2 6.3%	2 6.3%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

要介護度別

要支援1	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
要支援2	2 20.0%	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
要介護1	4 13.3%	12 40.0%	9 30.0%	3 10.0%	2 6.7%	0 0.0%	30 100.0%
要介護2	16 20.0%	34 42.5%	22 27.5%	6 7.5%	2 2.5%	0 0.0%	80 100.0%
要介護3	4 9.5%	28 66.7%	6 14.3%	2 4.8%	1 2.4%	1 2.4%	42 100.0%
要介護4	11 21.6%	19 37.3%	15 29.4%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%	51 100.0%
要介護5	13 26.0%	17 34.0%	13 26.0%	4 8.0%	1 2.0%	2 4.0%	50 100.0%
無回答	11 21.2%	20 38.5%	10 19.2%	3 5.8%	1 1.9%	7 13.5%	52 100.0%
合計	5 15.6%	14 43.8%	5 15.6%	2 6.3%	1 3.1%	5 15.6%	32 100.0%

表15 担当のケアマネジャー対応の満足度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）

性別	ケアマネ対応満足					合計
	非常に満足している	わりと満足している	あまり満足していない	全然満足していない	無回答	
男性	42 43.8%	46 47.9%	4 4.2%	2 2.1%	2 2.1%	96 100.0%
女性	97 38.3%	139 54.9%	14 5.5%	1 0.4%	2 0.8%	253 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
年齢階級別						
20～29歳	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	6 60.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	15 50.0%	11 36.7%	3 10.0%	0 0.0%	1 3.3%	30 100.0%
50～59歳	29 36.3%	48 60.0%	3 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	13 31.0%	28 66.7%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	42 100.0%
65～69歳	17 33.3%	30 58.8%	2 3.9%	1 2.0%	1 2.0%	51 100.0%
70～74歳	21 42.0%	22 44.0%	4 8.0%	2 4.0%	1 2.0%	50 100.0%
75～79歳	21 40.4%	26 50.0%	4 7.7%	0 0.0%	1 1.9%	52 100.0%
80歳以上	16 50.0%	16 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	140 40.0%	185 52.9%	18 5.1%	3 0.9%	4 1.1%	350 100.0%

表16 介護保険サービスの利用計画の満足度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）

性別	ケアプラン満足					合計
	非常に満足している	わりと満足している	あまり満足していない	全然満足していない	無回答	
男性	31 32.3%	57 59.4%	2 2.1%	3 3.1%	3 3.1%	96 100.0%
女性	71 28.1%	161 63.6%	16 6.3%	2 0.8%	3 1.2%	253 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
年齢階級別						
20～29歳	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	3 30.0%	6 60.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	14 46.7%	14 46.7%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	30 100.0%
50～59歳	24 30.0%	51 63.7%	3 3.8%	1 1.3%	1 1.3%	80 100.0%
60～64歳	9 21.4%	30 71.4%	3 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	42 100.0%
65～69歳	12 23.5%	33 64.7%	3 5.9%	1 2.0%	2 3.9%	51 100.0%
70～74歳	14 28.0%	28 56.0%	4 8.0%	3 6.0%	1 2.0%	50 100.0%
75～79歳	16 30.8%	32 61.5%	3 5.8%	0 0.0%	1 1.9%	52 100.0%
80歳以上	9 28.1%	23 71.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
合計	103 29.4%	218 62.3%	18 5.1%	5 1.4%	6 1.7%	350 100.0%

表17 特別養護老人ホームで通院等による透析を受けられる場合の特別養護老人ホームへの入所希望
 -性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度

性別	特養入所希望					合計
	すぐにでも入所を希望する	入所を検討したいと思う	なるべくなら入所させたくない	絶対に入所はさせたくない	無回答	
男性	11 11.5%	23 24.0%	51 53.1%	8 8.3%	3 3.1%	96 100.0%
女性	14 5.5%	85 33.6%	129 51.0%	20 7.9%	5 2.0%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
年齢階級別						
20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	3 30.0%	1 10.0%	5 50.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	2 6.7%	13 43.3%	12 40.0%	3 10.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	3 3.8%	31 38.8%	42 52.5%	4 5.0%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	4 9.5%	13 31.0%	22 52.4%	3 7.1%	0 0.0%	42 100.0%
65～69歳	3 5.9%	14 27.5%	31 60.8%	2 3.9%	1 2.0%	51 100.0%
70～74歳	4 8.0%	14 28.0%	26 52.0%	3 6.0%	3 6.0%	50 100.0%
75～79歳	4 7.7%	16 30.8%	25 48.1%	5 9.6%	2 3.8%	52 100.0%
80歳以上	2 6.3%	6 18.8%	16 50.0%	6 18.8%	2 6.3%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
要介護度						
要支援1	1 11.1%	1 11.1%	5 55.6%	0 0.0%	2 22.2%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	7 25.9%	13 48.1%	2 7.4%	1 3.7%	27 100.0%
要介護1	4 10.5%	14 36.8%	15 39.5%	3 7.9%	2 5.3%	38 100.0%
要介護2	2 1.8%	36 31.6%	61 53.5%	13 11.4%	2 1.8%	114 100.0%
要介護3	7 10.9%	15 23.4%	38 59.4%	3 4.7%	1 1.6%	64 100.0%
要介護4	4 7.4%	22 40.7%	24 44.4%	3 5.6%	1 1.9%	54 100.0%
要介護5	2 5.4%	11 29.7%	20 54.1%	4 10.8%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%
合計	25 7.1%	108 30.9%	180 51.4%	28 8.0%	9 2.6%	350 100.0%

表18 介護保険サービスの利用－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別【ホームヘルプ】

性別	介護サービス利用					合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用したい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やしたい	無回答	
男性	36 37.5%	18 18.8%	21 21.9%	7 7.3%	14 14.6%	96 100.0%
女性	97 38.3%	56 22.1%	55 21.7%	10 4.0%	35 13.8%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
年齢階級別						
20～29歳	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	6 60.0%	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	10 100.0%
40～49歳	13 43.3%	6 20.0%	9 30.0%	0 0.0%	2 6.7%	30 100.0%
50～59歳	35 43.8%	15 18.8%	19 23.8%	4 5.0%	7 8.8%	80 100.0%
60～64歳	16 38.1%	13 31.0%	7 16.7%	5 11.9%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	19 37.3%	15 29.4%	8 15.7%	0 0.0%	9 17.6%	51 100.0%
70～74歳	22 44.0%	4 8.0%	13 26.0%	3 6.0%	8 16.0%	50 100.0%
75～79歳	17 32.7%	11 21.2%	11 21.2%	1 1.9%	12 23.1%	52 100.0%
80歳以上	4 12.5%	8 25.0%	8 25.0%	3 9.4%	9 28.1%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
要介護度						
要支援1	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	9 100.0%
要支援2	8 29.6%	8 29.6%	5 18.5%	0 0.0%	6 22.2%	27 100.0%
要介護1	19 50.0%	8 21.1%	4 10.5%	1 2.6%	6 15.8%	38 100.0%
要介護2	51 44.7%	24 21.1%	25 21.9%	2 1.8%	12 10.5%	114 100.0%
要介護3	20 31.3%	19 29.7%	10 15.6%	5 7.8%	10 15.6%	64 100.0%
要介護4	20 37.0%	7 13.0%	16 29.6%	5 9.3%	6 11.1%	54 100.0%
要介護5	10 27.0%	3 8.1%	15 40.5%	4 10.8%	5 13.5%	37 100.0%
無回答	3 42.9%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	133 38.0%	74 21.1%	77 22.0%	17 4.9%	49 14.0%	350 100.0%

【訪問看護】

性別	介護サービス利用					合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用したい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やしたい	無回答	
男性	37 38.5%	24 25.0%	15 15.6%	1 1.0%	19 19.8%	96 100.0%
女性	112 44.3%	53 20.9%	41 16.2%	5 2.0%	42 16.6%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

年齢階級別（回答者）

20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
30～39歳	3 30.0%	2 20.0%	4 40.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%
40～49歳	17 56.7%	7 23.3%	4 13.3%	0 0.0%	2 6.7%	30 100.0%
50～59歳	43 53.8%	17 21.3%	10 12.5%	2 2.5%	8 10.0%	80 100.0%
60～64歳	22 52.4%	13 31.0%	4 9.5%	1 2.4%	2 4.8%	42 100.0%
65～69歳	18 35.3%	13 25.5%	10 19.6%	0 0.0%	10 19.6%	51 100.0%
70～74歳	18 36.0%	7 14.0%	10 20.0%	2 4.0%	13 26.0%	50 100.0%
75～79歳	19 36.5%	12 23.1%	7 13.5%	1 1.9%	13 25.0%	52 100.0%
80歳以上	9 28.1%	6 18.8%	6 18.8%	0 0.0%	11 34.4%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

要介護度

要支援1	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	9 100.0%
要支援2	7 25.9%	8 29.6%	2 7.4%	1 3.7%	9 33.3%	27 100.0%
要介護1	17 44.7%	11 28.9%	3 7.9%	0 0.0%	7 18.4%	38 100.0%
要介護2	60 52.6%	22 19.3%	17 14.9%	0 0.0%	15 13.2%	114 100.0%
要介護3	22 34.4%	13 20.3%	17 26.6%	2 3.1%	10 15.6%	64 100.0%
要介護4	21 38.9%	12 22.2%	8 14.8%	2 3.7%	11 20.4%	54 100.0%
要介護5	18 48.6%	5 13.5%	8 21.6%	1 2.7%	5 13.5%	37 100.0%
無回答	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	149 42.6%	77 22.0%	56 16.0%	6 1.7%	62 17.7%	350 100.0%

【通所サービス】

性別	介護サービス利用					合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用したい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やしたい	無回答	
男性	23 24.0%	21 21.9%	37 38.5%	3 3.1%	12 12.5%	96 100.0%
女性	60 23.7%	48 19.0%	100 39.5%	14 5.5%	31 12.3%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

年齢階級別（回答者）

20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
30～39歳	5 50.0%	2 20.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	10 33.3%	3 10.0%	17 56.7%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	17 21.3%	16 20.0%	37 46.3%	7 8.8%	3 3.8%	80 100.0%
60～64歳	9 21.4%	11 26.2%	18 42.9%	2 4.8%	2 4.8%	42 100.0%
65～69歳	12 23.5%	12 23.5%	21 41.2%	2 3.9%	4 7.8%	51 100.0%
70～74歳	11 22.0%	10 20.0%	16 32.0%	3 6.0%	10 20.0%	50 100.0%
75～79歳	14 26.9%	11 21.2%	16 30.8%	1 1.9%	10 19.2%	52 100.0%
80歳以上	5 15.6%	4 12.5%	10 31.3%	0 0.0%	13 40.6%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

要介護度

要支援1	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	4 44.4%	9 100.0%
要支援2	4 14.8%	6 22.2%	8 29.6%	0 0.0%	9 33.3%	27 100.0%
要介護1	12 31.6%	9 23.7%	13 34.2%	3 7.9%	1 2.6%	38 100.0%
要介護2	28 24.6%	21 18.4%	47 41.2%	5 4.4%	13 11.4%	114 100.0%
要介護3	12 18.8%	16 25.0%	28 43.8%	4 6.3%	4 6.3%	64 100.0%
要介護4	11 20.4%	10 18.5%	20 37.0%	4 7.4%	9 16.7%	54 100.0%
要介護5	12 32.4%	4 10.8%	18 48.6%	1 2.7%	2 5.4%	37 100.0%
無回答	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	83 23.7%	69 19.7%	138 39.4%	17 4.9%	43 12.3%	350 100.0%

【ショートステイ】

性別	介護サービス利用					合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用したい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やしたい	無回答	
男性	44 45.8%	24 25.0%	7 7.3%	2 2.1%	19 19.8%	96 100.0%
女性	78 30.8%	89 35.2%	24 9.5%	13 5.1%	49 19.4%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

年齢階級別

20～29歳	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
30～39歳	5 50.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	10 100.0%
40～49歳	12 40.0%	12 40.0%	3 10.0%	1 3.3%	2 6.7%	30 100.0%
50～59歳	24 30.0%	35 43.8%	7 8.8%	7 8.8%	7 8.8%	80 100.0%
60～64歳	19 45.2%	14 33.3%	4 9.5%	3 7.1%	2 4.8%	42 100.0%
65～69歳	14 27.5%	17 33.3%	5 9.8%	3 5.9%	12 23.5%	51 100.0%
70～74歳	20 40.0%	10 20.0%	5 10.0%	1 2.0%	14 28.0%	50 100.0%
75～79歳	18 34.6%	14 26.9%	6 11.5%	0 0.0%	14 26.9%	52 100.0%
80歳以上	10 31.3%	6 18.8%	1 3.1%	0 0.0%	15 46.9%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

要介護度

要支援1	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	9 100.0%
要支援2	8 29.6%	7 25.9%	1 3.7%	0 0.0%	11 40.7%	27 100.0%
要介護1	15 39.5%	14 36.8%	1 2.6%	1 2.6%	7 18.4%	38 100.0%
要介護2	39 34.2%	47 41.2%	8 7.0%	3 2.6%	17 14.9%	114 100.0%
要介護3	21 32.8%	22 34.4%	6 9.4%	3 4.7%	12 18.8%	64 100.0%
要介護4	20 37.0%	9 16.7%	5 9.3%	7 13.0%	13 24.1%	54 100.0%
要介護5	15 40.5%	9 24.3%	7 18.9%	1 2.7%	5 13.5%	37 100.0%
無回答	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	7 100.0%
合計	122 34.9%	113 32.3%	31 8.9%	15 4.3%	69 19.7%	350 100.0%

表19 透析を受けている人の認知障がい一性別（患者）

上段：n数、下段：%

	【男性】				【女性】			
	はい	いいえ	無回答	合計	はい	いいえ	無回答	合計
自分の年齢がわからないことが多い	29 15.4	155 82.4	4 2.1	188 100.0	30 18.5	129 79.6	3 1.9	162 100.0
慣れている場所でも、ときに道を間違ふことがある	25 13.3	157 83.5	6 3.2	188 100.0	20 12.3	135 83.3	7 4.3	162 100.0
子どもの住んでいる都道府県、あるいは市町村がわからない	20 10.6	160 85.1	8 4.3	188 100.0	15 9.3	142 87.7	5 3.1	162 100.0
今住んでいるところを自分の家だと思っていないことがある	13 6.9	168 89.4	7 3.7	188 100.0	14 8.6	144 88.9	4 2.5	162 100.0
同居している子どもやその配偶者を他人と間違ふことがある	9 4.8	172 91.5	7 3.7	188 100.0	11 6.8	147 90.7	4 2.5	162 100.0
直前に食べた食事を、食べていないということがある	27 14.4	156 83	5 2.7	188 100.0	22 13.6	136 84	4 2.5	162 100.0
食べられるものは手当たりしだい食べてしまう	16 8.5	166 88.3	6 3.2	188 100.0	11 6.8	148 91.4	3 1.9	162 100.0
特に理由なく入浴や着替えを嫌がる	17 9	166 88.3	5 2.7	188 100.0	8 4.9	151 93.2	3 1.9	162 100.0
家の中でも洗面所の場所がわからないことがある	12 6.4	170 90.4	6 3.2	188 100.0	14 8.6	145 89.5	3 1.9	162 100.0
子どもの人数をきちんと答えられないことがある	13 6.9	167 88.8	8 4.3	188 100.0	16 9.9	142 87.7	4 2.5	162 100.0
家の中で目的なく歩き回ることが目立つ	9 4.8	173 92	6 3.2	188 100.0	8 4.9	151 93.2	3 1.9	162 100.0
鏡に映っている自分に話しかけることがある	1 0.5	180 95.7	7 3.7	188 100.0	1 0.5	180 95.7	7 3.7	162 100.0
理由なく夜起きて騒ぐ	16 8.5	165 87.8	7 3.7	188 100.0	8 4.9	150 92.6	4 2.5	162 100.0
一日中とりとめのないことをしゃべっている	7 3.7	175 93.1	6 3.2	188 100.0	7 4.3	152 93.8	3 1.9	162 100.0
同じ動作を何回も繰り返す	11 5.9	172 91.5	5 2.7	188 100.0	15 9.3	144 88.9	3 1.9	162 100.0
食べ物でないものを口に入れてしまう	1 0.5	181 96.3	6 3.2	188 100.0	1 0.6	157 96.9	4 2.5	162 100.0

表20 同居の有無－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別

性別	一緒に住んでいる	別に住んでいる	無回答	合計
男性	79 82.3%	14 14.6%	3 3.1%	96 100.0%
女性	220 87.0%	32 12.6%	1 0.4%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

年齢階級

20～29歳	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	7 70.0%	3 30.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	21 70.0%	9 30.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	62 77.5%	18 22.5%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	36 85.7%	6 14.3%	0 0.0%	42 100.0%
65～69歳	49 96.1%	2 3.9%	0 0.0%	51 100.0%
70～74歳	44 88.0%	4 8.0%	2 4.0%	50 100.0%
75～79歳	50 96.2%	1 1.9%	1 1.9%	52 100.0%
80歳以上	29 90.6%	2 6.3%	1 3.1%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%

要介護度別

要支援 1	8 88.9%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
要支援 2	21 77.8%	5 18.5%	1 3.7%	27 100.0%
要介護 1	34 89.5%	4 10.5%	0 0.0%	38 100.0%
要介護 2	104 91.2%	10 8.8%	0 0.0%	114 100.0%
要介護 3	49 76.6%	12 18.8%	3 4.7%	64 100.0%
要介護 4	43 79.6%	10 18.5%	1 1.9%	54 100.0%
要介護 5	34 91.9%	3 8.1%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%
合計	299 85.4%	46 13.1%	5 1.4%	350 100.0%

表21 この1ヶ月における世話の実施程度－性別（家族介護者）・年齢階級別（家族介護者）・要介護度別

性別	世話の程度						合計
	毎日かかりきりでお世話している	かかりきりではないが、毎日お世話している	週に2～5日くらい	週1日かそれより少ない	お世話はしていない	無回答	
男性	18 18.8%	48 50.0%	8 8.3%	6 6.3%	12 12.5%	4 4.2%	96 100.0%
女性	47 18.6%	179 70.8%	9 3.6%	6 2.4%	10 4.0%	2 0.8%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
年齢階級							
20～29歳	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	1 10.0%	7 70.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	1 3.3%	23 76.7%	2 6.7%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	9 11.3%	53 66.3%	7 8.8%	3 3.8%	7 8.8%	1 1.3%	80 100.0%
60～64歳	6 14.3%	28 66.7%	2 4.8%	2 4.8%	3 7.1%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	12 23.5%	31 60.8%	3 5.9%	0 0.0%	4 7.8%	1 2.0%	51 100.0%
70～74歳	18 36.0%	29 58.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.0%	1 2.0%	50 100.0%
75～79歳	10 19.2%	35 67.3%	1 1.9%	1 1.9%	3 5.8%	2 3.8%	52 100.0%
80歳以上	8 25.0%	19 59.4%	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	0 0.0%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
要介護度別							
要支援1	2 22.2%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	9 100.0%
要支援2	3 11.1%	15 55.6%	2 7.4%	1 3.7%	5 18.5%	1 3.7%	27 100.0%
要介護1	4 10.5%	20 52.6%	4 10.5%	4 10.5%	4 10.5%	2 5.3%	38 100.0%
要介護2	8 7.0%	90 78.9%	3 2.6%	5 4.4%	7 6.1%	1 0.9%	114 100.0%
要介護3	10 15.6%	46 71.9%	5 7.8%	1 1.6%	1 1.6%	1 1.6%	64 100.0%
要介護4	20 37.0%	30 55.6%	2 3.7%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	54 100.0%
要介護5	18 48.6%	17 45.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	0 0.0%	37 100.0%
無回答	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	7 100.0%
合計	65 18.6%	227 64.9%	17 4.9%	12 3.4%	22 6.3%	7 2.0%	350 100.0%

表22 現在の健康状態－年齢階級別（家族介護者）・性別（家族介護者）

【男性】

	健康状態					合計
	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
30～39歳	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	4 100.0%
40～49歳	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
50～59歳	3 18.8%	4 25.0%	8 50.0%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%
60～64歳	2 15.4%	3 23.1%	8 61.5%	0 0.0%	0 0.0%	13 100.0%
65～69歳	1 9.1%	2 18.2%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%	11 100.0%
70～74歳	1 7.1%	2 14.3%	6 42.9%	4 28.6%	1 7.1%	14 100.0%
75～79歳	3 14.3%	3 14.3%	10 47.6%	4 19.0%	1 4.8%	21 100.0%
80歳以上	1 12.5%	0 0.0%	3 37.5%	4 50.0%	0 0.0%	8 100.0%
合計	13 13.5%	16 16.7%	48 50.0%	17 17.7%	2 2.1%	96 100.0%

【女性】

	健康状態						合計
	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
20～29歳	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	3 50.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
40～49歳	2 9.5%	4 19.0%	9 42.9%	5 23.8%	1 4.8%	0 0.0%	21 100.0%
50～59歳	7 10.9%	10 15.6%	34 53.1%	12 18.8%	1 1.6%	0 0.0%	64 100.0%
60～64歳	2 6.9%	4 13.8%	16 55.2%	6 20.7%	1 3.4%	0 0.0%	29 100.0%
65～69歳	5 12.5%	9 22.5%	19 47.5%	4 10.0%	3 7.5%	0 0.0%	40 100.0%
70～74歳	7 19.4%	4 11.1%	17 47.2%	6 16.7%	2 5.6%	0 0.0%	36 100.0%
75～79歳	0 0.0%	4 12.9%	13 41.9%	8 25.8%	5 16.1%	1 3.2%	31 100.0%
80歳以上	3 12.5%	2 8.3%	10 41.7%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	24 100.0%
合計	30 11.9%	39 15.4%	120 47.4%	50 19.8%	13 5.1%	1 0.4%	253 100.0%

表23 暮らし向き－性別（家族介護者）・年齢階層別（家族介護者）

性別	暮らし向き							合計
	かなり苦しい	やや苦しい	ふつう	やや余裕がある	余裕がある	わからない	無回答	
男性	9 9.4%	24 25.0%	48 50.0%	7 7.3%	5 5.2%	2 2.1%	1 1.0%	96 100.0%
女性	18 7.1%	59 23.3%	152 60.1%	14 5.5%	5 2.0%	3 1.2%	2 0.8%	253 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
年齢階層								
20～29歳	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	2 20.0%	4 40.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%
40～49歳	3 10.0%	12 40.0%	14 46.7%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%
50～59歳	3 3.8%	21 26.3%	45 56.3%	6 7.5%	3 3.8%	2 2.5%	0 0.0%	80 100.0%
60～64歳	5 11.9%	12 28.6%	20 47.6%	3 7.1%	1 2.4%	0 0.0%	1 2.4%	42 100.0%
65～69歳	4 7.8%	9 17.6%	31 60.8%	4 7.8%	2 3.9%	1 2.0%	0 0.0%	51 100.0%
70～74歳	6 12.0%	9 18.0%	27 54.0%	5 10.0%	1 2.0%	2 4.0%	0 0.0%	50 100.0%
75～79歳	2 3.8%	11 21.2%	34 65.4%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%	2 3.8%	52 100.0%
80歳以上	2 6.3%	5 15.6%	23 71.9%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	32 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
合計	27 7.7%	83 23.7%	200 57.1%	21 6.0%	10 2.9%	5 1.4%	4 1.1%	350 100.0%

表24 世話をする上での問題－性別（家族介護者）

【男性】

	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	合計
お世話のために仕事に出られない/良い仕事につけない・家業が思うようにやれない	14 14.6	30 31.3	23 24.0	26 27.1	3 3.1	96 100.0
お世話のために育児や家族の世話に思うように手が回らない	7 7.3	18 18.8	29 30.2	38 39.6	4 4.2	96 100.0
〇〇さんのことが気になって、昼間思うように外出できない	11 11.5	29 30.2	22 22.9	32 33.3	2 2.1	96 100.0
お世話のために、昼間趣味や学習活動などをする「自由な時間」を思うようにとれない	15 15.6	29 30.2	29 30.2	19 19.8	4 4.2	96 100.0
お世話のことで、家族・親族と意見が合わない	6 6.3	15 15.6	34 35.4	38 39.6	3 3.1	96 100.0
お世話のために経済的負担が大きい	11 11.5	31 32.3	28 29.2	23 24	3 3.1	96 100.0

【女性】

	非常にあてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	合計
お世話のために仕事に出られない/良い仕事につけない・家業が思うようにやれない	36 14.2	81 32	61 24.1	59 23.3	16 6.3	253 100.0
お世話のために育児や家族の世話に思うように手が回らない	13 5.1	65 25.7	72 28.5	87 34.4	16 6.3	253 100.0
〇〇さんのことが気になって、昼間思うように外出できない	33 13	103 40.7	67 26.5	42 16.6	8 3.2	253 100.0
お世話のために、昼間趣味や学習活動などをする「自由な時間」を思うようにとれない	53 20.9	91 36	58 22.9	41 16.2	10 4	253 100.0
お世話のことで、家族・親族と意見が合わない	9 3.6	26 10.3	90 35.6	117 46.2	11 4.3	253 100.0
お世話のために経済的負担が大きい	34 13.4	80 31.6	86 34.0	44 17.4	9 3.6	253 100.0

表25 世話をすることを相談できる人の有無－性別（家族介護者）

	男性 (n=96)				女性 (n=253)			
	いる	いない	同居家族なし	無回答	いる	いない	同居家族なし	無回答
あなたの同居の家族の中に	40 41.7	28 29.2	22 22.9	6 6.3	145 57.3	40 15.8	52 20.6	16 6.3
別居の親戚の中に	38 39.6	51 53.1	—	7 7.3	121 47.8	105 41.5	—	27 10.7
知人・友人・近隣の中に	15 15.6	69 71.9	—	12 12.5	89 35.2	126 49.8	—	38 15
医療・福祉の専門家の中に	56 58.3	33 34.4	—	7 7.3	172 68	50 19.8	—	31 12.3

表26 最近の状態や感じ方—性別 (家族介護者)

【男性】	非常にあてはまる	かなりあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	合計
お世話することで、充実感を感じる	2 2.1	10 10.4	32 33.3	32 33.3	15 15.6	5 5.2	96 100.0
一日のお世話が終わると、疲れ果てたと感じる	6 6.3	14 14.6	31 32.3	27 28.1	15 15.6	3 3.1	96 100.0
お世話をうまくしてきていると思う	5 5.2	15 15.6	49 51	19 19.8	4 4.2	4 4.2	96 100.0
お世話で〇〇さんと一緒に過ごすのは気を使うし、骨がおれると感じる	3 3.1	12 12.5	15 15.6	42 43.8	21 21.9	3 3.1	96 100.0
朝起きて、また今日も一日お世話かと思うと、疲れを感じる	5 5.2	9 9.4	23 24	34 35.4	22 22.9	3 3.1	96 100.0
〇〇さんはお世話していることを感謝していると思う	10 10.4	21 21.9	34 35.4	18 18.8	9 9.4	4 4.2	96 100.0
お世話で燃え尽きてしまったと感じる	3 3.1	5 5.2	16 16.7	38 39.6	29 30.2	5 5.2	96 100.0
お世話することで〇〇さんと気持ちが通じ合うように感じる	6 6.3	17 17.7	34 35.4	25 26	10 10.4	4 4.2	96 100.0
お世話をしているイライラを感じる	7 7.3	12 12.5	26 27.1	34 35.4	13 13.5	4 4.2	96 100.0
自分でお世話できる限界まできたと感じる	5 5.2	6 6.3	20 20.8	39 40.6	23 24	3 3.1	96 100.0
〇〇さんが気持ちがいいときには、うれしい気持ちになる	18 18.8	17 17.7	35 36.5	17 17.7	5 5.2	4 4.2	96 100.0
お世話に精をだしすぎていると感じる	3 3.1	2 2.1	26 27.1	47 49	14 14.6	4 4.2	96 100.0

【女性】	非常にあてはまる	かなりあてはまる	まあまああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	合計
お世話することで、充実感を感じる	9 3.6	21 8.3	86 34	89 35.2	37 14.6	11 4.3	253 100.0
一日のお世話が終わると、疲れ果てたと感じる	35 13.8	31 12.3	97 38.3	65 25.7	15 5.9	10 4	253 100.0
お世話をうまくしてきていると思う	32 12.6	38 15	129 51	39 15.4	7 2.8	8 3.2	253 100.0
お世話で〇〇さんと一緒に過ごすのは気を使うし、骨がおれると感じる	19 7.5	22 8.7	74 29.2	92 36.4	37 14.6	9 3.6	253 100.0
朝起きて、また今日も一日お世話かと思うと、疲れを感じる	18 7.1	17 6.7	75 29.6	100 39.5	32 12.6	11 4.3	253 100.0
〇〇さんはお世話していることを感謝していると思う	41 16.2	46 18.2	89 35.2	46 18.2	21 8.3	10 4	253 100.0
お世話で燃え尽きてしまったと感じる	16 6.3	19 7.5	50 19.8	103 40.7	54 21.3	11 4.3	253 100.0
お世話することで〇〇さんと気持ちが通じ合うように感じる	12 4.7	40 15.8	88 34.8	81 32	20 7.9	12 4.7	253 100.0
お世話をしているイライラを感じる	26 10.3	42 16.6	100 39.5	55 21.7	20 7.9	10 4	253 100.0
自分でお世話できる限界まできたと感じる	14 5.5	27 10.7	65 25.7	101 39.9	35 13.8	11 4.3	253 100.0
〇〇さんが気持ちがいいときには、うれしい気持ちになる	40 15.8	61 24.1	109 43.1	26 10.3	8 3.2	9 3.6	253 100.0
お世話に精をだしすぎていると感じる	16 6.3	25 9.9	86 34	99 39.1	19 7.5	8 3.2	253 100.0

表27 ここ一週間の心の状態—性別（家族介護者）

【男性】	ほとんどなかった（1日続かなかつ	少しはあった（1～2日あった）	ときどきあった（3～4日あった）	たいていそうだった（5～7日あった）	無回答	合計
食欲がなかった	63 65.6	16 16.7	5 5.2	7 7.3	5 5.2	96 100.0
ゆううつだった	47 49	28 29.2	9 9.4	7 7.3	5 5.2	96 100.0
何をするにもおっくうだった	50 52.1	26 27.1	13 13.5	2 2.1	5 5.2	96 100.0
よく眠れなかった	54 56.3	25 26	7 7.3	5 5.2	5 5.2	96 100.0
うれしいと感じた	39 40.6	31 32.3	14 14.6	7 7.3	5 5.2	96 100.0
さみしい気がした	48 50.0	31 32.3	9 9.4	3 3.1	5 5.2	96 100.0
まわりの人が自分によそよそしいと感じた	75 78.1	10 10.4	5 5.2	1 1	5 5.2	96 100.0
楽しく過ごせた	29 30.2	29 30.2	21 21.9	12 12.5	5 5.2	96 100.0
悲しかった	57 59.4	24 25	8 8.3	2 2.1	5 5.2	96 100.0
まわりの人が自分をきらっているように感じた	81 84.4	6 6.3	3 3.1	1 1	5 5.2	96 100.0
何をするのも、なかなかやる気がおきなかった	50 52.1	29 30.2	7 7.3	5 5.2	5 5.2	96 100.0

【女性】	ほとんどなかった（1日続かなかつ	少しはあった（1～2日あった）	ときどきあった（3～4日あった）	たいていそうだった（5～7日あった）	無回答	合計
食欲がなかった	159 62.8	57 22.5	24 9.5	5 2	8 3.2	253 100.0
ゆううつだった	100 39.5	96 37.9	31 12.3	14 5.5	12 4.7	253 100.0
何をするにもおっくうだった	98 38.7	87 34.4	41 16.2	14 5.5	13 5.1	253 100.0
よく眠れなかった	120 47.4	71 28.1	39 15.4	16 6.3	7 2.8	253 100.0
うれしいと感じた	88 34.8	98 38.7	41 16.2	15 5.9	11 4.3	253 100.0
さみしい気がした	124 49	80 31.6	30 11.9	5 2	14 5.5	253 100.0
まわりの人が自分によそよそしいと感じた	211 83.4	24 9.5	6 2.4	1 0.4	11 4.3	253 100.0
楽しく過ごせた	65 25.7	93 36.8	50 19.8	34 13.4	11 4.3	253 100.0
悲しかった	148 58.5	65 25.7	18 7.1	9 3.6	13 5.1	253 100.0
まわりの人が自分をきらっているように感じた	214 84.6	26 10.3	3 1.2	0 0	10 4	253 100.0
何をするのも、なかなかやる気がおきなかった	96 37.9	104 41.1	31 12.3	11 4.3	11 4.3	253 100.0

表28 将来の不安－性別（家族介護者）

	【男性】 (n=96)			【女性】 (n=253)		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
要介護度が悪化した場合の通院手段の確保ができるか不安	74 77.1	19 19.8	3 3.1	160 63.2	86 34	7 2.8
要介護度が悪化した場合の通院費用を捻出できるか不安	60 62.5	33 34.4	3 3.1	148 58.5	96 37.9	9 3.6
自分が介護できなくなった場合に入所できる施設があるか不安	76 79.2	15 15.6	5 5.2	211 83.4	34 13.4	8 3.2
自分が介護できなくなった場合に代わりに介護できる人がいるか不安	74 77.1	17 17.7	5 5.2	213 84.2	32 12.6	8 3.2
介護サービス利用による経済的負担の増加が不安	66 68.8	26 27.1	4 4.2	178 70.4	65 25.7	10 4
自立度が低下した場合に、自分が職位管理、水分管理、服薬管理、シャント管理がうまくできるか不安	73 76	19 19.8	4 4.2	194 76.7	50 19.8	9 3.6
認知症になった場合でも透析できるか不安	77 80.2	13 13.5	6 6.3	207 81.8	37 14.6	9 3.6

表1 利用者のケアマネジメントの担当期間

6ヶ月未満	57	14.6%
6ヶ月以上1年未満	52	13.3%
1年以上3年未満	145	37.1%
3年以上5年未満	78	19.9%
5年以上10年未満	50	12.8%
10年以上	8	2.0%
無回答	1	0.3%
合計	391	100.00%

表2 利用者の性別と年齢

	利用者年齢								合計
	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	
男性	0 0.0%	12 5.7%	10 4.8%	30 14.3%	30 14.3%	55 26.2%	33 15.7%	40 19.0%	210 100.0%
女性	1 0.6%	5 2.8%	6 3.3%	19 10.5%	30 16.6%	36 19.9%	45 24.9%	39 21.5%	181 100.0%
合計	1 0.3%	17 4.3%	16 4.1%	49 12.5%	60 15.3%	91 23.3%	78 19.9%	79 20.2%	391 100.0%

表3 腎不全の原因疾患－利用者の性別・年齢階級別

	原因疾患					合計
	慢性糸球 体腎炎	糖尿病性 腎症	その他	わからない	無回答	
男性	34 16.2%	113 53.8%	11 5.2%	51 24.3%	1 0.5%	210 100.0%
女性	24 13.3%	78 43.1%	19 10.5%	58 32.0%	2 1.1%	181 100.0%

利用者の年齢階級

年齢階級	慢性糸球 体腎炎	糖尿病性 腎症	その他	わからない	無回答	合計
40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	4 23.5%	10 58.8%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	7 43.8%	6 37.5%	1 6.3%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	8 16.3%	33 67.3%	1 2.0%	6 12.2%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	7 11.7%	30 50.0%	5 8.3%	16 26.7%	2 3.3%	60 100.0%
75～79歳	10 11.0%	46 50.5%	8 8.8%	27 29.7%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	14 17.9%	33 42.3%	5 6.4%	26 33.3%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	7 8.9%	33 41.8%	8 10.1%	31 39.2%	0 0.0%	79 100.0%
合計	58 14.8%	191 48.8%	30 7.7%	109 27.9%	3 0.8%	391 100.0%

表4 利用者の要介護度－利用者の性別・年齢階級別

	要介護度							合計
	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
男性	14 6.7%	28 13.3%	63 30.0%	40 19.0%	39 18.6%	24 11.4%	2 1.0%	210 100.0%
女性	8 4.4%	20 11.0%	81 44.8%	30 16.6%	25 13.8%	17 9.4%	0 0.0%	181 100.0%
年齢階級								
40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	1 5.9%	2 11.8%	7 41.2%	4 23.5%	1 5.9%	2 11.8%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	1 6.3%	1 6.3%	4 25.0%	4 25.0%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	2 4.1%	5 10.2%	13 26.5%	14 28.6%	8 16.3%	7 14.3%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	3 5.0%	10 16.7%	17 28.3%	8 13.3%	15 25.0%	7 11.7%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	5 5.5%	14 15.4%	38 41.8%	10 11.0%	16 17.6%	8 8.8%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	5 6.4%	10 12.8%	30 38.5%	14 17.9%	9 11.5%	9 11.5%	1 1.3%	78 100.0%
85歳以上	5 6.3%	6 7.6%	35 44.3%	16 20.3%	10 12.7%	6 7.6%	1 1.3%	79 100.0%
合計	22 5.6%	48 12.3%	144 36.8%	70 17.9%	64 16.4%	41 10.5%	2 0.5%	391 100.0%

表5 生活自立度－利用者の性別・年齢階級別

	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中でもベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ	一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する	不明	無回答	合計
男性	22 10.5%	83 39.5%	65 31.0%	23 11.0%	15 7.1%	2 1.0%	210 100.0%
女性	18 9.9%	82 45.3%	54 29.8%	21 11.6%	6 3.3%	0 0.0%	181 100.0%

年齢階級

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	1 5.9%	7 41.2%	7 41.2%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	2 12.5%	6 37.5%	2 12.5%	4 25.0%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	2 4.1%	23 46.9%	13 26.5%	9 18.4%	2 4.1%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	9 15.0%	21 35.0%	20 33.3%	6 10.0%	4 6.7%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	12 13.2%	41 45.1%	23 25.3%	11 12.1%	3 3.3%	1 1.1%	91 100.0%
80～84歳	8 10.3%	28 35.9%	32 41.0%	6 7.7%	4 5.1%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	6 7.6%	39 49.4%	21 26.6%	8 10.1%	4 5.1%	1 1.3%	79 100.0%
合計	40 10.2%	165 42.2%	119 30.4%	44 11.3%	21 5.4%	2 0.5%	391 100.0%

表6 日常生活（通院除く）を手助けしてくれる人はいますか。（複数回答）

※表5「屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない」「屋内での生活は何らかの介助を要し、日中でもベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ」「一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する」の回答199名を集計した。

	家族・親族	介護保険のヘルパー	ヘルパー以外の介護保険サービス	全額自費の介護・家事支援サービス
はい(いる)	326 93.4%	120 34.4%	76 21.8%	9 2.6%
	近所の人・友人	その他	手助けする人はいない	
はい(いる)	13 3.7%	12 3.4%	1 0.3%	

表7 認知症の日常生活自立度－利用者の性別・年齢階級別

	認知症の日常生活自立度							合計
	認知症の症状ない	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	無回答	
男性	86 41.0%	45 21.4%	35 16.7%	31 14.8%	11 5.2%	1 0.5%	1 0.5%	210 100.0%
女性	73 40.3%	38 21.0%	47 26.0%	20 11.0%	2 1.1%	1 0.6%	0 0.0%	181 100.0%
年齢階級別								
40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	12 70.6%	1 5.9%	0 0.0%	3 17.6%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	8 50.0%	1 6.3%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	28 57.1%	11 22.4%	4 8.2%	5 10.2%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	27 45.0%	17 28.3%	8 13.3%	6 10.0%	1 1.7%	1 1.7%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	36 39.6%	23 25.3%	14 15.4%	15 16.5%	3 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	21 26.9%	16 20.5%	29 37.2%	12 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	26 32.9%	14 17.7%	24 30.4%	8 10.1%	6 7.6%	0 0.0%	1 1.3%	79 100.0%
合計	159 40.7%	83 21.2%	82 21.0%	51 13.0%	13 3.3%	2 0.5%	1 0.3%	391 100.0%

表8 利用者の食事・水分・服薬・シャント管理は医師の指示通りにできているか。－利用者の性別・年齢階級別

	自己管理（食事・水分・服薬・シャント管理）					合計
	十分できている	まあできている	あまりできていない	まったくできていない	無回答	
男性	63 30.0%	114 54.3%	29 13.8%	3 1.4%	1 0.5%	210 100.0%
女性	60 33.1%	96 53.0%	23 12.7%	2 1.1%	0 0.0%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	5 29.4%	10 58.8%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	5 31.3%	9 56.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	20 40.8%	22 44.9%	7 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	22 36.7%	29 48.3%	8 13.3%	1 1.7%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	31 34.1%	44 48.4%	15 16.5%	1 1.1%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	18 23.1%	48 61.5%	9 11.5%	3 3.8%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	21 26.6%	48 60.8%	9 11.4%	0 0.0%	1 1.3%	79 100.0%
合計	123 31.5%	210 53.7%	52 13.3%	5 1.3%	1 0.3%	391 100.0%

表9 利用者には、食事・水分・服薬・シャント管理を手助けしてくれる人はいるか。(複数回答)

	家族・親族	訪問看護師	介護保険のヘルパー	全額自費の介護・家事支援サービス	近所の人・友人	その他
はい	335 85.7%	33 8.4%	59 15.1%	5 1.3%	1 0.3%	40 10.2%
	手助けは必要だが、手助けする人はいない	手助けする必要はない				
はい	7 1.8%	20 5.1%				

表10 利用者の同居家族(複数回答)

配偶者(内縁関係含む)	子ども	子どもの配偶者	孫	孫の配偶者	親(義父母含む)	その他
238 60.9%	181 46.3%	71 18.2%	67 17.1%	7 1.8%	10 2.6%	14 3.6%
一人暮らし	有料老人ホーム、サービス付き高級住宅					
47 12.0%	7 1.8%					

表11 利用者の主介護者－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	主介護者						合計
	同居家族	別居家族	介護保険のヘルパー	その他	介護者はいない	不明	
男性	174 82.9%	6 2.9%	14 6.7%	4 1.9%	1 0.5%	11 5.2%	210 100.0%
女性	128 70.7%	28 15.5%	17 9.4%	1 0.6%	3 1.7%	4 2.2%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	13 76.5%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	17 100.0%
60～64歳	13 81.3%	0 0.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	37 75.5%	3 6.1%	4 8.2%	1 2.0%	3 6.1%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	44 73.3%	4 6.7%	10 16.7%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.7%	60 100.0%
75～79歳	77 84.6%	7 7.7%	5 5.5%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	91 100.0%
80～84歳	59 75.6%	11 14.1%	3 3.8%	1 1.3%	0 0.0%	4 5.1%	78 100.0%
85歳以上	58 73.4%	8 10.1%	5 6.3%	2 2.5%	0 0.0%	6 7.6%	79 100.0%

要介護度

要支援2	12 54.5%	7 31.8%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
要介護1	33 68.8%	4 8.3%	8 16.7%	1 2.1%	0 0.0%	2 4.2%	48 100.0%
要介護2	115 79.9%	11 7.6%	8 5.6%	2 1.4%	3 2.1%	5 3.5%	144 100.0%
要介護3	51 72.9%	7 10.0%	8 11.4%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	70 100.0%
要介護4	55 85.9%	4 6.3%	3 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.1%	64 100.0%
要介護5	34 82.9%	1 2.4%	2 4.9%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.3%	41 100.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	302 77.2%	34 8.7%	31 7.9%	5 1.3%	4 1.0%	15 3.8%	391 100.0%

表12 主介護者の身体的・精神的負担－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

※表11「同居家族」と「別居家族」の351名で集計

	主介護者の介護負担				合計
	非常に負担である	かなり負担	あまり負担でない	無回答	
男性	21 11.0%	102 53.4%	65 34.0%	3 1.6%	191 100.0%
女性	22 13.8%	71 44.4%	66 41.3%	1 0.6%	160 100.0%

年齢階級別

40～49 歳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	0 0.0%	8 50.0%	8 50.0%	0 0.0%	16 100.0%
60～64歳	4 30.8%	5 38.5%	4 30.8%	0 0.0%	13 100.0%
65～69歳	5 12.2%	20 48.8%	15 36.6%	1 2.4%	41 100.0%
70～74歳	2 4.1%	29 59.2%	18 36.7%	0 0.0%	49 100.0%
75～79歳	9 10.6%	45 52.9%	29 34.1%	2 2.4%	85 100.0%
80～84歳	9 12.2%	33 44.6%	31 41.9%	1 1.4%	74 100.0%
85歳以上	14 19.4%	32 44.4%	26 36.1%	0 0.0%	72 100.0%

要介護度

要支援 2	1 5.3%	9 47.4%	9 47.4%	0 0.0%	19 100.0%
要介護 1	3 7.7%	17 43.6%	18 46.2%	1 2.6%	39 100.0%
要介護 2	10 7.6%	56 42.7%	63 48.1%	2 1.5%	131 100.0%
要介護 3	10 16.4%	31 50.8%	19 31.1%	1 1.6%	61 100.0%
要介護 4	10 16.4%	34 55.7%	17 27.9%	0 0.0%	61 100.0%
要介護 5	9 23.7%	24 63.2%	5 13.2%	0 0.0%	38 100.0%
無回答	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	43 12.3%	173 49.3%	131 37.3%	4 1.1%	351 100.0%

表13 主介護者の介護継続意思－利用者の性別・年齢階級別

※表11「同居家族」と「別居家族」の351名で集計

	介護継続意思				合計
	ある	あまりない	まったくない（入所・入院希望）	無回答	
男性	155 81.2%	12 6.3%	2 1.0%	22 11.5%	191 100.0%
女性	141 88.1%	6 3.8%	1 0.6%	12 7.5%	160 100.0%

年齢階級別

40～49 歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	12 75.0%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	16 100.0%
60～64歳	11 84.6%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%
65～69歳	37 90.2%	1 2.4%	0 0.0%	3 7.3%	41 100.0%
70～74歳	42 85.7%	1 2.0%	0 0.0%	6 12.2%	49 100.0%
75～79歳	70 82.4%	5 5.9%	1 1.2%	9 10.6%	85 100.0%
80～84歳	63 85.1%	5 6.8%	0 0.0%	6 8.1%	74 100.0%
85歳以上	60 83.3%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	72 100.0%

要介護度別

要支援 2	16 84.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.8%	19 100.0%
要介護 1	29 74.4%	6 15.4%	0 0.0%	4 10.3%	39 100.0%
要介護 2	112 85.5%	6 4.6%	0 0.0%	13 9.9%	131 100.0%
要介護 3	51 83.6%	3 4.9%	3 4.9%	4 6.6%	61 100.0%
要介護 4	52 85.2%	3 4.9%	0 0.0%	6 9.8%	61 100.0%
要介護 5	34 89.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.5%	38 100.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	296 84.3%	18 5.1%	3 0.9%	34 9.7%	351 100.0%

表14 利用者の透析施設への通院状況－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	通院状況		合計
	きちんと通院している	週1回以上の回数、通院しないことがある	
男性	210 100.0%	0 0.0%	210 100.0%
女性	179 98.9%	2 1.1%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	17 100.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	16 100.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	49 100.0%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	59 98.3%	1 1.7%	60 100.0%
75～79歳	91 100.0%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	78 100.0%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	78 98.7%	1 1.3%	79 100.0%

要介護度別

要支援2	22 100.0%	0 0.0%	22 100.0%
要介護1	48 100.0%	0 0.0%	48 100.0%
要介護2	144 100.0%	0 0.0%	144 100.0%
要介護3	70 100.0%	0 0.0%	70 100.0%
要介護4	62 96.9%	2 3.1%	64 100.0%
要介護5	41 100.0%	0 0.0%	41 100.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	389 99.5%	2 0.5%	391 100.0%

表15 透析施設への通院手段－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	通院手段							合計
	自家用車・公共交通機関・タクシー等を利用し、ひとりで通院	家族送迎や家族付き添いで通院	透析施設の送迎サービス（介護保険外）を利用し通院	介護保険サービスを利用し通院	NPO、ボランティアグループを利用し通院	その他	介護タクシー	
男性	10 4.8%	53 25.2%	62 29.5%	80 38.1%	1 0.5%	3 1.4%	1 0.5%	210 100.0%
女性	8 4.4%	61 33.7%	48 26.5%	57 31.5%	4 2.2%	2 1.1%	1 0.6%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	0 0.0%	9 52.9%	2 11.8%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	1 6.3%	2 12.5%	5 31.3%	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	4 8.2%	14 28.6%	10 20.4%	19 38.8%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	4 6.7%	23 38.3%	14 23.3%	18 30.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	5 5.5%	31 34.1%	28 30.8%	25 27.5%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	3 3.8%	13 16.7%	29 37.2%	31 39.7%	1 1.3%	0 0.0%	1 1.3%	78 100.0%
85歳以上	1 1.3%	22 27.8%	21 26.6%	30 38.0%	2 2.5%	2 2.5%	1 1.3%	79 100.0%

要介護度別

要支援 2	4 18.2%	7 31.8%	9 40.9%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
要介護 1	3 6.3%	10 20.8%	18 37.5%	15 31.3%	0 0.0%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%
要介護 2	4 2.8%	49 34.0%	42 29.2%	49 34.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	144 100.0%
要介護 3	3 4.3%	20 28.6%	22 31.4%	22 31.4%	2 2.9%	1 1.4%	0 0.0%	70 100.0%
要介護 4	3 4.7%	17 26.6%	14 21.9%	27 42.2%	2 3.1%	0 0.0%	1 1.6%	64 100.0%
要介護 5	1 2.4%	10 24.4%	4 9.8%	24 58.5%	0 0.0%	2 4.9%	0 0.0%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	18 4.6%	114 29.2%	110 28.1%	137 35.0%	5 1.3%	5 1.3%	2 0.5%	391 100.0%

表16 周囲からの援助－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	援助の必要					合計
	かなり不足している	少し不足している	まあまあ十分である	十分である	援助は必要ない	
男性	12 5.7%	37 17.6%	65 31.0%	89 42.4%	7 3.3%	210 100.0%
女性	7 3.9%	27 14.9%	53 29.3%	87 48.1%	7 3.9%	181 100.0%
年齢階級別						
40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	0 0.0%	3 17.6%	7 41.2%	7 41.2%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	1 6.3%	3 18.8%	6 37.5%	5 31.3%	1 6.3%	16 100.0%
65～69歳	1 2.0%	7 14.3%	16 32.7%	21 42.9%	4 8.2%	49 100.0%
70～74歳	4 6.7%	13 21.7%	16 26.7%	24 40.0%	3 5.0%	60 100.0%
75～79歳	6 6.6%	18 19.8%	27 29.7%	38 41.8%	2 2.2%	91 100.0%
80～84歳	2 2.6%	11 14.1%	16 20.5%	48 61.5%	1 1.3%	78 100.0%
85歳以上	5 6.3%	9 11.4%	29 36.7%	33 41.8%	3 3.8%	79 100.0%
要介護度別						
要支援2	2 9.1%	6 27.3%	3 13.6%	8 36.4%	3 13.6%	22 100.0%
要介護1	4 8.3%	9 18.8%	11 22.9%	22 45.8%	2 4.2%	48 100.0%
要介護2	4 2.8%	18 12.5%	45 31.3%	73 50.7%	4 2.8%	144 100.0%
要介護3	3 4.3%	14 20.0%	26 37.1%	26 37.1%	1 1.4%	70 100.0%
要介護4	3 4.7%	11 17.2%	21 32.8%	27 42.2%	2 3.1%	64 100.0%
要介護5	3 7.3%	6 14.6%	11 26.8%	19 46.3%	2 4.9%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	19 4.9%	64 16.4%	118 30.2%	176 45.0%	14 3.6%	391 100.0%

【通院以外の生活】

	援助の必要					合計
	かなり不足している	少し不足している	まあまあ十分である	十分である	援助は必要ない	
男性	10 4.8%	52 24.8%	91 43.3%	57 27.1%	0 0.0%	210 100.0%
女性	7 3.9%	53 29.3%	77 42.5%	41 22.7%	3 1.7%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	1 5.9%	5 29.4%	6 35.3%	5 29.4%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	1 6.3%	3 18.8%	9 56.3%	3 18.8%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	3 6.1%	10 20.4%	18 36.7%	17 34.7%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	2 3.3%	21 35.0%	20 33.3%	15 25.0%	2 3.3%	60 100.0%
75～79歳	3 3.3%	25 27.5%	47 51.6%	16 17.6%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	2 2.6%	22 28.2%	31 39.7%	23 29.5%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	5 6.3%	19 24.1%	36 45.6%	19 24.1%	0 0.0%	79 100.0%

要介護度別

要支援2	2 9.1%	6 27.3%	4 18.2%	10 45.5%	0 0.0%	22 100.0%
要介護1	2 4.2%	15 31.3%	21 43.8%	10 20.8%	0 0.0%	48 100.0%
要介護2	4 2.8%	30 20.8%	66 45.8%	42 29.2%	2 1.4%	144 100.0%
要介護3	3 4.3%	19 27.1%	33 47.1%	15 21.4%	0 0.0%	70 100.0%
要介護4	3 4.7%	24 37.5%	28 43.8%	9 14.1%	0 0.0%	64 100.0%
要介護5	3 7.3%	11 26.8%	15 36.6%	11 26.8%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	17 4.3%	105 26.9%	168 43.0%	98 25.1%	3 0.8%	391 100.0%

【食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理】

	援助の必要					合計
	かなり不足している	少し不足している	まあまあ十分である	十分である	援助は必要ない	
男性	12 5.7%	38 18.1%	96 45.7%	59 28.1%	5 2.4%	210 100.0%
女性	10 5.5%	39 21.5%	75 41.4%	52 28.7%	5 2.8%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%
50～59歳	1 5.9%	3 17.6%	8 47.1%	5 29.4%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	1 6.3%	2 12.5%	6 37.5%	6 37.5%	1 6.3%	16 100.0%
65～69歳	2 4.1%	7 14.3%	18 36.7%	21 42.9%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	5 8.3%	8 13.3%	26 43.3%	17 28.3%	4 6.7%	60 100.0%
75～79歳	5 5.5%	23 25.3%	43 47.3%	19 20.9%	1 1.1%	91 100.0%
80～84歳	5 6.4%	17 21.8%	32 41.0%	22 28.2%	2 2.6%	78 100.0%
85歳以上	3 3.8%	17 21.5%	38 48.1%	21 26.6%	0 0.0%	79 100.0%

要介護度別

要支援 2	4 18.2%	2 9.1%	9 40.9%	7 31.8%	0 0.0%	22 100.0%
要介護 1	3 6.3%	13 27.1%	22 45.8%	8 16.7%	2 4.2%	48 100.0%
要介護 2	7 4.9%	17 11.8%	66 45.8%	50 34.7%	4 2.8%	144 100.0%
要介護 3	3 4.3%	22 31.4%	27 38.6%	17 24.3%	1 1.4%	70 100.0%
要介護 4	2 3.1%	15 23.4%	30 46.9%	15 23.4%	2 3.1%	64 100.0%
要介護 5	3 7.3%	8 19.5%	15 36.6%	14 34.1%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	22 5.6%	77 19.7%	171 43.7%	111 28.4%	10 2.6%	391 100.0%

表17 在宅生活維持のために最も有効な手段－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	在宅継続に必要な手段							合計
	家族・親族の手助け	透析施設の職員による手助け	ボランティア等の団体・組織による手助け	介護保険のヘルパーによる手助け	短期入所等を利用した家族の介護軽減	その他	無回答	
男性	96 45.7%	12 5.7%	5 2.4%	39 18.6%	44 21.0%	13 6.2%	1 0.5%	210 100.0%
女性	85 47.0%	13 7.2%	3 1.7%	40 22.1%	33 18.2%	7 3.9%	0 0.0%	181 100.0%

年齢階級別

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	9 52.9%	1 5.9%	1 5.9%	4 23.5%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	9 56.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	21 42.9%	5 10.2%	3 6.1%	12 24.5%	7 14.3%	1 2.0%	0 0.0%	49 100.0%
70～74歳	23 38.3%	3 5.0%	1 1.7%	15 25.0%	13 21.7%	5 8.3%	0 0.0%	60 100.0%
75～79歳	45 49.5%	8 8.8%	1 1.1%	14 15.4%	17 18.7%	6 6.6%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	35 44.9%	4 5.1%	2 2.6%	16 20.5%	18 23.1%	3 3.8%	0 0.0%	78 100.0%
85歳以上	39 49.4%	4 5.1%	0 0.0%	14 17.7%	17 21.5%	4 5.1%	1 1.3%	79 100.0%

要介護度別

要支援2	12 54.5%	3 13.6%	0 0.0%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
要介護1	21 43.8%	3 6.3%	1 2.1%	13 27.1%	6 12.5%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%
要介護2	79 54.9%	5 3.5%	2 1.4%	28 19.4%	21 14.6%	9 6.3%	0 0.0%	144 100.0%
要介護3	30 42.9%	7 10.0%	3 4.3%	12 17.1%	17 24.3%	1 1.4%	0 0.0%	70 100.0%
要介護4	23 35.9%	1 1.6%	1 1.6%	16 25.0%	18 28.1%	5 7.8%	0 0.0%	64 100.0%
要介護5	15 36.6%	5 12.2%	1 2.4%	6 14.6%	13 31.7%	0 0.0%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	181 46.3%	25 6.4%	8 2.0%	79 20.2%	77 19.7%	20 5.1%	1 0.3%	391 100.0%

表18 利用者のサービス利用について－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別
【ホームヘルプ】

	介護サービス利用					無回答	合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用した方がよい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい			
男性	82 39.0%	36 17.1%	64 30.5%	24 11.4%	4 1.9%	210 100.0%	
女性	49 27.1%	37 20.4%	66 36.5%	24 13.3%	5 2.8%	181 100.0%	
年齢階級別							
40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
50～59歳	7 41.2%	3 17.6%	4 23.5%	3 17.6%	0 0.0%	17 100.0%	
60～64歳	7 43.8%	2 12.5%	5 31.3%	2 12.5%	0 0.0%	16 100.0%	
65～69歳	16 32.7%	6 12.2%	21 42.9%	5 10.2%	1 2.0%	49 100.0%	
70～74歳	18 30.0%	13 21.7%	22 36.7%	6 10.0%	1 1.7%	60 100.0%	
75～79歳	36 39.6%	16 17.6%	24 26.4%	12 13.2%	3 3.3%	91 100.0%	
80～84歳	20 25.6%	16 20.5%	32 41.0%	8 10.3%	2 2.6%	78 100.0%	
85歳以上	26 32.9%	17 21.5%	22 27.8%	12 15.2%	2 2.5%	79 100.0%	
要介護度別							
要支援2	9 40.9%	5 22.7%	4 18.2%	4 18.2%	0 0.0%	22 100.0%	
要介護1	17 35.4%	7 14.6%	17 35.4%	5 10.4%	2 4.2%	48 100.0%	
要介護2	58 40.3%	28 19.4%	42 29.2%	15 10.4%	1 0.7%	144 100.0%	
要介護3	20 28.6%	14 20.0%	25 35.7%	8 11.4%	3 4.3%	70 100.0%	
要介護4	18 28.1%	14 21.9%	22 34.4%	8 12.5%	2 3.1%	64 100.0%	
要介護5	8 19.5%	4 9.8%	20 48.8%	8 19.5%	1 2.4%	41 100.0%	
無回答	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	
合計	131 33.5%	73 18.7%	130 33.2%	48 12.3%	9 2.3%	391 100.0%	

【訪問看護サービス】

	介護サービス利用					無回答	合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用した方がよい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい			
男性	97 46.2%	67 31.9%	36 17.1%	0 0.0%	10 4.8%	210 100.0%	
女性	83 45.9%	61 33.7%	28 15.5%	1 0.6%	8 4.4%	181 100.0%	
年齢階級別							
40～49歳	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
50～59歳	5 29.4%	8 47.1%	4 23.5%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%	
60～64歳	8 50.0%	6 37.5%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%	
65～69歳	26 53.1%	13 26.5%	7 14.3%	0 0.0%	3 6.1%	49 100.0%	
70～74歳	24 40.0%	22 36.7%	10 16.7%	0 0.0%	4 6.7%	60 100.0%	

75～79歳	44 48.4%	28 30.8%	14 15.4%	0 0.0%	5 5.5%	91 100.0%
80～84歳	33 42.3%	27 34.6%	16 20.5%	0 0.0%	2 2.6%	78 100.0%
85歳以上	39 49.4%	24 30.4%	11 13.9%	1 1.3%	4 5.1%	79 100.0%

要介護度別

要支援 2	13 59.1%	6 27.3%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
要介護 1	25 52.1%	14 29.2%	3 6.3%	1 2.1%	5 10.4%	48 100.0%
要介護 2	78 54.2%	39 27.1%	23 16.0%	0 0.0%	4 2.8%	144 100.0%
要介護 3	19 27.1%	30 42.9%	17 24.3%	0 0.0%	4 5.7%	70 100.0%
要介護 4	28 43.8%	23 35.9%	9 14.1%	0 0.0%	4 6.3%	64 100.0%
要介護 5	17 41.5%	14 34.1%	9 22.0%	0 0.0%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	180 46.0%	128 32.7%	64 16.4%	1 0.3%	18 4.6%	391 100.0%

【通所サービス】

	介護サービス利用					無回答	合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用した方がよい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい			
男性	29 13.8%	67 31.9%	88 41.9%	22 10.5%	4 1.9%	210 100.0%	
女性	46 25.4%	41 22.7%	76 42.0%	13 7.2%	5 2.8%	181 100.0%	

年齢階級別

40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	3 17.6%	7 41.2%	7 41.2%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	2 12.5%	6 37.5%	8 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	12 24.5%	16 32.7%	17 34.7%	3 6.1%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	10 16.7%	14 23.3%	27 45.0%	5 8.3%	4 6.7%	60 100.0%
75～79歳	23 25.3%	16 17.6%	41 45.1%	10 11.0%	1 1.1%	91 100.0%
80～84歳	10 12.8%	23 29.5%	37 47.4%	7 9.0%	1 1.3%	78 100.0%
85歳以上	15 19.0%	26 32.9%	26 32.9%	10 12.7%	2 2.5%	79 100.0%

要介護度別

要支援 2	4 18.2%	6 27.3%	10 45.5%	2 9.1%	0 0.0%	22 100.0%
要介護 1	9 18.8%	14 29.2%	16 33.3%	7 14.6%	2 4.2%	48 100.0%
要介護 2	37 25.7%	38 26.4%	58 40.3%	9 6.3%	2 1.4%	144 100.0%
要介護 3	13 18.6%	20 28.6%	28 40.0%	8 11.4%	1 1.4%	70 100.0%
要介護 4	7 10.9%	21 32.8%	29 45.3%	5 7.8%	2 3.1%	64 100.0%
要介護 5	5 12.2%	9 22.0%	22 53.7%	3 7.3%	2 4.9%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	75 19.2%	108 27.6%	164 41.9%	35 9.0%	9 2.3%	391 100.0%

【ショートステイ】

	介護サービス利用					合計
	利用していないし、利用する必要がない	今は利用していないが、利用した方がよい	現在、利用しており、現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっと回数を増やした方がよい	無回答	
男性	79 37.6%	100 47.6%	19 9.0%	5 2.4%	7 3.3%	210 100.0%
女性	88 48.6%	65 35.9%	10 5.5%	10 5.5%	8 4.4%	181 100.0%
年齢階級別						
40～49歳	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	7 41.2%	8 47.1%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	6 37.5%	10 62.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	27 55.1%	14 28.6%	3 6.1%	2 4.1%	3 6.1%	49 100.0%
70～74歳	26 43.3%	24 40.0%	3 5.0%	2 3.3%	5 8.3%	60 100.0%
75～79歳	46 50.5%	37 40.7%	3 3.3%	4 4.4%	1 1.1%	91 100.0%
80～84歳	28 35.9%	34 43.6%	9 11.5%	4 5.1%	3 3.8%	78 100.0%
85歳以上	27 34.2%	38 48.1%	9 11.4%	2 2.5%	3 3.8%	79 100.0%
要介護度別						
要支援2	16 72.7%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 100.0%
要介護1	26 54.2%	15 31.3%	2 4.2%	0 0.0%	5 10.4%	48 100.0%
要介護2	71 49.3%	58 40.3%	10 6.9%	2 1.4%	3 2.1%	144 100.0%
要介護3	25 35.7%	32 45.7%	7 10.0%	2 2.9%	4 5.7%	70 100.0%
要介護4	19 29.7%	31 48.4%	4 6.3%	8 12.5%	2 3.1%	64 100.0%
要介護5	10 24.4%	22 53.7%	5 12.2%	3 7.3%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
全体	167 42.7%	165 42.2%	29 7.4%	15 3.8%	15 3.8%	391 100.0%

表19 在宅での生活困難時の可能な対応－利用者の性別・年齢階級別・要介護度別

	在宅継続困難時の対応					合計
	福祉施設に入居させ、そこから透析施設に通院させる	透析が可能な病院に入院させる	その他	対応策はない	無回答	
男性	75 35.7%	126 60.0%	6 2.9%	1 0.5%	2 1.0%	210 100.0%
女性	70 38.7%	101 55.8%	5 2.8%	1 0.6%	4 2.2%	181 100.0%
年齢階級別						
40～49歳	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
50～59歳	8 47.1%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%
60～64歳	5 31.3%	11 68.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
65～69歳	17 34.7%	30 61.2%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	49 100.0%
70～74歳	19 31.7%	36 60.0%	3 5.0%	0 0.0%	2 3.3%	60 100.0%
75～79歳	30 33.0%	59 64.8%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	91 100.0%
80～84歳	33 42.3%	42 53.8%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	78 100.0%
85歳以上	33 41.8%	39 49.4%	5 6.3%	0 0.0%	2 2.5%	79 100.0%
要介護度別						
要支援2	8 36.4%	11 50.0%	2 9.1%	0 0.0%	1 4.5%	22 100.0%
要介護1	26 54.2%	21 43.8%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
要介護2	59 41.0%	79 54.9%	2 1.4%	1 0.7%	3 2.1%	144 100.0%
要介護3	27 38.6%	39 55.7%	4 5.7%	0 0.0%	0 0.0%	70 100.0%
要介護4	15 23.4%	45 70.3%	3 4.7%	0 0.0%	1 1.6%	64 100.0%
要介護5	10 24.4%	30 73.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.4%	41 100.0%
無回答	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	145 37.1%	227 58.1%	11 2.8%	2 0.5%	6 1.5%	391 100.0%

表20 利用者に対するケアマネジメントの達成程度

	まったくできていない	あまりできていない	一応できている	よくできている	無回答	合計
この利用者と家族に対する説明、合意、契約	1 0.3	8 2	231 59.1	151 38.6	0 0.0	391 100.0
この利用者・家族とあなたとの信頼関係	2 0.5	8 2	289 73.9	91 23.3	1 0.3	391 100.0
この利用者の身体的状況についてのアセスメント	0 0	24 6.1	313 80.1	53 13.6	1 0.3	391 100.0
この利用者の精神的状況についてのアセスメント	0 0	59 15.1	289 73.9	43 11	0 0.0	391 100.0
この利用者の社会的状況に対するアセスメント	2 0.5	86 22	260 66.5	41 10.5	2 0.5	391 100.0
この利用者の意思や希望に対するアセスメント	1 0.3	45 11.5	275 70.3	70 17.9	0 0.0	391 100.0
この利用者の家族介護に対するアセスメント	5 1.3	39 10	281 71.9	63 16.1	3 0.8	391 100.0
この利用者の家族関係に対するアセスメント	5 1.3	68 17.4	260 66.5	57 14.6	1 0.3	391 100.0
この利用者の課題分析	0 0	25 6.4	327 83.6	38 9.7	1 0.3	391 100.0
この利用者の援助目標の設定	0 0	31 7.9	316 80.8	44 11.3	0 0.0	391 100.0
この利用者の自己決定の推進	2 0.5	69 17.6	237 60.6	83 21.2	0 0.0	391 100.0
この利用者のケアプラン作成の際の家族との調整	7 1.8	26 6.6	251 64.2	104 26.6	3 0.8	391 100.0
この利用者のケアプラン作成の際の事業者との調整	3 0.8	3 0.8	237 60.6	148 37.9	0 0.0	391 100.0
この利用者のケサ―ビス担当者会議による調整	3 0.8	6 1.5	236 60.4	146 37.3	0 0.0	391 100.0
この利用者の地域ケア会議による連携	179 45.8	131 33.5	61 15.6	13 3.3	7 1.8	391 100.0
この利用者もモニタリング	0 0	10 2.6	280 71.6	101 25.8	0 0.0	391 100.0
この利用者のケアプランの見直し	4 1	29 7.4	279 71.4	79 20.2	0 0.0	391 100.0

表21 ケアマネジメント実施時の問題

	あまり問題 でない	やや問題	かなり問題	非常に問題	無回答	合計
ご自分の透析の管理についての知識が不足	154 39.4	171 43.7	46 11.8	19 4.9	1 0.3	391 100.0
ご自分の腎不全の原因疾患に関する知識が不足	143 36.6	175 44.8	53 13.6	19 4.9	1 0.3	391 100.0
ご自分の透析の合併症についての知識が不足	130 33.2	176 45	67 17.1	15 3.8	3 0.8	391 100.0
この利用者の医学的な状況がよくわからない	153 39.1	171 43.7	45 11.5	18 4.6	4 1	391 100.0
この利用者の経済的な困難	234 59.8	86 22	42 10.7	24 6.1	5 1.3	391 100.0
この利用者がサービス利用に消極的	216 55.2	118 30.2	45 11.5	9 2.3	3 0.8	391 100.0
この利用者の家族がサービス利用に消極的	248 63.4	97 24.8	29 7.4	10 2.6	7 1.8	391 100.0
訪問系のサービスが少ない/ない	273 69.8	82 21	27 6.9	5 1.3	4 1	391 100.0
透析患者を受け入れる通所施設が少ない/ない	228 58.3	65 16.6	54 13.8	42 10.7	2 0.5	391 100.0
透析患者を受け入れる入所施設が少ない/ない	87 22.3	69 17.6	114 29.2	117 29.9	4 1	391 100.0
透析施設までの送迎手段が少ない/ない	187 47.8	81 20.7	64 16.4	55 14.1	4 1	391 100.0
この利用者との意思疎通が十分でない	275 70.3	72 18.4	29 7.4	14 3.6	1 0.3	391 100.0
この利用者の家族との意思疎通が十分でない	299 76.5	44 11.3	23 5.9	19 4.9	6 1.5	391 100.0
この利用者の通院している透析施設との意思疎通が十分でない	269 68.8	72 18.4	33 8.4	15 3.8	2 0.5	391 100.0
この利用者の通院している透析以外で通院している医療機関との意思疎通が十分でない	246 62.9	100 25.6	29 7.4	14 3.6	2 0.5	391 100.0
訪問系サービスの事業者との意思疎通が十分でない	318 81.3	27 6.9	25 6.4	9 2.3	12 3.1	391 100.0
通所施設との意思疎通が十分でない	303 77.5	34 8.7	26 6.6	8 2	20 5.1	391 100.0
入所施設との意思疎通が十分でない	261 66.8	44 11.3	28 7.2	14 3.6	44 11.3	391 100.0
時間がない	239 61.1	98 25.1	32 8.2	16 4.1	6 1.5	391 100.0
担当ケースが多い	230 58.8	108 27.6	34 8.7	14 3.6	5 1.3	391 100.0
この利用者の利用頻度が低い	308 78.8	59 15.1	14 3.6	8 2	2 0.5	391 100.0

7 章 調査票

要介護（要支援）認定の透析患者を介護する家族の生活と健康

2015年2月

透析医療研究会
日本透析医会
全国腎臓病協議会

《ご記入にあたってのお願い》

- 1) この調査は、透析を受けている方を主に介護している方にご記入をお願いいたします。プライバシーが侵されることはありません。また、ご回答内容が研究目的以外に使用されることは一切ありません。
- 2) ご回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。また、内には具体的な数値を記入してください。
- 3) 「その他」をお答えになった場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 4) 一部の方だけにお答えいただく質問もあります。その場合は、矢印(→)や質問文前の指示に従ってお答えください。指示のない質問については全員がお答えください。
- 5) ご回答に迷う場合は、できるだけ近いものを選ぶようにしてください。

《ご記入が終わりましたら…》

- ◎ ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかお確かめください。
- ◎ ご記入いただきました調査票は、〇〇月〇〇日()までに投函してください。

《この調査に関するお問い合わせは…》

- ◎ 一般財団法人 統計研究会 透析医療研究会
〒105-0004 港区新橋 1-18-16 日本生命新橋ビル 7階
TEL: 03-3591-8496

あなたは、透析を受けている方のお世話や家事を主にしているご家族や親族の方ですか。それ以外の方の場合には、透析を受けている方のお世話や家事を主にしているご家族や親族の方に回答をお願いしてください。

問1 あなたは、透析を受けている方からみて、どなたにあたりますか。続柄でお答えください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 配偶者(内縁を含む) | 7 娘の夫(婿) |
| 2 息子(配偶者あり) | 8 孫 |
| 3 息子(配偶者なし) | 9 孫の配偶者 |
| 4 娘(配偶者あり) | 10 兄弟、姉妹 |
| 5 娘(配偶者なし) | 11 その他の親族() |
| 6 息子の妻(嫁) | |

問2 あなたの性別は。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 20歳未満 | 3 30～39歳 | 5 50～59歳 | 7 65～69歳 | 9 75～79歳 |
| 2 20～29歳 | 4 40～49歳 | 6 60～64歳 | 8 70～74歳 | 10 80歳以上 |

問4 透析を受けている方の性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問5 透析を受けている方の年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|------------|
| 1 40～49歳 | 3 60～64歳 | 5 70～74歳 | 7 80～84歳以上 |
| 2 50～59歳 | 4 65～69歳 | 6 75～79歳 | 8 85歳以上 |

《要介護認定についてお伺いします》

問6 透析を受けている方の現在の要介護度はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | |
|--------|--------|
| 1 要支援1 | 5 要介護3 |
| 2 要支援2 | 6 要介護4 |
| 3 要介護1 | 7 要介護5 |
| 4 要介護2 | |

問7 介護保険サービスの自己負担額は、お宅の家計にとってどの程度負担ですか。

- | | |
|------------|------------------|
| 1 非常に負担である | 4 まったく負担でない |
| 2 多少負担である | 5 サービス利用料を払っていない |
| 3 あまり負担でない | |

《透析や現在の病気についてお伺いします》

問8 透析を受けている方が透析を開始したのはいつごろですか。

- | | | | | | | | |
|------|----------------------|----------------------|---|----------------------|----------------------|-----|--------|
| 1 昭和 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 年 | <input type="text"/> | <input type="text"/> | 月ごろ | 0 知らない |
| 2 平成 | | | | | | | |

問9 透析を受けている方が腎不全になった原因疾患は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1 慢性糸球体腎炎 | 3 その他() |
| 2 糖尿病性腎症 | 4 わからない |

《日常生活の自立度についてお伺いします》

問10 透析を受けている方のふだんの生活の様子は、次のうちどれが一番近いですか。

- | |
|--|
| 1 家庭内で自分のことはできるが、外出は隣近所まで |
| 2 介助なしには家の外には出ないが、身の回りのことは何とかできる |
| 3 身の回りのことは何とかできるが、日中でも寝たり起きたりの生活である、 |
| 4 日中は寝たり起きたりで、身の回りのこともほとんどできない(トイレや食事以外にも気分のよい時には、
寝床を離れることがある) |
| 5 ほとんど寝たきり(座位を保つことはでき、トイレや食事の時には寝床を離れる) |
| 6 まったくの寝たきり(排泄はすべて寝床の上で便器を使用、またはおむつを常時使用) |

→【付問1】(問10で3~6に回答された方) 日常生活(通院は除く)を手助けしている人はいますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分(主介護者) | 5 全額自費の介護・家事援助サービス |
| 2 自分以外の家族・親族 | 6 近所の人、友人 |
| 3 介護保険のヘルパー | 7 その他() |
| 4 ヘルパー以外の介護保険サービス | 8 手助けする人はいない |

問11 透析を受けている方は、医師に指示されたように透析施設に通院していますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 きちんと通院している |
| 2 1ヶ月に1回くらいは通院しないことがある |
| 3 1週間に1回くらいは通院しないことがある |
| 4 それ以上の回数、通院しないことがある |

問 12 透析を受けている方の透析施設への通院手段は何ですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 徒歩でひとりで通院 |
| 2 自家用車・公共交通機関・タクシー等を利用し、ひとりで通院 |
| 3 家族送迎や家族付き添いで通院 |
| 4 透析施設の送迎サービス(介護保険外)を利用し通院 |
| 5 介護保険サービスを利用し通院 |
| 6 NPO、ボランティアグループを利用し通院 |
| 7 上記以外の全額自費サービスを利用し通院(介護保険外) |
| 8 その他() |

問 13 透析を受けている方は、食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理について、医師の指示通りできていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 十分できている | 3 あまりできていない |
| 2 まあできている | 4 まったくできていない |

問 14 透析を受けている方の食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理について、手助けしている人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 自分(主介護者) | 6 近所の人、友人 |
| 2 自分以外の家族・親族 | 7 その他() |
| 3 介護保険の訪問看護師 | 8 手助けは必要だが、手助けする人はいない |
| 4 介護保険のヘルパー | 9 手助けは必要ない |
| 5 全額自費の介護・家事援助サービス | |

問 15 透析を受けている方への手助けは、あなたにとってどの程度負担ですか。(1)~(3)それぞれについて該当する番号1つに○をしてください。手助けをしていない場合には 5 に○をしてください。

	とても負担	まあ負担	あまり負担でない	負担でない	本人がしている／手助けをしていない
(1) 通院	1	2	3	4	5
(2) 通院以外の生活	1	2	3	4	5
(3) 食事管理・水分管理・服薬管理・シャント管理	1	2	3	4	5

《介護保険サービスの利用についてお伺いします》

問16 全体的にみて、現在の担当ケアマネジャーの対応に、どの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常に満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 わりと満足している | 4 全然満足していない |

問17 介護保険サービスの利用計画(ケアプラン)にどの程度満足していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 非常に満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 わりと満足している | 4 全然満足していない |

問 18 特別養護老人ホームとは、家庭での介護がむずかしい人が入所できる施設です。特別養護老人ホームでも、通院などで透析が受けられるとした場合、あなたは、透析を受けている方の特別養護老人ホームへの入所を希望しますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 すぐにも入所を希望する | 3 なるべくなら入所させたくない |
| 2 入所を検討したいと思う | 4 絶対に入所はさせたくない |

問 19 介護保険サービスの利用は十分ですか。(1)~(4)のそれぞれについて、該当する番号に○をしてください。

	利用していないし、利用 する必要がない	今は利用していない が、利用したい	現在、利用しており、 現在の回数で十分	現在、利用しているが、 もっと回数を増やしたい
(1) ホームヘルプ	1	2	3	4
(2) 訪問看護	1	2	3	4
(3) 通所サービス	1	2	3	4
(4) ショートステイ	1	2	3	4

【サービスの説明】

- ホームヘルプ：ヘルパーが日常生活に支障のある方の家庭を訪問して、介護や家事をお手伝いするサービスです。
- 訪問看護：看護師が要介護の方のお宅を訪問し、看護するサービスです。
- 通所サービス：送迎バスでデイサービスセンターなどにお連れして、日中、食事や健康チェック、リハビリテーションなどを行うサービスです。一般的には、デイサービスとかデイケアなどと呼ばれています。
- ショートステイ：高齢者などを、1日から1カ月程度、特別養護老人ホームや老人保健施設でお世話するサービスです。

《透析を受けている方の認知障がい》

問 20 失礼な質問で申し訳ありませんが、この1カ月の間に、透析を受けている方に次のようなことが見られましたか。透析を受けている方に該当しない場合(子どもはいない、歩けないなど)や認知症が進行して以下のことが見られなくなった場合は、「いいえ」に○印をしてください。

(1) 自分の年齢がわからないことが多い	1 はい	2 いいえ
(2) 慣れている場所でも、ときに道を間違ふことがある	1 はい	2 いいえ
(3) 子どもの住んでいる都道府県、あるいは市町村がわからない	1 はい	2 いいえ
(4) 今住んでいる所を自分の家だと思っていないことがある	1 はい	2 いいえ
(5) 同居している子どもやその配偶者を他人と間違ふことがある	1 はい	2 いいえ
(6) 直前に食べた食事を、食べていないということがある	1 はい	2 いいえ
(7) 食べられるものは手あたりしだい食べてしまう	1 はい	2 いいえ
(8) 特に理由なく入浴や着替えを嫌がる	1 はい	2 いいえ
(9) 家の中でも洗面所の場所がわからないことがある	1 はい	2 いいえ
(10) 子どもの人数をきちんと答えられないことがある	1 はい	2 いいえ
(11) 家の中で目的なく歩き回ることが目立つ	1 はい	2 いいえ
(12) 鏡に映っている自分に話しかけることがある	1 はい	2 いいえ
(13) 理由なく夜起きて騒ぐ	1 はい	2 いいえ
(14) 一日中とりとめのないことをしゃべっている	1 はい	2 いいえ
(15) 同じ動作を何回も繰り返す	1 はい	2 いいえ
(16) 食べ物でないものを口の中に入れてしまう	1 はい	2 いいえ

《あなたのことについてお伺いします》

問 21 あなたは、現在、透析を受けている方と一緒に住んでいますか。(○は1つ)

- 1 一緒に住んでいる 2 別に住んでいる

問 22 この1カ月間に、あなたは、透析を受けている方のお世話をどの程度なさいましたか。(○は1つ)

- 1 毎日かかりきりでお世話している 4 週1日かそれより少ない
2 かかりきりではないが、毎日お世話している 5 歩行・着替え・食事・入浴・排泄・認知症のため
3 週に2~5日くらい の見守りなどのお世話はしていない

問 23 あなたの現在の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

問 24 あなたのお宅の暮らしむきは、全般的にどれにあたりますか。(○は1つ)

1 かなり苦しい	3 ふつう	5 余裕がある
2 やや苦しい	4 やや余裕がある	6 わからない

問 25 お世話を続けていく中で、次のような問題が、あなたにどの程度あてはまりますか。(それぞれに○)

	非常に あてはまる	少し あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
(1) お世話のために(あなたが)仕事に出られない／ よい仕事につけない／家業が思うようにやれない	1	2	3	4
(2) お世話のために(あなたが)育児や家族の世話 思うように手がまわらない	1	2	3	4
(3) ○○さんのことが気になって、昼間(あなたが) 思うように外出できない	1	2	3	4
(4) お世話のために、昼間(あなたが)趣味や学習活動 などをする「自由な時間」を思うようにとれない	1	2	3	4
(5) お世話のことで、家族・親戚と意見があわない	1	2	3	4
(6) お世話のために経済的負担が大きい	1	2	3	4

問 26 透析を受けている方のお世話のことで相談にのってもらえる人はいますか。(それぞれに○)

	いる	いない／相談しない	同居家族なし(透析を受けている人を除く)
(1) あなたの同居のご家族の中に	1	2	3
(2) 別居の親戚の中に	1	2	
(3) 知人・友人・近隣の中に	1	2	
(4) 医療・福祉の専門家の中に	1	2	

問 27 あなたの最近の状態や感じ方について、次のようなことが、どのくらいあてはまりますか。

	非常に あてはまる	かなり あてはまる	まあまあ あてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
(1) お世話をすることで、充実感を感じる	1	2	3	4	5
(2) 一日のお世話が終わると、疲れ果てたと感じる	1	2	3	4	5
(3) お世話をうまくできてきていると思う	1	2	3	4	5
(4) お世話で○○さんと一緒に過ごすのは気を使うし、 骨がおれると感じる	1	2	3	4	5
(5) 朝起きて、また今日も一日お世話かと思うと、疲れを感じる	1	2	3	4	5
(6) ○○さんはお世話していることを感謝していると思う	1	2	3	4	5
(7) お世話で燃え尽きてしまったと感じる	1	2	3	4	5
(8) お世話することで○○さんと気持ちが通じ合うように感じる	1	2	3	4	5
(9) お世話をしているイライラを感じる	1	2	3	4	5
(10) 自分でお世話できる限界まできたと感じる	1	2	3	4	5
(11) ○○さんが気持ちがいいときには、うれしい気持ちになる	1	2	3	4	5
(12) お世話に精をだしすぎていると感じる	1	2	3	4	5

問 28 この一週間の、あなたのからだやこころの状態はいかがですか。次のように感じたことや行動したことが、どのくらいあったかをお答えください。

	ほとんど なかった (1日続か なかった)	少しは あった (1~2日 あった)	ときどき あった (3~4日 あった)	たいてい そうだった (5~7日 あった)
(1) 食欲がなかった	0	1	2	3
(2) ゆうつだった	0	1	2	3
(3) 何をするのもおっくうだった	0	1	2	3
(4) よく眠れなかった	0	1	2	3
(5) うれしいと感じた	0	1	2	3
(6) さみしい気がした	0	1	2	3
(7) まわりの人が自分によそよそしいと感じた	0	1	2	3
(8) 楽しく過ごせた	0	1	2	3
(9) 悲しかった	0	1	2	3
(10) まわりの人が自分をきらっているように感じた	0	1	2	3
(11) 何をするのも、なかなかやる気がおきなかった	0	1	2	3

問 29 あなたの将来への不安としてどのようなものがあるでしょうか。、それぞれの項目について、該当する番号に○をしてください。

(1) 要介護度が悪化した場合の通院手段の確保ができるか不安	1 はい	2 いいえ
(2) 要介護度が悪化した場合の通院費用の捻出できるか不安	1 はい	2 いいえ
(3) 自分が介護できなくなった場合に入所できる施設があるか不安	1 はい	2 いいえ
(4) 自分が介護できなくなった場合に代わりに介護できる人がいるか不安	1 はい	2 いいえ
(5) 介護サービス利用による経済的負担の増加が不安	1 はい	2 いいえ
(6) 自立度が低下した場合に、自分が食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理がうまくできるか不安	1 はい	2 いいえ
(7) 認知症になった場合でも透析できるか不安	1 はい	2 いいえ

以下の欄には、あなたが、要介護状態の透析患者を介護する中で、問題と感じていること、悩んでいること、対応してほしいことがありましたら、ご自由にお書きください。

○以上で終わりです。ありがとうございました。返信用封筒にて、返送をお願いします○

要介護(要支援)透析患者に対するケアマネジメントに関する調査

2015年2月
透析医療研究会
日本透析医会
全国腎臓病協議会

《ご記入にあたってのお願い》

- 1) この調査は、透析施設からご依頼のあった要介護認定者のケアマネジメントを担当しているケアマネジャーにご記入をお願いいたします。あなたおよび利用者のプライバシーが侵されることはありません。また、ご回答内容が研究目的以外に使用されることは一切ありません。
- 2) ご回答は、あてはまる番号を○印で囲んでください。また、内には具体的な数値を記入してください。
- 3) 「その他」をお答えになった場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- 4) 一部の方だけにお答えいただく質問もあります。その場合は、矢印(→)や質問文前の指示に従ってお答えください。指示のない質問については全員がお答えください。
- 5) ご回答に迷う場合は、できるだけ近いものを選ぶようにしてください。

《ご記入が終わりましたら…》

- ◎ ご記入が終わりましたら、もう一度、回答漏れがないかお確かめください。
- ◎ ご記入いただきました調査票は、〇〇月〇〇日()までに投函してください。

《この調査に関するお問い合わせは…》

- ◎ 一般財団法人 統計研究会 透析医療研究会
〒105-0004 港区新橋 1-18-16 日本生命新橋ビル 7 階
TEL: 03-3591-8496

透析施設から依頼のあった要介護認定者に関する調査です。この利用者のケアマネジメントについてご回答ください。

問1 この利用者は何歳ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 1 40～49 歳 | 3 60～64 歳 | 5 70～74 歳 | 7 80～84 歳以上 |
| 2 50～59 歳 | 4 65～69 歳 | 6 75～79 歳 | 8 85 歳以上 |

問2 この利用者の性は。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 この利用者が腎不全になった原因疾患は何ですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|----------|
| 1 慢性糸球体腎炎 | 3 その他() |
| 2 糖尿病性腎症 | 4 わからない |

問4 あなたは、この利用者のケアマネジメントをどのくらいの期間担当していますか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 6ヶ月未満 | 4 3年以上5年未満 |
| 2 6ヶ月以上1年未満 | 5 5年以上10年未満 |
| 3 1年以上3年未満 | 6 10年以上 |

問5 この利用者の現在の要介護度はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 要支援 1 | 3 要介護 1 | 6 要介護 4 |
| 2 要支援 2 | 4 要介護 2 | 7 要介護 5 |
| | 5 要介護 3 | |

問6 この利用者の生活自立度はどの程度ですか。判定に際しては、「～をすることができる」といった能力の評価ではなく、「状態」に着目してください。

- | |
|--|
| 1 何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する |
| 2 屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出できない |
| 3 屋内での生活は何らかの介助を要し、日中でもベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ |
| 4 一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する |

→【付問】(問6で2~4に回答された方)

この利用者には日常生活(通院は除く)を手助けしている人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1 家族・親族 | 5 近所の人、友人 |
| 2 介護保険のヘルパー | 6 その他() |
| 3 ヘルパー以外の介護保険サービス | 7 手助けする人はいない |
| 4 全額自費の介護・家事援助サービス | |

問7 認知症の日常生活自立度についてお伺いします。次のどれに該当しますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 認知症の症状ない |
| 2 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している |
| 3 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる |
| 4 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする |
| 5 日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする |
| 6 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。 |

問8 この利用者の食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理は全体として医師の指示通りにできていますか。

- | |
|--------------|
| 1 十分できている |
| 2 まあできている |
| 3 あまりできていない |
| 4 まったくできていない |

問9 この利用者には、食事管理、水分管理、服薬管理、シャント管理を手助けしている人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 家族・親族 | 5 近所の人、友人 |
| 2 介護保険の訪問看護師 | 6 その他() |
| 3 介護保険のヘルパー | 7 手助けは必要だが、手助けする人はいない |
| 4 全額自費の介護・家事援助サービス | 8 手助けは必要ない |

問10 この利用者と同居している家族はどなたですか。利用者からみた続柄でどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 配偶者(内縁関係も含む) | 5 孫の配偶者 |
| 2 子ども | 6 親(義父母も含む) |
| 3 子どもの配偶者 | 7 その他() |
| 4 孫 | 8 一人暮らし |

問 11 この利用者を主に介護している方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 この患者さんの同居家族 | 4 その他() |
| 2 この患者さんの別居家族 | 5 介護者はいない |
| 3 介護保険のヘルパー | 6 介護の必要はない |

▶【付問 1】(問 11 で、1 あるいは 2 と回答された方)

主介護者の介護による身体的・精神的負担はどの程度でしょうか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 非常に負担である | 3 あまり負担でない |
| 2 かなり負担 | 4 まったく負担でない |

▶【付問 2】(問 11 で、1 あるいは 2 と回答された方)

介護を続けていく意思はいかがでしょうか。(○は1つ)

- | | |
|---------|-------------------|
| 1 ある | 3 まったくない(入所・入院希望) |
| 2 あまりない | |

問 12 この利用者の透析施設への通院状況はいかがですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 きちんと通院している |
| 2 1ヶ月に1回くらいは通院しないことがある |
| 3 1週間に1回くらいは通院しないことがある |
| 4 それ以上の回数、通院しないことがある |

問 13 この利用者の透析施設への通院手段は何ですか。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1 徒歩でひとりで通院 |
| 2 自家用車・公共交通機関・タクシー等を利用し、ひとりで通院 |
| 3 家族送迎や家族付き添いで通院 |
| 4 透析施設の送迎サービス(介護保険外)を利用し通院 |
| 5 介護保険サービスを利用し通院 |
| 6 NPO、ボランティアグループを利用し通院 |
| 7 上記以外の全額自費サービスを利用し通院(介護保険外) |
| 8 その他() |

問 14 以下のことについては、周囲からの援助(家族や介護サービスなど)は十分だと思いますか。より多くの援助が必要と思いますか。(1)~(3)それぞれについて該当する番号1つに○をしてください。

	かなり 不足している	少し 不足している	まあまあ 十分である	十分である	援助は 必要ない
(1) 通院	1	2	3	4	5
(2) 通院以外の生活	1	2	3	4	5
(3) 食事管理・水分 管理・服薬管理・ シャント管理	1	2	3	4	5

問 15 この利用者が在宅生活を維持する為に、必要な手段と思われるのは何ですか。次の中から最も有効な手段を1つ選び、その番号に○をしてください。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 家族・親族の手助け | 4 介護保険のヘルパーによる手助け |
| 2 透析施設の職員による手助け | 5 短期入所等を利用した家族の介護軽減 |
| 3 ボランティア等の団体・組織による手助け | 6 その他 () |

《介護保険サービスの利用について伺います》

問 16 この利用者のサービスの利用は十分ですか。(1)~(4)のそれぞれについて、該当する番号に○をしてください。

	利用していないし、 利用する必要がない	今は利用していない が、利用した方がよい	現在、利用しており、 現在の回数で十分	現在、利用しているが、もっ と回数を増やした方がよい
(1) ホームヘルプ	1	2	3	4
(2) 訪問看護	1	2	3	4
(3) 通所サービス	1	2	3	4
(4) ショートステイ	1	2	3	4

問 17 この利用者が在宅での生活が困難になった場合、現実にはできることとして、どのような対応が可能と思いますか。

(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 福祉施設に入居させ、そこから透析施設に通院させる
2 透析が可能な病院に入院させる
3 その他()
4 対応策はない |
|--|

《この利用者に対するケアマネジメントについてお伺いします》

問 18 この利用者に対するケアマネジメントは、どの程度達成できていると思いますか。

(それぞれに○は一つずつ)

	まったく できていない	あまり できてない	一応 できている	よく できている
(1) この利用者と家族に対する説明、合意、契約	1	2	3	4
(2) この利用者・家族とあなたとの信頼関係	1	2	3	4
(3) この利用者の身体的状況についてのアセスメント	1	2	3	4
(4) この利用者の精神的状況についてのアセスメント	1	2	3	4
(5) この利用者の社会的状況に対するアセスメント	1	2	3	4
(6) この利用者の意思や希望に対するアセスメント	1	2	3	4
(7) この利用者の家族介護に対するアセスメント	1	2	3	4
(8) この利用者の家族関係に対するアセスメント	1	2	3	4
(9) この利用者の課題分析	1	2	3	4
(10) この利用者の援助目標の設定	1	2	3	4
(11) この利用者の自己決定の推進	1	2	3	4
(12) この利用者のケアプラン作成の際の家族との調整	1	2	3	4
(13) この利用者のケアプラン作成の際の事業者との調整	1	2	3	4
(14) この利用者のサービス担当者会議による調整	1	2	3	4
(15) この利用者についての地域ケア会議による連携	1	2	3	4
(16) この利用者のモニタリング	1	2	3	4
(17) この利用者のケアプランの見直し	1	2	3	4

問 19 あなたが、この利用者に対するケアマネジメントを実施する際、以下のような点はどの程度問題ですか。
 (それぞれに○は一つずつ)

	あまり 問題でない	やや 問題	かなり 問題	非常に 問題
(1) ご自分の透析の管理についての知識が不足	1	2	3	4
(2) ご自分の腎不全の原因疾患に関する知識が不足	1	2	3	4
(3) ご自分の透析の合併症についての知識が不足	1	2	3	4
(4) この利用者の医学的な状況がよくわからない	1	2	3	4
(5) この利用者の経済的な困窮	1	2	3	4
(6) この利用者がサービス利用に消極的	1	2	3	4
(7) この利用者の家族がサービス利用に消極的	1	2	3	4
(8) 訪問系のサービスが少ない／ない	1	2	3	4
(9) 透析患者を受け入れる通所施設が少ない／ない	1	2	3	4
(10) 透析患者を受け入れる入所施設が少ない／ない	1	2	3	4
(11) 透析施設までの送迎手段が少ない／ない	1	2	3	4
(12) この利用者との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(13) この利用者の家族との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(14) この利用者の通院している透析施設との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(15) この利用者が透析以外で通院している医療機関との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(16) 訪問系サービスの事業者との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(17) 通所施設との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(18) 入所施設との意思疎通が十分でない	1	2	3	4
(19) 時間がない	1	2	3	4
(20) 担当ケースが多い	1	2	3	4
(21) この利用者の利用限度額が低い	1	2	3	4

以下の欄には、透析患者のケアマネジメントを実施するにあたって、問題と感じていること、悩んでいること、対応してほしいことがありましたら、ご自由にお書きください。

◎ご協力どうもありがとうございました。返信用封筒にて返送をお願いします◎

要介護透析患者に対するケアマネジメントの実際と効果

2016年3月発行

発行所：一般財団法人 統計研究会

〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-16 日生ビル7F

TEL: 03-3591-8496 FAX: 03-3595-2220
